

飯田市議会要覧

平成 25 年 6 月

飯田市議会事務局

飯田市市民憲章

わたくしたちの飯田市は、美しい自然に恵まれ、長い歴史と尊い伝統文化につつまれた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、このまちの市民としての誇りをもち、明るく健康で豊かな市民生活を築くために、全市民のねがいをこめてこの憲章をかかげ、たがいにはげましあい、手をとりあって進みます。

わたくしたちは

- 1 自然を大切にし、美しい環境の飯田市をつくります。
- 2 心身をきたえ、健康で明るい飯田市をつくります。
- 3 伝統を生かし、文化の香り高い飯田市をつくります。
- 4 善意を広め、思いやりの心で幸せな飯田市をつくります。
- 5 楽しく働き、豊かな産業の飯田市をつくります。

(昭和52年6月21日 制定)

目 次

I	沿 革	
1	沿 革	2
2	人口と世帯の推移	4
3	市議会議員選挙執行状況	5
4	歴代市議会議員	
	(1) 歴 代 議 長	6
	(2) 歴 代 副 議 長	7
	(3) 歴代総務文教常任委員会正副委員長	8
	(4) 歴代社会常任委員会正副委員長	9
	(5) 歴代産業経済常任委員会正副委員長	10
	(6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長	11
	(7) 歴代議会運営委員会正副委員長	12
	(8) 歴代監査委員（議会選出）	13
	(9) 歴代事務局長	14
	(10) 歴代市議会議員	15
II	市議会の構成	
1	構 成	21
2	議 員 名 簿	23
3	正副議長・各委員会委員名簿	24
4	監査委員・南信州広域連合議会議員	24
5	議会選出の各種委員等	25
6	各会派及び各派の代表者氏名	26
III	1年間の活動	
1	市議会の活動状況	27
2	報酬・その他	78
3	定期刊行物	79
4	市議会会議録	79
5	議会事務局の事務分掌	80
	参 考 資 料	
	◎ 平成24年度飯田市各会計及び一般会計当初予算の概要	資1
	◎ 飯田市行政組織機構図	資9
	◎ 職 員 の 定 数	資11
	◎ 都 市 宣 言	資12
	◎ 市政提携に関する覚書	資16
	◎ 友好都市締結	資16
	◎ 飯田市の主要年表	資17
	◎ 飯田市自治基本条例	資27

I 沿革

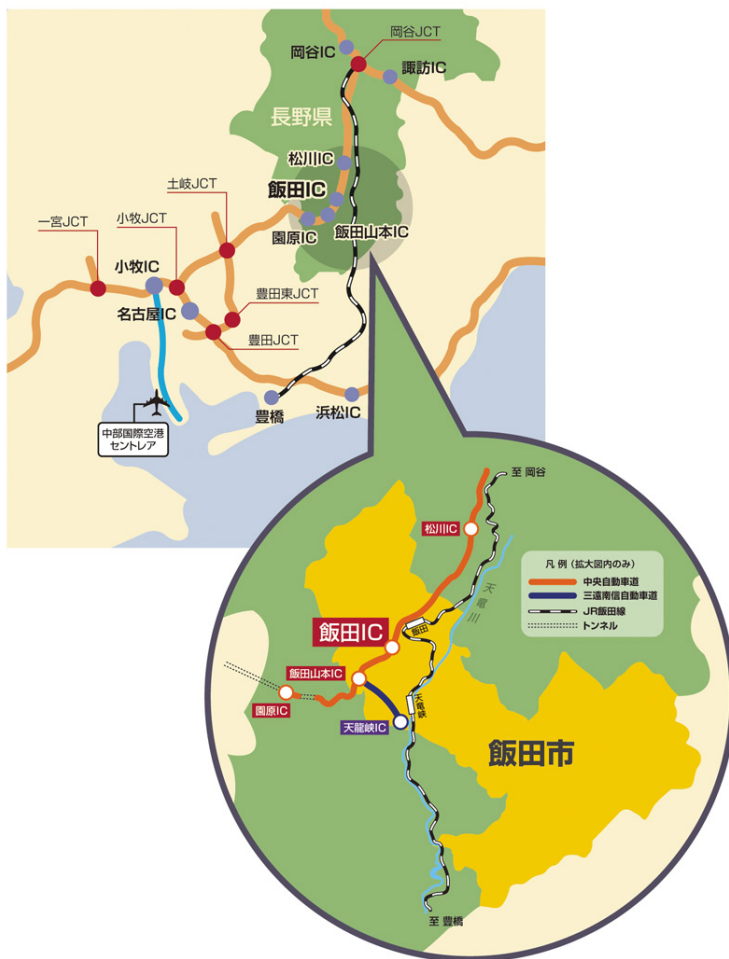
1-1 飯田市の沿革

飯田市は、長野県の最南端に位置する伊那谷の中心都市である。諏訪湖に源を發し、伊那谷を南下して太平洋に注ぐ天竜川全長のほぼ中央に位置し、東に南アルプス国立公園、西に中央アルプス県立公園をひかえ、豊かな自然、優れた景観及び四季に富んだ暮らし易い温暖な気候に恵まれている。伊那盆地の河岸段丘に位置する市街地から南アルプスの山懐に抱かれる遠山郷までにわたる658.76km²の市域に105,750人（平成25年4月1日現在）の人口を擁し、地域に根ざした特色ある文化や産業活動が幅広く展開されている。

飯田城の城下町であり、街並みの様相から「小京都」と呼ばれてきたが、昭和22年4月に市街地の3分の2を焼失する大火に見舞われた。以後面目を改め、近年は防火モデル都市、文化都市として注目されている。

近世の太宰春台、近代の菱田春草、河竹繁俊、日夏耿之介等学芸の士の生誕地であり、りんご並木のまち、人形劇のまちとして親しまれ、豪快な天竜川下りが楽しめるほか、名勝天龍峡の地、遠山郷の霜月まつり、各地に伝わる獅子舞など、伝統文化が豊富な地である。

昭和12年4月1日に飯田町と上飯田町が合併して市制を施行、以来、15町村と合併し、今日の飯田市の市域を成している。



「伊那谷の夜明け」とまで言われ、多くの市民が期待していた中央自動車道西宮線は、昭和50年8月23日に中津川一駒ヶ根間が開通し、昭和57年11月10日に全線開通となり、飯田地方と中京圏、首都圏との経済、文化の交流が飛躍的に拡大した。

また、東海地域と飯田を結ぶ三遠南信自動車道においては、平成6年3月29日に矢筈トンネルが、平成20年4月13日には飯田山本IC～天龍峡IC間が開通し、平成29年度末の全線開通を目指して建設が進行している。

さらに、2027年開業予定のリニア中央新幹線は、平成25年秋にはルート、中間駅の位置の確定もされる見込みであり、三遠南信地域連携ビジョンや道州制の取り組みともあいまって、首都圏と中京圏との連結地域として本市の果たす役割は大きくなる。

1-2 市議会の沿革

飯田市議会は、昭和31年に1市7か村を廃し、その区域をもって市制を施行したことに伴い、旧市村の議員が引続き市議会議員（総員149人）として在任、同年10月8日に臨時会が開かれ、初代議長に代田源六郎氏、初代副議長に伊藤清氏が選出された。

市議会議員の定数は、昭和32年3月12日の定例会において「飯田市議会議員の選挙区及び各選挙区における議員の数に関する条例」（小選挙区制）を可決、以後、議員定数の見直しと合併による増員などの変遷を経た。

平成19年5月、新しい時代にふさわしい地方議会の在り方を模索する中で、市民にとってわかりやすく開かれた議会を目指し「議会改革検討委員会」を設置した。委員会では、「議員の在り方の変革を目指して」ほか5項目を議論する中、平成21年4月19日執行の議員選挙から定数を29人から23人に削減し、常任委員会の所属についても複数所属とし、一人の議員が二つの常任委員会に所属することとした。平成25年4月21日執行の議員選挙後は委員会活動をさらに充実させるため、議員は一つの常任委員会に所属することとした。

飯田市議会の近年の取り組みとして最も注目されるのは、「飯田市自治基本条例」の制定である。（平成19年4月施行）その端緒は、平成15年5月、政策立案型議会への転換を目指した議会議案検討委員会の設置にある。翌16年5月20日には、市民を委員として「わがまちの“憲法”を考える市民会議」を発足、条例の制定に向けて研究に入り、同年12月28日にその成果を最終答申書にまとめ、議長に提出した。翌17年5月には自治基本条例特別委員会を設置、2度にわたる地区懇談会や、議会によるパブリックコメントの実施を経て、平成18年9月21日に議会議案として提案され、全会一致で可決された。

この条例の制定を契機に、平成20年度から「議会による行政評価」が、平成21年度から開かれた議会を実現するための「議会報告会」がそれぞれスタートした。平成23年1月から、条例中の「議会の役割」について議会による検証が開始され、平成24年3月には、これまでの検討を踏まえ「議会改革・運営ビジョン」を取りまとめ、常設の機関として「議会改革推進会議」を設置した。議会改革推進会議では、1年をかけ課題として整理した29項目すべてを検討し、平成25年3月に「議会改革・運営ビジョン実現に向けた取り組み（まとめ）」として取りまとめた。

なお、飯田市自治基本条例への取り組みについては、平成24年度末までに141団体、1,423人が視察に訪れている。



人形劇フェスタのイメージキャラクター「ぼお」です。太り気味の妖精でリンゴ並木に住んでいるそうです。

2 人口と世帯の推移

(単位：世帯・人・km²)

年 月	世帯数	人口	男	女	面積
昭和31. 9	14,627	69,235			199.78
昭和36. 3	16,018	69,538			206.07
昭和39. 3	19,179	79,541			293.03
昭和54. 4	20,870	77,860	36,794	41,066	〃
昭和55. 4	21,054	78,151	36,853	41,098	〃
昭和56. 4	21,697	78,306	37,018	41,288	〃
昭和57. 4	22,114	78,693	37,368	41,325	〃
昭和58. 4	21,928	78,410	37,059	41,351	〃
昭和59. 4	21,872	78,665	37,331	41,334	〃
昭和60. 4	26,458	92,132	43,776	48,356	299.23
昭和61. 4	26,469	92,096	43,709	48,387	〃
昭和62. 4	26,573	92,179	43,783	48,396	〃
昭和63. 4	26,709	92,050	43,810	48,240	〃
平成 1. 4	26,824	91,846	43,778	48,068	〃
平成 2. 4	27,033	91,806	43,721	48,085	298.90
平成 3. 4	27,277	91,723	43,739	47,984	〃
平成 4. 4	27,467	91,612	43,695	47,917	〃
平成 5. 4	27,732	91,684	43,819	47,865	〃
平成 6. 4	32,507	106,104	50,754	55,350	325.35
平成 7. 4	32,829	106,233	50,841	55,392	〃
平成 8. 4	33,183	106,472	50,991	55,481	〃
平成 9. 4	33,577	106,495	50,971	55,524	〃
平成10. 4	33,975	106,695	51,142	55,553	〃
平成11. 4	34,233	106,464	51,093	55,371	〃
平成12. 4	34,519	106,479	51,135	55,344	〃
平成13. 4	34,870	106,456	51,093	55,363	〃
平成14. 4	35,056	106,161	50,947	55,214	〃
平成15. 4	35,382	106,078	50,893	55,185	〃
平成16. 4	35,656	105,846	50,728	55,118	〃
平成17. 4	35,807	105,411	50,511	54,900	〃
平成18. 4	37,190	107,593	51,640	55,953	658.76
平成19. 4	37,395	106,993	51,253	55,740	〃
平成20. 4	37,787	106,770	51,138	55,632	〃
平成21. 4	37,682	105,867	50,693	55,174	〃
平成22. 4	37,801	105,372	50,407	54,965	〃
平成23. 4	37,886	104,771	50,146	54,625	〃
平成24. 4	38,087	104,291	49,931	54,360	〃
平成25. 4	39,040	105,750	50,445	55,305	〃

※平成25. 4は住民基本台帳法の改正により外国人を含む数字

特記事項

- ・昭和31年 9月 : 飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村及び下久堅村の1市7か村を合併
- ・昭和36年 3月 : 川路村を編入合併
- ・昭和39年 3月 : 上久堅村、千代村及び龍江村を編入合併
- ・昭和59年12月 : 鼎町を編入合併
- ・平成 5年 7月 : 上郷町を編入合併
- ・平成17年10月 : 上村及び南信濃村を編入合併

3 市議会議員選挙執行状況

昭和32年4月28日	合併による設置選挙
昭和35年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和36年4月23日	任期满了一般選挙
昭和39年5月15日	龍江・千代・上久堅3か村合併による増員選挙
昭和39年8月28日	伊賀良地区補欠選挙
昭和39年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和40年4月25日	任期满了一般選挙
昭和43年10月20日	補欠選挙
昭和44年4月20日	任期满了一般選挙
昭和47年10月22日	補欠選挙
昭和48年4月22日	任期满了一般選挙
昭和51年10月17日	補欠選挙
昭和52年4月17日	任期满了一般選挙
昭和55年10月19日	補欠選挙
昭和56年4月19日	任期满了一般選挙
昭和60年4月21日	任期满了一般選挙
昭和63年10月16日	補欠選挙
平成元年4月23日	任期满了一般選挙
平成4年10月18日	補欠選挙
平成5年4月25日	任期满了一般選挙
平成5年8月1日	上郷町合併による増員選挙
平成8年10月20日	補欠選挙
平成9年4月20日	任期满了一般選挙
平成12年10月15日	補欠選挙
平成13年4月22日	任期满了一般選挙
平成16年10月24日	補欠選挙
平成17年4月24日	任期满了一般選挙
平成17年10月30日	補欠選挙
平成21年4月19日	任期满了一般選挙
平成25年4月21日	任期满了一般選挙

4 歴代市議会議員

(1) 歴代議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	代田源六郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
		昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
		昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
2代	辻 虎松	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
3代	近松 宗一	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
4代	伊原 悦雄	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
		昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
5代	林 昌平	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
		昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
		昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
6代	松嶋 健次	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
7代	平澤 與一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
8代	塩澤 昭	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
9代	竹村 仁實	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
10代	實原 裕	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
11代	今村 八束	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
		平成7. 5. 12	平成9. 4. 27
12代	小林 利一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
		平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
13代	西尾 喜好	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
14代	岩崎 和男	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
15代	熊谷 富夫	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
16代	上澤 義一	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
17代	中島武津雄	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
18代	上澤 義一	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
19代	林 幸次	平成25. 5. 13	

(2) 歴代副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	伊藤 清	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	片山 均	昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和39. 8. 1
3代	熊谷 一郎	昭和39. 9. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
4代	小林 新吾	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
5代	市村 保人	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
6代	今村 輝男	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
7代	新井 安男	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
8代	林 昌平	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
9代	松江 良夫	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
10代	片桐 勲	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
11代	松江 良夫	昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
12代	平澤 與一	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
13代	細田 直彦	昭和62. 5. 12	昭和63. 11. 10
14代	関島 一郎	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
15代	竹村 仁實	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
16代	松江 良夫	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
17代	内山 照美	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
18代	澤柳辨治郎	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19代	松島 年一	平成7. 5. 12	平成8. 10. 31
20代	片桐 司郎	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
		平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
21代	中田 佳甫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22代	牧内 信臣	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
23代	渡 淳	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24代	林 幸次	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
25代	矢澤 芳文	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26代	清水 可晴	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
27代	村松まり子	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
28代	木下 克志	平成25. 5. 13	

(3) 歴代総務常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	総務部委員会	木下 章雄	近松 宗一 前島 秀夫	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	大平 節蔵	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	関島彦四郎	北原 正司	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	近松 宗一	前島 秀夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	辻 虎松	松島 健次	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	鳴海 衛	宮嶋 繁	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	総務文教委員会	市村 保人	橋部 肇	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	茂木立好則	前島 成光	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	斉藤 為良	細田 直彦	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	内田 篤	川手 守	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	〃	原 廣男	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐七右衛門	前島 成光	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	細田 直彦	塩澤 文朗	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	竹村 仁實	熊谷 康登	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	今村 八束	今村 淳	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	久保田 元	吉川 昌子	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	松島 年一	今村 淳	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	小林 利一	牧内 信臣	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	吉村徳一郎	渡 淳	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	岩崎 和男	渡 淳	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	熊谷 富夫	小池 清	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	下平 政幸	中島武津雄	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	上澤 義一	村松まり子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	原 勉	森本美保子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	林 幸次	原 和世	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 容子	森本美保子	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
31代	総務委員会	清水 勇	原 和世	平成25. 5. 14	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(4) 歴代社会文教常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	社会部委員会	児島 栄次	久保田安美 宮内 昇	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	実原 徳重	知久陽之祐	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	田口 秀男	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	辻 虎松	漆原 恒実	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	〃	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	漆原 恒実	榊田 太一	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	佐々木清信	松江 良夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	斉藤 宗義	熊谷政一郎	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	林 昌平	伊東 秀彦	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	社会民生委員会	西尾 仁一	松下 茂	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松江 良夫	片桐七右衛門	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	社会委員会	片桐 勲	佐々木文雄	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	松江 良夫	中島 勝美	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	尾沢 貞夫	片桐 芳朗	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	松下 茂	平田 友畝	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	森本 藤登	今村 八束	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	西尾 保雄	吉川 義治	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	〃	小林 利一	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	片桐 司郎	関島 秀夫	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	櫻井 俊夫	西尾 喜好	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	下平 一郎	中田 佳甫	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	中田 佳甫	熊谷 富夫	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	牛山 重一	井坪 隆	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	菅沼 立男	中島武津雄	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	柄澤 紀春	荒木 興利	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	原 勉	森本美保子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	中島武津雄	木下 容子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	森本美保子	村松まり子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 克志	後藤 荘一	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
31代	社会文教委員会	井坪 隆	湯澤 啓次	平成25. 5. 14	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(5) 歴代産業建設常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	産業部委員会	田中 伝	宮下 綱六 宮川藤次郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	小林 新吾	堀 保麿	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	丸山 治郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	葛岡 利治	〃	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	丸山 治郎	松重 新一	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	宮脇 省	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	産業経済部委員会	新井 安男	原 茂	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	今村 輝男	新井 安男	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	林 昌平	原田 正志	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	北原 正司	小松 芳男	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	産業経済委員会	原 茂	佐々木 勝	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	北原 正司	橋部 肇	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	平沢 與一	原 廣男	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	原 康次	林 利実	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	平澤 與一	竹村 仁實	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐 勲	〃	昭和58. 5. 8	昭和59. 10. 14
17代	〃	竹村 仁實	中田 修	昭和59. 10. 26	昭和60. 4. 27
18代	〃	〃	塩澤 昭	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
19代	〃	酒井 米	小林 三郎	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	内山 照美	下平 一郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	下平 一郎	小林 利一	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	〃	伊原 与一	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	佐藤 好英	吉川 義治	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	西尾 喜好	岩崎 和男	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	下平 政幸	熊谷 富夫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
26代	〃	渡 淳	上澤 義一	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
27代	〃	矢澤 芳文	佐々木重光	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
28代	〃	清水 可晴	原 和世	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
29代	〃	原 和世	山崎 紀男	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
30代	〃	木下 克志	木下 容子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
32代	産業建設委員会	吉川 秋利	後藤 莊一	平成25. 5. 14	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

(6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	建設部委員会	辻 虎松	竹内 兵治 伊原 悦雄	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	近松 宗一	林 省三	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	山田 亮一	伊原 悦雄	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	佐々木清信	木下 章雄	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	木下 章雄	新井 安男	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	佐々木清信	林 昌平	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	今牧 照男	〃	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	伊原 悦雄	代田 保雄	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	今牧 照男	茂木立好則	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	新井 安男	大蔵 浜雄	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	建設委員会	茂木立好則	〃	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	斉藤 宗義	今牧 泰三	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	橋部 肇	今村 馨	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	森本 藤登	木下 登	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	今村 馨	熊谷 康登	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	細田 直彦	木下 登	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	関島 一郎	酒井 米	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	〃	實原 裕	昭和62. 5. 12	昭和63. 12. 1
19代	〃	實原 裕	塩澤 昭	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
20代	〃	平田 友畝	澤柳辨治郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	松島 年一	〃	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	吉川 義治	佐藤 好英	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	塩澤 俊彦	伊藤 芳之	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	牧内 信臣	木下 昭一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	實原 公男	久保田平八郎	平成11. 5. 13	平成12. 10. 21
26代	〃	菅沼 立男	〃	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
27代	建設環境委員会	井坪 隆	原 勉	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
28代	〃	木下 昭一	原 和世	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
29代	〃	佐々木重光	湯澤 宗保	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
30代	〃	柄澤 紀春	後藤 修三	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
32代	〃	原 和世	永井 一英	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

(7) 歴代議会運営委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	議会運営委員会	木下 章雄	近松 宗一	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 18
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 23
5代	〃	佐々木清信	熊谷 一郎	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	鳴海 衛	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	斉藤 宗義	代田 保雄	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
8代	〃	丸山 治郎	原田 正志	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	新井 安男	原 茂	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
10代	〃	松江 良夫	西尾 仁一	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	〃	伊東 秀彦	太田 猶市	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松嶋 健次	尾沢 貞夫	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
13代	〃	尾沢 貞夫	竹村 仁實	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
14代	〃	片桐七右衛門	塩沢 文朗	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
15代	〃	木下 登	内山 照美	昭和56. 5. 8	昭和57. 3. 1
16代	〃	片桐七右衛門	〃	昭和57. 3. 1	昭和58. 4. 22
17代	〃	中島 勝美	酒井 米	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
18代	〃	内山 照美	平田 友畝	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
19代	〃	平田 友畝	松島 年一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	松島 年一	久保田 元	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	吉川 義治	今村 淳	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
22代	〃	中田 佳甫	牧内 信臣	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	伊原 与一	片桐 司郎	平成7. 5. 13	平成8. 4. 22
24代	〃	澤柳辨治郎	〃	平成8. 6. 4	平成8. 10. 31
25代	〃	〃	桜井 俊夫	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
26代	〃	久保田平八郎	牛山 重一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
27代	〃	木下 昭一	菅沼 立男	平成11. 5. 13	平成12. 10. 30
28代	〃	〃	柄澤 紀春	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
29代	〃	矢澤 芳文	清水 可晴	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
30代	〃	上澤 義一	林 幸次	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
31代	〃	原 和世	下平 勝熙	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
32代	〃	下平 勝熙	木下 克志	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
33代	〃	井坪 隆	清水 勇	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
33代	〃	林 幸次	新井信一郎	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
34代	〃	清水 可晴	村松まり子	平成25. 5. 14	

(8) 歴代監査委員（議会選出）

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	田中 悟	昭和31. 10. 1	昭和32. 4. 27
2代	佐々木清信	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	熊谷 一郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	関島彦四郎	昭和36. 5. 15	昭和41. 6. 15
5代	市村 保人	昭和41. 6. 17	昭和42. 6. 5
6代	宮内 昇	昭和42. 6. 6	昭和44. 4. 27
7代	市村 保人	昭和44. 5. 7	昭和46. 6. 3
8代	宮内 昇	昭和46. 6. 4	昭和50. 6. 6
9代	近松 宗一	昭和50. 6. 10	昭和52. 4. 27
10代	伊原 悦雄	昭和52. 6. 6	昭和54. 4. 13
11代	松下 茂	昭和54. 4. 16	昭和56. 5. 7
12代	西尾 保雄	昭和56. 5. 8	昭和60. 4. 27
13代	實原 裕	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
14代	松嶋 健次	昭和62. 5. 13	平成元. 4. 27
15代	小林 三郎	平成元. 5. 10	平成2. 6. 30
16代	實原 裕	平成2. 7. 16	平成3. 5. 9
17代	竹村 仁實	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
18代	”	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19代	實原 裕	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
20代	竹村 仁實	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
21代	片桐 司郎	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22代	小林 利一	平成13. 5. 15	平成15. 3. 3
23代	西尾 喜好	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24代	岩崎 和男	平成17. 5. 13	平成19. 5. 10
25代	熊谷 富夫	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26代	上澤 義一	平成21. 5. 13	平成23. 5. 12
27代	中島武津雄	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
28代	中島武津雄	平成25. 5. 14	

(9) 歴代事務局長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	林 政人	昭和31. 9. 30	昭和39. 3. 31
2代	久保 武敏	昭和39. 4. 1	昭和44. 3. 31
3代	福井 実	昭和44. 4. 1	昭和44. 10. 19
4代	村沢 光男	昭和44. 10. 20	昭和48. 6. 30
5代	酒井 篤	昭和48. 7. 1	昭和50. 3. 31
6代	宮沢 邦男	昭和50. 4. 1	昭和54. 3. 31
7代	木下 良美	昭和54. 4. 1	昭和56. 3. 31
8代	松澤 平吉	昭和56. 4. 1	昭和59. 3. 31
9代	坂下 幸彦	昭和59. 4. 1	平成元. 3. 31
10代	小木曾義信	平成元. 4. 1	平成3. 3. 31
11代	浦野 勉	平成3. 4. 1	平成6. 3. 31
12代	横田 常	平成6. 4. 1	平成9. 3. 31
13代	山岸一二三	平成9. 4. 1	平成11. 3. 31
14代	吉川 元勝	平成11. 4. 1	平成13. 3. 31
15代	中本 卓良	平成13. 4. 1	平成15. 3. 31
16代	福田 富廣	平成15. 4. 1	平成16. 3. 31
17代	大沢 英二	平成16. 4. 1	平成17. 3. 31
18代	尾澤 敏秀	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31
19代	中井 洋一	平成19. 4. 1	平成20. 3. 31
20代	平澤 和人	平成20. 4. 1	平成20. 12. 31
21代	篠田 雅弘	平成21. 1. 1	平成25. 3. 31
22代	福澤 栄二	平成25. 4. 1	

(10) 歴代市議会議員

ア 昭和31年9月30日執行（1市7か村合併）

(7) 三穂地区 12人

林 武男	林 武司	坂巻 政美	林 保	古川 舎人	佐藤 芳房
宮沢 敬信	前沢 蔵六	川井 邦	西村 文雄	川上 竹市	久保田安美

(イ) 飯田地区 29人

代田源六郎	斉藤 隆久	今村 正美	田口 秀夫	牧島 保一	大竹 四郎
井村豊太郎	井原 淳治	辻 虎松	山田 亮一	深津 一郎	酒井 府
古瀬 仁	菊池 恭平	児島 栄次	宮下 綱六	吉川 一	中田 栄
木下 一人	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	木下 勝義	加藤 英男
田中 悟	早川 清雄	荒井重右衛門	長坂 晃	漆原 恒実	

(ウ) 座光地地区 16人

知久陽之祐	北原 弘	片桐 卓治	上沼 善夫	黒川 利一	今村 良美
湯沢 博司	篠田力三郎	棚田 正雄	佐々木貞雄	竹内 武男	原田 栄治
佐々木信雄	原田 幸雄	三村 利	竹内 兵治		

(エ) 竜丘地区 16人

伊原 悦雄	下平 広志	原 登	吉川 正己	中平恒三郎	今村 恵
長沼 保治	林 正司	松村 新八	前島 秀夫	北沢小太郎	沖田 武一
下田 巖	原 光人	下平 勲資	塚平 睦雄		

(オ) 松尾地区 22人

林 宗三郎	江塚 角三	斉藤 忠治	木下 徳雄	塩沢 秋生	平栗 英祐
山中 竜策	今村 輝男	小木曾嘉一	青山 孝一	常盤 喜八	福島 淡
牛草 利春	藤田 勇夫	塩沢伝之助	中山 政雄	奥田 利吉	松村 信一
熊谷 好次	金井 啓	伊与部金一	木下 章雄		

(カ) 下久堅地区 16人

平沢 清人	池田 嘉篤	吉沢 昇	羽生 一善	宮川藤次郎	森岡 清志
宮内 昇	三石 義臣	宮脇 利雄	桐生 忠治	橋爪徳次郎	三石誠一郎
羽場 義雄	木下 平治	坂井 伸一	平沢 亮治		

(キ) 伊賀良地区 22人

坂下 美富	矢沢 秀一	相原 貢	橋部 文男	今牧 泰三	伊藤 仁
佐々木省吾	元島 均治	今牧 照男	平田 武司	水野 恒夫	神部 稲男
矢沢 清志	松沢 武雄	伊藤 清	肥後 明一	平田 薫	田部 勇
鈴木 太郎	新井 一正	宮下 喜一	原 稲太郎		

(ク) 山本地区 16人

尾沢 元一	熊谷 英雄	竹村 汎愛	平岩四郎吉	竹村 央	遠山 皓
熊谷 広男	山内 精一	田中 伝	金田 伝	唐沢 茂一	玉置 敏夫
久保田久吉	金沢 重雄	熊崎 六蔵	小池 政之		

合計 149人

イ 昭和32年4月28日執行（合併による設置選挙 任期は昭和32年4月28日から昭和36年4月27日まで 8選挙区 定数36）

片山 均	伊藤 誠一	久保田一男	松沢 広	田中 伝	島岡 利雄
林 保	林 省三	北沢小太郎	伊原 悦雄	木下 章雄	伊与部金一
葛岡 利治	丸山 治郎	小林 新吾	宮脇 省	佐々木利夫	知久陽之祐
代田源六郎	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	今村 正美	児島 栄次
井原 淳治	堀 保麿	福島 勝男	古瀬 仁	漆原 恒美	串原 義直
山田 亮一	深津 一郎	辻 虎松	熊谷 一郎	田口 秀男	岡島 新治

ウ 昭和35年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和35年10月26日から昭和36年4月27日まで 定数3）

新井 安男 鳴海 衛 前島 成光

エ 昭和36年4月23日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和36年4月28日から昭和40年4月27日まで9選挙区 定数28）

片山 均	浜島 惣一	伊原 春男	鳴海 衛	宮内 昇	葛岡 利治
岡村 賢作	知久陽之祐	丸山 治郎	関島彦四郎	佐々木清信	代田源六郎
代田 哲	今牧 照男	新井 安男	近松 宗一	木下 章雄	串原 義直
福島 勝男	前島 成光	小林 新吾	沢柳 敏夫	漆原 恒美	辻 虎松
竹村 央	伊藤 誠一	松重 新一	熊谷 一郎		

オ 昭和39年5月15日執行（龍江村、千代村及び上久堅村の3か村合併による増員選挙 任期は昭和39年5月15日から昭和40年4月27日まで 定数は龍江2、千代2、上久堅1の合計5）

林 昌平 松尾 純二 大平 節蔵 林 武男 斉藤 宗義

カ 昭和39年8月28日執行（伊賀良地区補欠選挙 任期は昭和39年8月29日から昭和40年4月27日まで 定数1）

代田 保雄

キ 昭和39年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和39年10月26日から昭和40年4月27日まで 定数1）

宮嶋 繁

ク 昭和40年4月25日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和40年4月28日から昭和44年4月27日まで 全市1選挙区 定数36）

林 昌平	前島 秀夫	北原 正司	鳴海 衛	辻 虎松	市村 保人
小林 新吾	代田 保雄	近松 宗一	代田源六郎	矢崎 三郎	沢柳 俊夫
榊田 太一	今村 治郎	丸山 治郎	松江 良夫	伊原 悦雄	原 茂
大蔵 浜雄	宮嶋 茂	漆原 恒美	富田 政雄	葛岡 利治	大平 節蔵
今村 輝男	新井 安男	佐々木清信	宮内 昇	熊谷 一郎	宮脇 省

前島 成光 熊谷 武志 斉藤 宗義 原田 正志 今牧 照男 関島彦四郎

ケ 昭和43年10月20日執行（補欠選挙 任期は昭和43年10月21日から昭和44年4月27日まで 定数2）

茂木立好則 内田 篤

コ 昭和44年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和44年4月28日から昭和48年4月27日まで 定数36）

池上 一雄	茂木立好則	位高 勉	永山 忠男	前島 成光	佐藤力三郎
今牧 照男	斉藤 宗義	小松 芳男	江塚 善二	宮内 昇	大蔵 浜雄
松下 茂	原 茂	原 康次	原田 正志	熊谷政一郎	西尾 仁一
中山 栄次	辻 虎松	榊田 太一	内田 篤	伊東 秀彦	北原 正司
松嶋 健次	今村 輝男	林 昌平	新井 安男	片桐 勲	近松 宗一
宮嶋 繁	熊谷 武志	市村 保人	鳴海 衛	伊原 悦雄	松江 良夫

サ 昭和47年10月22日執行（補欠選挙 任期は昭和47年10月23日から昭和48年4月27日まで 定数2）

森本 藤登 今牧 泰三

シ 昭和48年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和48年4月28日から昭和52年4月27日まで 定数36）

大蔵 浜雄	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	前島 成光	佐藤力三郎
片桐七右衛門	伊藤 祐春	太田 猶市	佐々木 勝	平澤 與一	尾沢 貞夫
松下 茂	森本 藤登	佐々木清信	鳴海 衛	原 茂	松江 良夫
伊東 秀彦	松嶋 健次	今牧 泰三	内田 篤	西尾 仁一	橋部 肇
斉藤 為良	新井 安男	市村 保人	斉藤 宗義	今村 輝男	北原 正司
伊原 悦雄	近松 宗一	江塚 善二	宮内 昇	茂木立好則	林 昌平

ス 昭和51年10月17日執行（補欠選挙 任期は昭和51年10月18日から昭和52年4月27日まで 定数3）

熊谷 康登 西尾 保雄 片桐 勲

セ 昭和52年4月17日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和52年4月28日から昭和56年4月27日まで 定数30に減少）

片桐七右衛門	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	熊谷 康登	斉藤 宗義
竹村 仁實	木下 登	原 広男	原 康次	松下 茂	西尾 保雄
内田 篤	森本 藤登	今村 馨	平澤 與一	片桐 勲	中島 勝美
林 利実	尾沢 貞夫	橋部 肇	細田 直彦	佐々木文雄	佐々木 勝
斉藤 為良	西尾 仁一	茂木立好則	松江 良夫	林 昌平	伊原 悦雄

ソ 昭和55年10月19日執行（補欠選挙 任期は昭和55年10月20日から昭和56年4月27日まで 定数1）

内山 照美

タ 昭和56年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和56年4月28日から昭和60年4月27日まで 定数30）

塩沢 昭	實原 裕	平田 友畝	酒井 米	前島 成光	熊谷 康登
片桐 芳朗	塩沢 文朗	中田 修	竹村 仁實	今村 馨	内山 照美
木下 登	西尾 保雄	原 康次	森本 藤登	中島 勝美	片桐七右衛門
松島 健次	原 広男	細田 直彦	平澤 與一	松下 茂	内田 篤
松江 良夫	林 昌平	片桐 勲	尾沢 貞夫	茂木立好則	伊原 悦雄

チ 昭和59年10月21日執行（補欠選挙 任期は昭和59年10月22日から昭和60年4月27日まで 定数1）

今村 八束

ツ 昭和59年12月1日執行（鼎町合併により鼎町議員が引き続いて市議会議員として在任 任期は昭和59年12月1日から昭和60年4月27日まで 定数52）

田原 慶一	武田 良人	中村 岸美	中島文三郎	木下 為輔	関島 一郎
五十君酒造大	高木 敏美	松沢アサエ	河村 弘久	水野佐知穂	村沢 延
吉川 義治	今村 淳	村沢 博	鷺見 知一	北沢 芳男	新井紀一郎
片桐 司郎	下田 武志	小林 雅夫	関島 秀夫		

テ 昭和60年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和60年4月28日から平成元年4月27日まで 定数31）

田中 秀典	下平 一郎	小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 昌子
熊谷 康登	牧内 信臣	櫻井 俊夫	久保田 元	吉川 義治	武田 良人
今村 八束	原 広男	今村 淳	塩沢 文朗	片桐 司郎	西尾 保雄
塩沢 昭	實原 裕	平田 友畝	酒井 米	関島 一郎	内山 照美
森本 藤登	松下 茂	竹村 仁實	細田 直彦	尾沢 貞夫	平澤 與一
松嶋 健次					

ト 昭和63年10月16日執行（補欠選挙 任期は昭和63年10月17日から平成元年4月27日まで 定数2）

小林 利一 長谷部徳治

ナ 平成元年4月23日執行（任期満了一般選挙 任期は平成元年4月28日から平成5年4月27日まで 定数31）

西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫	吉川 昌子
牛山 重一	牧内 信臣	塩澤 俊彦	長谷部徳治	伊藤 芳之	小林 利一

関島 秀夫	下平 一郎	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎
小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	久保田 元	吉川 義治	今村 八束
西尾 保雄	塩澤 昭	實原 裕	平田 友畝	内山 照美	竹村 仁實
松江 良夫					

ニ 平成4年10月18日執行（補欠選挙 任期は平成4年10月19日から平成5年4月27日まで 定数1）

井出 健介

又 平成5年4月25日執行（任期満了一般選挙 任期は平成5年4月28日から平成9年4月27日まで 定数31）

柄澤 紀春	菅沼 立男	吉川 四郎	實原 公男	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	牛山 重一	牧内 信臣	吉川 昌子	塩澤 俊彦
長谷部徳治	西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫
伊藤 芳之	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎	小林 利一
下平 一郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 義治	今村 八束	實原 裕
竹村 仁實					

ネ 平成5年8月1日執行（上郷町編入合併に伴う増員選挙 任期は平成5年8月2日から平成9年4月27日まで 定数5）

中田 裕康 井坪 隆 岩崎 和男 岡島 豊 大坪 勇

ノ 平成8年10月20日執行（補欠選挙 任期は平成8年10月21日から平成9年4月27日まで 定数1）

矢澤 芳文

ハ 平成9年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は平成9年4月28日から平成13年4月27日まで 定数31）

佐藤久美子	小池 清	清水 可晴	佐々木重光	原 勉	中島武津雄
上澤 義一	荒木 興利	大坪 勇	牛山 重一	牧内 信臣	矢澤 芳文
井坪 隆	岩崎 和男	林 幸次	渡 淳	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好	柄澤 紀春	菅沼 立男	實原 公男
吉村徳一郎	佐藤 好英	中田 佳甫	小林 利一	今村 八束	片桐 司郎
竹村 仁實					

ヒ 平成12年10月15日執行（補欠選挙 任期は平成12年10月16日から平成13年4月27日まで 定数1）

原 和世

フ 平成13年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は平成13年4月28日から平成17年4月27日

まで 定数31)

木下 容子	下平 勝熙	伊壺 敏子	大谷 恵子	湯澤 宗保	森本美保子
村松まり子	牛山満智子	清水 可晴	小池 清	牛山 重一	牧内 信臣
原 和世	原 勉	林 幸次	渡 淳	久保田平八郎	柄澤 紀春
菅沼 立男	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	荒木 興利	井坪 隆
岩崎 和男	矢澤 芳文	熊谷 富夫	下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好
小林 利一					

へ 平成16年10月24日執行（補欠選挙 任期は平成16年10月25日から平成17年4月27日まで 定数2）

後藤 荘一 木下 克志

ホ 平成17年4月24日執行（任期満了一般選挙 任期は平成17年4月28日から平成21年4月27日まで 定数27）

清水 勇	代田 剛嗣	新井信一郎	内山 要子	吉川 秋利	伊藤 清春
永井 一英	木下 容子	下平 勝熙	後藤 荘一	木下 克志	湯澤 宗保
森本美保子	柄澤 紀春	村松まり子	林 幸次	清水 可晴	伊壺 敏子
原 和世	原 勉	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	矢澤 芳文
岩崎 和男	熊谷 富夫	牧内 信臣			

マ 平成17年10月30日執行（上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙 任期は平成17年10月31日から平成21年4月27日まで 定数2）

山崎 紀男 後藤 修三

ミ 平成21年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は平成21年4月28日から平成25年4月27日まで 定数23に減少）

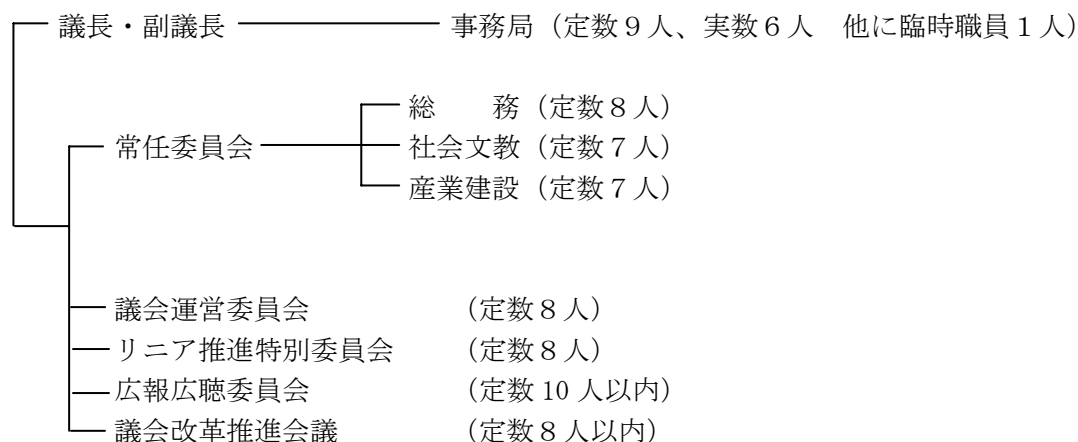
湯澤 啓次	湊 猛	清水 勇	吉川 秋利	永井 一英	福沢 清
内田 雄一	牛山満智子	新井信一郎	木下 克志	木下 容子	下平 勝熙
村松まり子	森本美保子	後藤 荘一	伊壺 敏子	中島武津雄	上澤 義一
清水 可晴	林 幸次	井坪 隆	原 和世	原 勉	

ム 平成25年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は平成25年4月28日から平成29年4月27日まで 定数23）

竹村 圭史	木下 徳康	熊谷 泰人	湯澤 啓次	山崎 昌伸	森本 政人
古川 仁	小倉 高広	湊 猛	新井信一郎	清水 勇	吉川 秋利
永井 一英	木下 容子	福沢 清	後藤 荘一	木下 克志	中島武津雄
村松まり子	林 幸次	清水 可晴	井坪 隆	原 和世	

II 市議会の構成（平成 25 年 5 月 14 日現在）

1 構成



※平成 25 年 4 月 28 日から 3 常任委員会単独所属体制

(1) 常任委員会

ア 所管事項

- (ア) 総務委員会 総務部、企画部、リニア推進部、市長公室、危機管理・交通安全対策室、暴力追放対策室、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
- (イ) 社会文教委員会 保健福祉部及び教育委員会の所管に属する事業並びに病院事業に関する事項
- (ウ) 産業建設委員会 水道環境部、産業経済部、建設部、水道局及び農業委員会の所管に属する事項

イ 任期 2 年

(2) 議会運営委員会

ア 所管事項

- (ア) 議会の運営に関する事項
- (イ) 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- (ウ) 議長の諮問に関する事項

イ 任期 2 年

(3) リニア推進特別委員会

ア 所管事項

リニア中央新幹線の推進に関する諸課題の研究調査に関する事項

イ 任期 2 年

(4) 広報広聴委員会（検討委員会）

ア 所管事項

- (ア) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項
- (イ) 議会ホームページの管理運営に関する事項
- (ウ) インターネットを利用した会議公開に関する事項

- (エ) 会議傍聴の推進に関する事項
 - (オ) 市民への講座等の開催に関する事項
 - (カ) 議会報告会の企画運営及び市民意見の取り扱いに関する事項
 - (キ) その他議会の広報に関する事項
- イ 任期 2年

(5) 議会改革推進会議（検討委員会）

ア 所管事項

- (ア) 飯田市の改革に関する調査研究
- (イ) 議会改革・運営ビジョン（平成22年3月22日決定）の実践状況の検証
- (ウ) 議長又は議会運営委員会から諮問された事項に関する調査審議
- (エ) その他推進会議の設置の目的のために必要な事項

(6) 議員

ア 任期 平成25年4月28日から平成29年4月27日まで

イ 条例定数 23人

ウ 現員数 23人

(ア) 党派別

日本共産党	3人	公明党	3人	無所属	17人
-------	----	-----	----	-----	-----

(イ) 会派別

会派のぞみ	10人	公明党	3人	市民パワー	3人
日本共産党	3人	会派みらい	3人	無会派	1人

2 議員名簿

番号	氏名	会派	期数	郵便番号	住所	自宅電話等
1	竹村 圭史	会派のぞみ	1	〒395-0244	山本1407番地	25-2247
2	木下 徳康	会派のぞみ	1	〒395-0813	毛賀366番地	24-4932
3	熊谷 泰人	会派のぞみ	1	〒395-0075	白山通り3丁目391番地1	53-4150
4	湯澤 啓次	会派のぞみ	2	〒395-0001	座光寺2570番地1	24-6698
5	山崎 昌伸	無会派	1	〒395-0817	鼎東鼎292番地7	53-3792
6	森本 政人	市民パワー	1	〒395-0821	松尾新井6662番地1	23-8991
7	古川 仁	日本共産党	1	〒395-0803	鼎下山677番地5	53-3792
8	小倉 高広	日本共産党	1	〒395-0004	上郷黒田554番地1	080-6994-7054
9	湊 猛	会派のぞみ	2	〒399-1311	南信濃和田1343番地1	0260-34-2248
10	新井 信一郎	会派のぞみ	3	〒395-0151	北方3330番地1	25-0250
11	清水 勇	会派のぞみ	3	〒399-2221	龍江2453番地1	27-2569
12	吉川 秋利	会派のぞみ	3	〒395-0807	鼎切石4375番地	24-8268
13	永井 一英	公明党	3	〒395-0077	丸山町2丁目6725番地14	23-4021
14	木下 容子	市民パワー	4	〒395-0063	羽場町1丁目5番地7	22-5973
15	福沢 清	会派みらい	2	〒395-0029	二本松333番地1	22-5620
16	後藤 荘一	日本共産党	4	〒395-0156	中村1221番地	25-7857
17	木下 克志	会派のぞみ	4	〒395-0803	鼎下山665番地	24-5645
18	中島 武津雄	会派のぞみ	5	〒399-2565	桐林1347番地2	26-8080
19	村松 まり子	公明党	4	〒395-0814	八幡町489番地2	24-6884
20	林 幸次	公明党	5	〒399-2602	下久堅下虎岩3031番地10	29-8953
21	清水 可晴	市民パワー	5	〒395-0158	高羽町3丁目4番地8	23-8200
22	井坪 隆	会派みらい	5	〒395-0004	上郷黒田1826番地	23-6421
23	原 和世	会派みらい	5	〒395-0244	山本4703番地1	25-1216

年齢別議員数

(平成25年5月31日現在)

年齢	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
人員			3	8	12		23

当選回数別議員数

(平成25年5月31日現在)

当選回数	1回	2回	3回	4回	5回	計
人員	7	3	4	4	5	23

3 正副議長及び各委員会委員名簿

(1) 議長及び副議長

(平成25年5月13日改選)

議 長	林 幸次	副 議 長	木下 克志
-----	------	-------	-------

(2) 委員会

(平成25年5月14日改選)

◎印……委員長 ○印……副委員長

委 員 会 名	委 員			
総務委員会 (8人)	◎清水 勇 湊 猛	○原 和世 中島武津雄	竹村 圭史 村松まり子	古川 仁 清水 可晴
社会文教委員会 (7人)	◎井坪 隆 新井信一郎	○湯澤 啓次 永井 一英	木下 徳康 木下 容子	小倉 高広
産業建設委員会 (7人)	◎吉川 秋利 森本 政人	○後藤 莊一 福沢 清	熊谷 泰人 木下 克志	山崎 昌伸
議会運営委員会 (8人)	◎清水 可晴 吉川 秋利	○村松まり子 後藤 莊一	木下 徳康 中島武津雄	清水 勇 原 和世
リニア推進特別委員会 (8人)	◎新井信一郎 清水 勇	○熊谷 泰人 永井 一英	湯澤 啓次 後藤 莊一	森本 政人 井坪 隆
広報広聴委員会 (8人)	◎木下 容子 古川 仁	○湊 猛 新井信一郎	木下 徳康 福沢 清	熊谷 泰人 村松まり子
議会改革推進会議 (8人)	◎永井 一英 小倉 高広	○福沢 清 吉川 秋利	竹村 圭史 中島武津雄	湯澤 啓次 清水 可晴

4 監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿

(1) 監査委員 (選任に同意)

(平成25年5月14日選任)

推 薦 基 準	任 期	氏 名
議員から1人を推薦 市長が議会の同意を得る。	4 年 (2年で改選)	中島武津雄

(2) 南信州広域連合議会議員

(平成25年5月14日選任)

推薦基準	任期	氏名
議員から12人 正副議長(2) 3 常任委員長(3) 会派按分(7)	4年 (2年で改選)	林 幸次 木下 克志 湯澤 啓次 森本 政人 小倉 高広 湊 猛 新井信一郎 清水 勇 吉川 秋利 永井 一 福沢 清 井坪 英隆

5 議会選出の各種委員等

(1) 附属機関等の委員名簿

(平成25年5月14日選任)

名称	推薦基準	任期	氏名
青少年問題協議会 (2人)	社文委員2	2年	井坪 隆 湯澤 啓次
民生委員推薦会 (2人)	社文正副委員長	3年	井坪 隆 湯澤 啓次
都市計画審議会 (5人)	総務1・社文1 産建3	2年	清水 勇 井坪 隆 吉川 秋利 後藤 荘一 山崎 昌伸
国民保護協議会 (3人)	3 常任委員長	2年	清水 勇 井坪 隆 吉川 秋利

(2) その他の団体の役員

(平成25年5月14日選任)

名称	推薦基準	任期	氏名
リニア中央新幹線建設 促進飯伊地区期成同盟会 (6人)	正副議長 3 常任委員長 監査委員 リニア推進特別 委員長	在職期間	【副会長】 林 幸次 【理事】 木下 克志 清水 勇 井坪 隆 吉川 秋利 新井信一郎 【監事】 中島武津雄
三遠南信道路建設促進 南信地域期成同盟会 (3人)	正副議長 監査委員	2年	【副会長】 林 幸次 【理事】 木下 克志 【監事】 中島武津雄
三遠南信自動車道建設 促進飯田市九地区期成 同盟会	地区出身議員 下久堅・上久堅・ 千代・龍江・川路・三 穂・山本・上村・南 信濃	1年	【顧問】 林 幸次 清水 勇 竹村 圭史 原 和世 湊 史 猛
国道256号改良促進 期成同盟会 (3人)	正副議長 産建委員長	2年	【理事】 林 幸次 木下 克志 吉川 秋利
主要地方道飯田富山佐久 間線改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 下久堅・千代・龍江	2年	【監事】 林 幸次 【理事】 木下 克志 吉川 秋利 後藤 荘一 清水 勇

主要地方道飯島飯田線 改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 座光寺・上郷 橋北・橋南・羽場 丸山・東野・鼎・伊賀 良	2年	【理事】林 幸次 木下 克志 吉川 秋利 後藤 莊一 湯澤 啓次 小倉 高広 井坪 隆 福沢 清 熊谷 泰人 木下 容子 永井 一英 清水 可晴 吉川 秋利 山崎 昌伸 古川 仁 新井信一郎
主要地方道飯田南木曾線 改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場丸 山・東野	2年	【理事】林 幸次 吉川 秋利 後藤 莊一 福沢 清 熊谷 泰人 木下 容子 永井 一英 清水 可晴 【監事】木下 克志
広域幹線林道千遠線 開設期成同盟会（2人）	議長 産建委員長	2年	【委員】林 幸次 吉川 秋利
国道152号改良促進 期成同盟会（2人）	議長 産建委員長	2年	【理事】林 幸次 吉川 秋利
国道418号整備促進 期成同盟会（3人）	正副議長 産建正副委員長	2年	【理事】林 幸次 木下 克志 吉川 秋利 後藤 莊一
都市計画道路羽場大瀬木 線改良促進連絡協議会	正副議長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場 丸山・鼎・伊賀良	1年	【相談役】林 幸次 木下 克志 福沢 清 熊谷 泰人 木下 容子 永井 一英 山崎 昌伸 古川 仁 吉川 秋利 新井信一郎 後藤 莊一
伊那テクノバレー地域 センター（1人）	議長	在職期間	【地域評議員】林 幸次
松尾浄化管理センター 連絡協議会	正副議長 産建委員長 地区出身議員	在任期間	【委員】林 幸次 木下 克志 吉川 秋利 森本 政人 村松まり子

(3) 議員による任意の団体

名称	基準	任期	氏名
森林・林業・林産業活性化 促進議員連盟 (林業活性化推進飯田市 議員連盟)	各会派1	2年	【会長】湊 猛 【副会長】森本 政人 【幹事】永井 一英 古川 仁 原 和世 【委員】全市議会議員
三遠南信、浜松三ヶ日・豊 橋道路建設促進議員協議会	賛同議員	在職期間	【会長】林 幸次 【委員】全市議会議員

6 各会派及び各会派の代表者氏名

会派名	代表者名	議員数	会派名	代表者名	議員数
会派のぞみ	中島武津雄	10	公明党	村松 まり子	3
市民パワー	清水 可晴	3	日本共産党	後藤 莊一	3
会派みらい	原 和世	3	無会派	山崎 昌伸	1

Ⅲ 1年間の活動

1 市議会の活動状況

(1) 市議会招集回数10か年比較表

年次		15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
区分	招集回数										
	定例会	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	臨時会	1	1	2	0	1	0	2	0	2	0
会期日数		86	86	88	81	89	89	112	102	105	101
本会議日数		21	20	22	20	21	20	22	17	18	17
議案件数		155	134	324	170	177	171	197	199	287	218

(2) 議会開会状況（平成24年1月から24年12月まで）

	会 議	会 期	会期日数	本会議日数
2	第1回定例会	2月28日～3月22日	24	4
4	第2回定例会	6月4日～6月26日	23	4
5	第3回定例会	8月28日～9月26日	30	4
6	第4回定例会	11月28日～12月21日	24	5
計			101	17

(3) 議会審議状況（平成24年1月から24年12月まで）

区分		会別	第1回定例会	第2回定例会	第3回定例会	第4回定例会	計
市長 提出議案	予算・決算		24	3	20	8	55
	条例		17	8	2	35	62
	その他		16	8	12	8	44
	計(A)		57	19	34	51	161
議員 提出議案	条例				1		1
	その他		1	1	6		8
	計(B)		1	1	7	0	9
議決状況	可決・同意		58	20	40	51	169
	否決						0
	継続審査				1		1
報告	専決処分		8	11	9	4	32
	その他			15	1		16
	計(C)		8	26	10	4	48
審議件数(A+B+C)			66	46	51	55	218

(4) 付議事件及び議決結果一覧表

① 市長提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第1号	公平委員会の委員の選任について	24. 2. 28	24. 2. 28	同意
議案第2号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	24. 2. 28	24. 2. 28	同意
議案第3号	飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について	24. 2. 28	24. 2. 28	同意
議案第4号	飯田市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 2. 28	可決
議案第5号	飯田市特別職の職員で非常勤の者の報酬に関する条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第6号	飯田市定住自立圏構想推進基金条例を廃止する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第7号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第8号	飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第9号	飯田市児童発達支援センター条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第10号	飯田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第11号	飯田市千代財産区積立基金条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第12号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第13号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第14号	飯田市土地利用基本条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第15号	飯田市病院事業条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第16号	飯田市立病院介護老人保健施設条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第17号	心身障害児適正就学指導委員会条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第18号	飯田市体育施設条例及び飯田市南信濃B & G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第19号	飯田市公民館条例等の一部を改正する条例の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第20号	財産の無償譲渡について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第21号	財産の無償譲渡について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第22号	飯田市過疎地域自立促進計画の変更について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第23号	市道路線の認定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第24号	損害賠償の額を定めることについて	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第25号	損害賠償の額を定めることについて	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第26号	心身障害児就学指導委員会の事務委託に関する規約を廃止する規約の制定について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第27号	財産の無償譲渡について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第28号	財産の無償譲渡について	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第29号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市保健休養施設)	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第30号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市大平宿生活原体験施設)	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第31号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市山本都市農村交流促進施設)	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第32号	平成23年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第33号	平成23年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第34号	平成23年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第35号	平成23年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第36号	平成23年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第1号）案	24. 2. 28	24. 3. 22	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第37号	平成23年度飯田市病院事業会計補正予算（第2号）案	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第38号	平成23年度飯田市水道事業会計補正予算（第2号）案	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第39号	平成23年度飯田市各財産区会計補正予算（第1号）案	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第40号	平成24年度飯田市一般会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第41号	平成24年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第42号	平成24年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第43号	平成24年度飯田市介護保険特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第44号	平成24年度飯田市地方卸売市場事業特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第45号	平成24年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第46号	平成24年度飯田市墓地事業特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第47号	平成24年度飯田市簡易水道事業特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第48号	平成24年度飯田市下水道事業特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第49号	平成24年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第50号	平成24年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第51号	平成24年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第52号	平成24年度飯田市病院事業会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第53号	平成24年度飯田市水道事業会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決
議案第54号	平成24年度飯田市各財産区会計予算（案）	24. 2. 28	24. 3. 22	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第55号	公有地の拡大の推進に関する法律施行令第3条第3項ただし書の規定による規模を定める条例の制定について	24.3.8	24.3.22	可決
議案第56号	平成23年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案	24.3.8	24.3.22	可決
議案第57号	調停の申立てについて	24.3.22	24.3.22	可決
議案第58号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	24.6.4	24.6.4	同意
議案第59号	飯田市中央財産区管理委員の選任について	24.6.4	24.6.4	同意
議案第60号	飯田市鼎財産区管理委員の選任について	24.6.4	24.6.4	同意
議案第61号	飯田市東野財産区管理委員の選任について	24.6.4	24.6.4	同意
議案第62号	飯田市千代財産区管理委員の選任について	24.6.4	24.6.4	同意
議案第63号	飯田市上村コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	24.6.4	24.6.26	可決
議案第64号	飯田市部等設置条例等の一部を改正する条例の制定について	24.6.4	24.6.26	可決
議案第65号	飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	24.6.4	24.6.26	可決
議案第66号	飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	24.6.4	24.6.26	可決
議案第67号	飯田市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について	24.6.4	24.6.26	可決
議案第68号	飯田市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	24.6.4	24.6.26	可決
議案第69号	飯田市環境保全条例の一部を改正する条例の制定について	24.6.4	24.6.26	可決
議案第70号	飯田市上村木材工芸品加工販売施設条例の一部を改正する条例の制定について	24.6.4	24.6.26	可決
議案第71号	平成24年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案	24.6.4	24.6.26	可決
議案第72号	平成24年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	24.6.4	24.6.26	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第73号	損害賠償の額を定めることについて	24. 6. 13	24. 6. 26	可決
議案第74号	平成24年度飯田市各財産区会計補正予算（第1号）案	24. 6. 13	24. 6. 26	可決
議案第75号	損害賠償の額を定めることについて	24. 6. 26	24. 6. 26	可決
議案第76号	損害賠償の額を定めることについて	24. 6. 26	24. 6. 26	可決
議案第77号	教育委員会の委員の任命について	24. 8. 28	24. 8. 28	同意
議案第78号	飯田市南部財産区管理委員の選任について	24. 8. 28	24. 8. 28	同意
議案第79号	飯田市中央財産区管理委員の選任について	24. 8. 28	24. 8. 28	同意
議案第80号	飯田市羽場財産区管理委員の選任について	24. 8. 28	24. 8. 28	同意
議案第81号	飯田市野底財産区管理委員の選任について	24. 8. 28	24. 8. 28	同意
議案第82号	飯田市野底財産区管理委員の選任について	24. 8. 28	24. 8. 28	同意
議案第83号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	24. 8. 28	24. 9. 26	可決
議案第84号	飯田市リニア中央新幹線開通を見据えた計画に基づく土地利用及び地域づくりの推進に資するための届出等に関する条例の制定について	24. 8. 28	24. 9. 26	可決
議案第85号	市道路線の認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	可決
議案第86号	市道路線の変更について	24. 8. 28	24. 9. 26	可決
議案第87号	損害賠償の額を定めることについて	24. 8. 28	24. 9. 26	可決
議案第88号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市上村木材工芸品加工販売施設）	24. 8. 28	24. 9. 26	可決
議案第89号	平成24年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案	24. 8. 28	24. 9. 26	可決
議案第90号	平成24年度飯田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）案	24. 8. 28	24. 9. 26	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第91号	平成24年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計補正予算（第1号）案	24. 8. 28	24. 9. 26	可決
議案第92号	平成23年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第93号	平成23年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第94号	平成23年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第95号	平成23年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第96号	平成23年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第97号	平成23年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第98号	平成23年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第99号	平成23年度飯田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第100号	平成23年度飯田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第101号	平成23年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第102号	平成23年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第103号	平成23年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第104号	平成23年度飯田市病院事業決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第105号	平成23年度飯田市水道事業決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第106号	平成23年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について	24. 8. 28	24. 9. 26	認定
議案第107号	和解をすることについて	24. 9. 6	24. 9. 26	可決
議案第108号	和解をすることについて	24. 9. 6	24. 9. 26	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第109号	平成24年度飯田市一般会計補正予算（第4号）案	24.9.6	24.9.26	可決
議案第110号	平成24年度飯田市一般会計補正予算（第5号）案	24.9.26	24.9.26	可決
議案第111号	教育委員会の委員の任命について	24.11.28	24.11.28	同意
議案第112号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	24.11.28	24.11.28	同意
議案第113号	飯田市南部財産区管理委員の選任について	24.11.28	24.11.28	同意
議案第114号	飯田市地域自治区の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第115号	飯田市南信濃地域交流センター条例の一部を改正する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第116号	飯田市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第117号	資金積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第118号	飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第119号	飯田市情報公開条例及び飯田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第120号	飯田市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定の要件に関する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第121号	飯田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第122号	飯田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第123号	飯田市立診療所条例の一部を改正する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第124号	飯田市休日夜間急患診療所設置条例の一部を改正する条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第125号	飯田市国民健康保険診療所条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決
議案第126号	飯田市未熟児養育医療費用徴収条例の制定について	24.11.28	24.12.21	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第127号	飯田市技術上の監督業務を行わせる水道の布設工事等の基準を定める条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第128号	飯田市公共下水道の構造等の基準を定める条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第129号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第130号	飯田勤労者体育センター条例等の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第131号	飯田市地域資源総合管理施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第132号	飯田市工業技術研修施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第133号	飯田市環境技術開発センター条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第134号	市営土地改良事業等の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第135号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第136号	飯田市都市計画法施行条例等の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第137号	飯田市営住宅等の整備基準を定める条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第138号	飯田市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第139号	飯田市移動等円滑化のために必要な市道の構造の基準を定める条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第140号	飯田市準用河川の河川管理施設等の構造の基準を定める条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第141号	飯田市コミュニティ防災センター条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第142号	飯田市暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第143号	飯田市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第144号	飯田市考古資料館条例及び飯田市旧座光寺麻績学校校舎設置条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第145号	飯田市体育施設条例等の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第146号	飯田市立学校体育施設使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第147号	飯田市公民館条例等の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第148号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第149号	市道路線の廃止について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第150号	財産の処分について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第151号	平成24年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第152号	平成24年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第1号）案	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第153号	平成24年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第154号	平成24年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第155号	平成24年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第156号	平成24年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第157号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第158号	平成24年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案	24. 11. 28	24. 11. 28	可決
議案第159号	平成24年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案	24. 11. 28	24. 12. 21	可決
議案第160号	財産の無償譲渡について	24. 12. 10	24. 12. 21	可決
議案第161号	和解をすることについて	24. 12. 21	24. 12. 21	可決

②議会提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議会議案 第1号	障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の骨格提言を尊重した障がい者総合福祉法の制定を求める意見書の提出について	24.3.22	24.3.22	可決
議会議案 第2号	総合的な野生鳥獣害対策を求める意見書の提出について	24.6.26	24.6.26	可決
議会議案 第3号	浜岡原子力発電所の永久停止、廃炉を求める意見書の提出について (総務文教委員会付託)	24.9.26	-	継続審査
議会議案 第4号	飯田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	24.9.26	24.9.26	可決
議会議案 第5号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出について	24.9.26	24.9.26	可決
議会議案 第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	24.9.26	24.9.26	可決
議会議案 第7号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について	24.9.26	24.9.26	可決
議会議案 第8号	新たな教職員定数改善計画の着実な推進と教育予算の増額を求める意見書の提出について	24.9.26	24.9.26	可決
議会議案 第9号	一般国道153号の指定区間編入を求める意見書の提出について	24.9.26	24.9.26	可決

③報告議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第1号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(保健福祉部関係))	24.2.28		
報告第2号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	24.2.28		
報告第3号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	24.2.28		
報告第4号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(水道環境部関係))	24.3.8		
報告第5号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部 道路瑕疵))	24.3.8		
報告第6号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(危機管理・交通安全対策室関係))	24.3.8		
報告第7号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(企画部関係))	24.3.8		
報告第8号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	24.3.22		
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて (飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について)	24.6.4	24.6.4	承認
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて (飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	24.6.4	24.6.4	承認
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度飯田市一般会計補正予算(第9号))	24.6.4	24.6.4	承認
報告第12号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号))	24.6.4	24.6.4	承認
報告第13号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度飯田市介護保険特別会計補正予算(第3号))	24.6.4	24.6.4	承認
報告第14号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度飯田市駐車場事業特別会計補正予算(第1号))	24.6.4	24.6.4	承認
報告第15号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度飯田市墓地事業特別会計補正予算(第1号))	24.6.4	24.6.4	承認
報告第16号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号))	24.6.4	24.6.4	承認
報告第17号	専決処分の承認を求めることについて (平成23年度飯田市下水道事業特別会計補正予算(第3号))	24.6.4	24.6.4	承認
報告第18号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(保健福祉部関係))	24.6.4		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第19号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	24.6.4		
報告第20号	権利の放棄について(病院料金に係る債権)	24.6.4		
報告第21号	権利の放棄について(水道料金に係る債権)	24.6.4		
報告第22号	平成23年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	24.6.4		
報告第23号	平成23年度飯田市介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	24.6.4		
報告第24号	平成23年度飯田市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	24.6.4		
報告第25号	平成23年度飯田市病院事業会計継続費繰越計算書の報告について	24.6.4		
報告第26号	平成23年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	24.6.4		
報告第27号	飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	24.6.4		
報告第28号	株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類の提出について	24.6.4		
報告第29号	飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提出について	24.6.4		
報告第30号	財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明する書類の提出について	24.6.4		
報告第31号	財団法人飯田市南信濃振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	24.6.4		
報告第32号	株式会社ウッドアンドアースの経営状況を説明する書類の提出について	24.6.4		
報告第33号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(保健福祉部関係))	24.6.13		
報告第34号	飯田市基本計画の実施状況の概要について	24.6.26		
報告第35号	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度飯田市一般会計補正予算(第2号))	24.8.28	24.8.28	承認
報告第36号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	24.8.28		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第37号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	24. 8. 28		
報告第38号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(水道環境部関係))	24. 8. 28		
報告第39号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	24. 8. 28		
報告第40号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(保健福祉部関係))	24. 9. 6		
報告第41号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	24. 9. 6		
報告第42号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	24. 9. 26		
報告第43号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	24. 9. 26		
報告第44号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(教育委員会関係))	24. 9. 26		
報告第45号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	24. 11. 28		
報告第46号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	24. 12. 10		
報告第47号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(総務部関係))	24. 12. 21		
報告第48号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(保健福祉部関係))	24. 12. 21		

(5) 議会において執行した選挙・選任等

(平成24年1月から平成24年12月まで)

会期	年月日	選挙・選任の内容
第1回定例会	24.2.28	<ul style="list-style-type: none"> 公平委員の選任 固定資産評価審査委員の選任 松尾地区財産区管理委員の選任
第2回定例会	24.6.4	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員の候補者の推薦 中央財産区管理委員の選任 鼎財産区管理委員の選任 東野財産区管理委員の選任 千代財産区管理委員の任命
第3回定例会	24.8.28	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会委員の任命 南部財産区管理委員の選任 中央財産区管理委員の選任 羽場財産区管理委員の選任 野底財産区管理委員の選任
第4回定例会	24.11.28	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の委員の任命 人権擁護委員の候補者の推薦 南部財産区管理委員の選任

(6) 委員会活動開催状況

(平成24年1月から平成24年12月まで)

	常任委員会				特別委員会		議会運営委員会	議会制度検討委員会	議会改革推進会議	議会だより編集委員会	全員協議会
	総務文教	社 会	産 業 経 済	建 設 環 境	庁舎建設	リニア推進対策					
委員会	9	6	6	5	18	8	20	11	18	10	
協議会	9	9	7	5	1	2					12
計	18	15	13	10	19	10	20	11	18	10	12

(7) 請願陳情

①委員会別審査状況

(平成24年1月から平成24年12月まで)

		処 理 状 況							合計
		採択	趣旨採択	審議未了	取下げ	不採択	審議中	議決を要さず	
請 願	総務文教	4	1						5
	社 会	1							1
	産業経済								
	建設環境								
	計	5	1						6
陳 情	総務文教	1			1	1	1		4
	社 会	1	2		1	1			5
	産業経済		1						1
	建設環境								
	計	2	3		2	2	1		10

※受理番号1件のもので、要旨が数項目ある場合

- ① 同一委員会で、全ての項目を審査し、全項目を一括採決した場合は、1件とする。
- ② 処理状況が複数にわたる場合は、その結果をそれぞれ1件とする。
- ③ 複数の委員会へ項目を分けて付託審査した場合は、それぞれを1件とする。
したがって②③の処理がされた場合は、「受付番号」の件数より、処理状況合計数は大きくなる。

②請願議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程月日	議決月日	議決結果
産経	24請願 第1号	国に対し、T P P 参加交渉に向けた協議の中止を 求める意見書を提出願いたい	24. 3. 8	24. 3. 22	趣旨採択
社会	24請願 第2号	国に対し、当事者総意に基づく「障害者総合福祉 法」制定を求める意見書を提出願いたい	24. 3. 8	24. 3. 22	採択
総文	24請願 第3号	国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書 を提出願いたい	24. 9. 6	24. 9. 26	採択
総文	24請願 第4号	国に対し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求め る意見書を提出願いたい	24. 9. 6	24. 9. 26	採択
総文	24請願 第5号	国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書 を提出願いたい	24. 9. 6	24. 9. 26	採択
建環	24請願 第6号	国に対し、一般国道153号の指定区間編入を求め る意見書を提出願いたい	24. 9. 6	24. 9. 26	採択

③陳情議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程月日	議決月日	議決結果
総文 社会	24陳情 第1号 (24陳情第 1-1号) (24陳情第 1-1号)	市に対し、市内全小中学校ならびに市内全幼稚園・保育園において定期的に給食食材の放射性物質検査を実施し、結果を公表するとともに、少量でも放射性物質が検出された食材は使用しないよう求める	24. 3. 8	24. 6. 4	取り下げ 許可
総文	24陳情 第2号	国に対し、年金2.5%の削減の中止を求める意見書を提出願いたい	24. 3. 22	24. 6. 26	趣旨採択
総文	24陳情 第3-1号	市に対し、市内全小中学校において定期的に給食食材の放射性物質検査を実施し、結果を公表するとともに、県等の検査結果を確認し、放射性物質不検出の食材を優先的に使用するよう求める	24. 6. 13	24. 6. 26	採択
社会	24陳情 第3-2号	市に対し、市内全幼稚園・保育園において定期的に給食食材の放射性物質検査を実施し、結果を公表するとともに、県等の検査結果を確認し、放射性物質不検出の食材を優先的に使用するよう求める	24. 6. 13	24. 6. 26	採択
産経	24陳情 第4号	国に対し、十分な情報開示、国会審議、国民的議論などのプロセスを終えないままTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加表明を行うことに反対する意見書を提出願いたい	24. 9. 6	24. 9. 26	趣旨採択
社会	24陳情 第5号	国に対し、安心できる介護保険制度の実現を求める意見書を提出願いたい	24. 12. 10	24. 12. 21	不採択
社会	24陳情 第6号	国に対し、安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書を提出願いたい	24. 12. 10	24. 12. 21	趣旨採択
社会	24陳情 第7号	市と国に対し、65歳以上の高齢者に対して、5年ごとの「肺炎球菌」ワクチンの予防接種の公費助成を求める陳情	24. 12. 10	24. 12. 21	趣旨採択
総文	24陳情 第8号	国に対し、原子力政策の転換を求める意見書を提出願いたい	24. 12. 10		継続審査
総文	24陳情 第9号	国に対し、所得税法第56条の廃止を求める意見書を提出願いたい	24. 12. 10	24. 12. 21	不採択

(8) 定例会の質問事項

①第1回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成24年3月7・8日

No.	氏名	項目・要旨
1	井 坪 隆 (会派みらい)	1 平成24年度予算について (1) 会派みらいの提言した、予算編成の在り方としての「歴史的転換点」をどのように捉えたか 2 リニア中央新幹線の推進における、市長のリーダーシップについて (1) 官民一体の行動をどう展開していくか (2) 県及び関係機関との連携をどのように考えているか (3) 事業に関する協議の状況はどうか
2	牛 山 満 智 子 (無 会 派)	1 児童虐待について (1) 平成23年に全国で児童虐待被害児童が過去最多であったことについてどう考えるか (2) 飯田市での虐待の実態はどのようなか (3) それに対してどのように対応しているか 2 猫の不妊・去勢手術への助成について (1) 平成23年度の手術費用助成についていつ広報したか。その結果どうだったか (2) 飯田保健所の猫引き取りが、県内で2年連続最多だという報道をどう考えるか (3) 路上で事故等で死んだ獣畜類の処理をしていると思うが、実態はどうか (4) 猫の保健所での引き取り頭数や路上で死ぬ猫を減らす為に何が有効だと考えるか
3	福 沢 清 (会派みらい)	1 新地方公会計制度における飯田市の財務諸表について (1) 財務諸表の情報公開は十分か (2) 貸借対照表に関して ① 基金の増加、公債の減少の調達源は何か。基金の増加と施策の関連はどうか ② 財源の増加原因は何か。今後の見通しは (3) 行政コスト計算書に関して ① 人件費の増加の原因は ② 今後どうするか ③ 公債費の利払の交渉はどのように進められているか (4) 類似都市との比較はどうか (5) 平成24年度予算との関連は 2 パーソナル・サポートセンターについて (1) 飯田市としてパーソナル・サポートセンターを現時点でどのように把握しているか (2) 飯田市とパーソナル・サポートセンターの連携はどうか (3) 今後のパーソナル・サポートセンターをどのように考えるか 3 共通番号制について (1) 地方自治体レベルの論議が必要と考えるがどうか (2) 「給付つき税額控除」と共通番号制の関連はどうか (3) 災害時の共通番号制の活用はどうか (4) 国に対し、地方自治体としての意見をどう反映させるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ)	<p>1 「知のネットワーク」による21世紀型戦略的地域づくりについて</p> <p>(1) 「飯田の豊かさを享受できる学術研究都市」について</p> <p>① 具体的なイメージはどのようなものか</p> <p>② 飯田の持つ潜在力をどう評価しどのように学術研究都市に繋げていくか</p> <p>③ 産業ダイナミズムの創発機能を如何に高めるか</p> <p>(2) 「学輪IIDA」を核とする「知のネットワークづくり」について</p> <p>① 地域を起点とした人材育成とは何か</p> <p>② 学輪IIDAの交流と連携を展開、強化するために</p> <p>ア 交流主体はどこか</p> <p>イ 公民館活動など地域づくりの担い手との交流をどう進めていくか</p> <p>ウ 学輪IIDAを地元企業の人材育成にどう繋げていくか</p> <p>(3) 「知のネットワークづくり」には総力戦が必要ではないか</p> <p>2 飯田らしさを生かした小中連携・一貫教育を実りあるものにするために</p> <p>(1) 義務教育9年間でどのような学力を身につけさせたいか</p> <p>(2) 小中連携・一貫教育の導入により、具体的に何が変わるか</p> <p>(3) 各中学校区の特徴も大切であるが飯田市全域共通として何をどう展開するか</p>
5	内 田 雄 一 (日本共産党)	<p>1 行財政改革大綱・プランについて</p> <p>(1) 地方債残高を減らしていきたいとする市長の姿勢は理解できるが、臨時財政対策債の残高が増えている。長期的な見通しはどうか</p> <p>(2) 行政が担うべき役割や責任をどのように捉えているか。また行財政改革プランと両立できると考えるか</p> <p>① 「多様な主体との連携」が謳われているが、地域自治組織や住民組織の自立した活動を保障できる内容となっているか</p> <p>② これまで推進してきた民間への委託や指定管理について、どのように検証しているか</p> <p>③ 「民間の参入機会を拡大」するとしているが、今後の民営化方針とその対象として想定しているものはなにか</p> <p>2 第6次定員適正化計画について</p> <p>(1) 第5次計画による過去5年間の効果をどのように捉えているか</p> <p>(2) 定員適正化の目標は、どのように定めたか</p> <p>① 平成29年度の目標計画職員数800人は削減しすぎではないか。十分な行政サービスの提供は可能と考えるか</p> <p>② 6次計画では臨時・非常勤職員も削減対象となっているが、行政運営に支障は出ないか</p> <p>③ 今後の採用方針を含めた長期的な人材育成の考え方はあるか。また、定年引き上げも検討されているが、全体への影響はあるか</p> <p>3 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について</p> <p>(1) 次期計画においてごみの処理方法はどのようなものを考えているか</p> <p>(2) 次期ごみ処理施設整備との関連では「プラスチック類を焼却する」ことが検討されているが、市民のリサイクル意識を保ちながら、ごみの減量を目指すことは可能と考えるか</p>
6	吉 川 秋 利 (会派のぞみ)	<p>1 地域としての統合力発揮のための拠点作りについて</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	吉 川 秋 利	<p>(1) 下伊那農業高校が借用していた土地が利用可能な状態になったことをどのように捉えているか</p> <p>(2) 公民館機能の統合等将来に亘り有効な利用計画を検討すべきと考えるがどうか</p> <p>2 柔道の義務教育授業への採用について</p> <p>(1) 授業の安全性についてはどのような配慮を検討しているか</p> <p>(2) 設備的な課題についてはどのように考えているか。また、国からの支援策はどの程度見込まれるか</p> <p>3 災害対策について</p> <p>(1) 防災訓練の目的は何か</p> <p>(2) 備蓄に対する見込み、維持についてはどのように考えているか</p>
7	下 平 勝 熙 (市民パワー)	<p>1 環境政策について</p> <p>(1) 小型家電の回収について</p> <p>① 循環型社会構築・レアメタル等資源対策への貢献など、環境政策に好影響を与えようと思うがどうか</p> <p>② 他の自治体の中に取り組みを始めたところもあるが、飯田市はどのように考えるか</p> <p>③ 埋め立て処分量の削減・最終処分場の延命、ゴミの減量化につながる事業と思うがどうか</p> <p>④ 拡大生産者責任制度について、国に働きかけが必要と思うが飯田市としての考えは</p> <p>(2) 大規模太陽光発電（メガソーラー）について</p> <p>① 環境・経済に与えた影響をどのように評価しているか</p> <p>② 今後の展開・設置の可能性はどうか</p> <p>2 都市計画道路事業について</p> <p>(1) 都市計画道路に決定する意義は何か</p> <p>(2) 都市計画道路決定後、着手に至らず社会状況の変化で計画が経年劣化した路線もあると思うが、計画の変更・廃止はあるか</p> <p>(3) ロードマップにおけるリニア駅へのアクセス道路は、計画中の都市計画道路に影響はあるか</p> <p>(4) 桐林・大明神原線桐林工区の現状は</p> <p>① 長野県への働きかけが必要な段階にあると思うがどうか</p> <p>② 鈴岡バイパス計画の今後の工程表ではどのようなことが考えられるか</p>
8	林 幸 次 (公明党)	<p>1 平成24年度予算(案)について</p> <p>(1) 新年度予算編成にあたっての基本的な方針は何か</p> <p>(2) 「知のネットワークによる21世紀型戦略的地域づくり」を進めるために、重点的に予算配分した事業は何か</p> <p>(3) 次の、県の事業に対する飯田市の対応・連携はどうか</p> <p>① 教育の充実として、「活用方法選択型教員配置事業」</p> <p>② 農業者の育成として、「農業で夢をかなえる支援事業」</p> <p>2 行財政改革の推進について</p> <p>(1) 行財政改革大綱における行財政改革プランについて</p> <p>① 次期計画期間の効果目標額30億円の妥当性はどうか</p> <p>② 基金積立額の目標値を設定すべきと思うがどうか</p> <p>③ 組織機構改革に向けての基本的方針は何か</p>

No.	氏名	項目・要旨
9	清水可晴 (市民パワー)	<p>1 地域主権改革の推進について</p> <p>(1) 地域主権改革に対する市長の政治姿勢について</p> <p>① 地域主権改革の現状をどう見ているか</p> <p>ア 一括2法による条例制定権の拡大をどのように捉え、市民福祉を推進していくか</p> <p>イ 一括2法による権限移譲によって、財源補填はされるか</p> <p>② 地域主権改革の推進による、飯田市行財政改革大綱の考え方について</p> <p>ア 一括交付金による事業は、質と量でどのように変わるか</p> <p>イ 総数抑制の第6次定員適正化計画は地域主権改革と逆行するのではないか</p> <p>(2) 交差点の構造をロータリー(ラウンドアバウト)方式とする計画について</p> <p>① 吾妻町ロータリー(ラウンドアバウト)での社会実験の意義と検証は</p> <p>② 東和町交差点の構造をロータリー(ラウンドアバウト)方式とする計画について</p> <p>ア 地元の理解は得られたか。交通管理者等関係機関の調整はどうか</p> <p>イ 地域主権改革の中で道路構造はどうか。安全でエコなラウンドアバウトを条例化し市民との情報共有をしたらどうか</p> <p>ウ 市民への周知はどうか</p> <p>2 入札制度改革と公契約条例の制定について</p> <p>(1) 公契約条例の制定について</p> <p>① 入札制度改革とセットで公契約条例制定に取り組む考えについて</p> <p>ア 一般競争入札、業務委託、指定管理者の労働者への賃金反映の実態は</p> <p>イ 一般競争入札の導入で市況は下がっていないか</p> <p>ウ 税金で発注する工事や業務委託、指定管理者の指定は、人件費の占める割合も多いことから、適正な公正労働基準を定める公契約条例が有効ではないか</p> <p>(2) 今後の入札制度改革について</p> <p>① 電子入札制度の導入を検討しているか</p>
10	村松まり子 (公明党)	<p>1 発達障がい児童への途切れない発達支援の取り組みについて</p> <p>(1) 児童の発達段階(出生～就園前、保育園・幼稚園、小学校、中学校)における取り組みの現状はどうなっているか</p> <p>(2) 発達支援の取り組みをどのようにつなげていくか</p> <p>(3) 保健・福祉・教育等関係部局の一元化による「子ども発達総合支援室(センター)」を設置してはどうか</p>
11	原和世 (会派みらい)	<p>1 安心と支え合いのまちづくりに関して</p> <p>(1) 高齢者等が一人でも安心して暮らせるコミュニティづくりについて</p> <p>① 孤独死への対策と見守りの社会をどう考えるか</p> <p>② 生活困窮に係る見守りの仕組みづくりは</p> <p>(2) 障害者自立支援について</p> <p>① 障害者就労継続支援A型事業所の実態と手当ては</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世	2 育て育む地域づくりに関して (1) 地域との関わり合いによる地育力の向上について ① 地育力を高めることへの課題認識は ② 教員が地域活動に関わることの意義は ③ 子どもたちと関わる地域の指導者のネットワーク化についての認識は (2) 歴史研究所と学輪IIDAについて ① 歴史研究所の持つ役割と市史編纂は ② 学輪IIDAのネットワークと歴史研究所の関わりは
12	木 下 容 子 (市民パワー)	1 「自転車のまち飯田」の取り組みについて (1) 自転車専用レーンの普及について ① 自転車専用レーンが普及してきたが、その現状はどうか ② 今後の整備計画は ③ サイクリングロードの整備状況はどうか (2) 自転車利用者へのルールとマナーの啓発について ① 学校では交通安全教育にどのように取り組んでいるか ② 大人に対して正しい通行方法の啓発は ③ 自転車は被害者だけでなく、加害者にもなりうるが、そのための対策は (3) 自転車利用を点から面につなぐには ① 自転車市民共同利用システムの状況はどうか ② ツアー・オブ・ジャパンの実績や成果はどうか ③ 観光面での自転車利用は ④ サイクルトレインの事業をJRに働きかけられないか ⑤ 健康づくりへの自転車の活用方法は ⑥ 自転車をキーワードとした市内の連携をどのように作り上げるか
13	木 下 克 志 (会派のぞみ)	1 不法投棄について (1) 不法投棄の実態と環境モデル都市とのギャップをどう考えるか ① 道路の随所に立っている不法投棄禁止の幟旗や赤い鳥居を見て何を感じるか ② ポイ捨て条例(仮称)の検討はどうなっているか ③ 今後の課題は 2 水資源について (1) 域外資本の水資源利用目的による用地買収の実態は ① 地下水についてどう考えるか ② 他市町村では条例整備等検討が加速している。当市は問題がないか ③ 県の動向、他市の動向についてどう考えるか ④ 他市では地下水を公用水と位置付けている所もあるが、当市はどう考えているか 3 食と農について (1) 農産物の有利販売についてどの様に考えているか ① 農産物の付加価値を付けるための取り組み状況はどうか ② 農産物の6次産業化への取り組み状況はどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
14	永 井 一 英 (公 明 党)	<p>1 「救急医療情報キット」の導入について</p> <p>(1) 救急現場において、医療情報などの必要性を感じた事例はないか</p> <p>(2) 導入する場合にはどのような課題があるか</p> <p>(3) 「救急医療情報キット」が有用な場合の想定範囲を、災害時まで拡大することはどうか</p> <p>(4) 市長はどう考えるか</p> <p>2 小・中学校における防災教育について</p> <p>(1) 東日本大震災の教訓を踏まえ、市内の小・中学校における防災教育の内容の見直しを行ったか</p> <p>(2) 国は平成24年度から、新規事業として「実践的防災教育総合支援事業」を開始すると聞く。どのような内容か</p> <p>3 「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」(第1次・第2次一括法)の施行が飯田市に与える影響について</p> <p>(1) 第1次・第2次一括法の施行により、飯田市の裁量が拡大された事例は何か。また、保育所における屋外遊戯場の面積基準のように、条例制定権の拡大に関し「参酌すべき基準」の事例は何件あるか</p> <p>(2) 市長は第1次・第2次一括法の施行により飯田市の自主性、自立性は高まったと考えるか</p>
15	清 水 勇 (会 派 の ぞ み)	<p>1 第5次基本構想の後期基本計画、産業施策について</p> <p>(1) 3つの重点施策の考え方と、具体的な取り組みについてどのように考えているか</p> <p>① 支え、育む基盤づくりの施策で、工業団地、道路整備についての考えはどうか</p> <p>② 未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化についての施策で、分野別の取り組みをどう考えているか</p> <p>③ 新しい力による新しい産業づくりについて、三遠南信道、リニアを見据えた新産業誘致についての基本的な考えはどうか</p> <p>2 飯田市立病院の状況について</p> <p>(1) 医療体制について</p> <p>① 医師と看護師の現状はどうか</p> <p>② 今後の医療体制と医師、看護師の増員の考えは</p> <p>(2) 救急医療について</p> <p>① 利用状況と、医師、看護師の現状はどうか</p> <p>(3) 医師、看護師の研修体制はどのように行われるか</p> <p>3 中山間地域振興計画について</p> <p>(1) 今後の地域振興住宅の取り組みをどう考えているか</p> <p>(2) 5年過ぎた地域自治組織へのパワーアップ交付金について見直しの考えはないか</p>
16	原 勉 (会 派 み ら い)	<p>1 行政運営における市長の経営姿勢について</p> <p>(1) 「行財政改革大綱」と飯田市の将来人口(他市との比較)に対する市長の認識は</p> <p>(2) 当市の公共施設の建設投資と維持費用について</p> <p>① 現在の公共施設、道路や橋、建物などのメンテナンス費用について、長期的な予測などの試算をしているか</p> <p>(3) 平成17年の合併後(南信濃・上村)の検証は</p> <p>① 合併特例債が有利な起債であるとの根拠は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 勉	<p>2 21世紀型戦略的地域づくり(「知のネットワーク」)について</p> <p>(1) 「人材育成・人材活用」について</p> <p>① 4年制大学の設置に向けた具体的な取組は</p> <p>3 当市における建設工事の入札制度(一般競争入札)について</p> <p>(1) 平均落札率及び入札参加者数は</p> <p>(2) 入札結果の公表(最低制限価格等)は</p>
17	伊 壺 敏 子 (日本共産党)	<p>1 2012年度当初予算について</p> <p>(1) 安定的な財政運営に必要となる一般財源は確保できたか</p> <p>(2) 「歳出の抑制に心がけた」と言っているが、何をどのようにしたか</p> <p>(3) 財政状況の現状と今後の見通しはどうか</p> <p>(4) 社会保障関係費の自然増への対応について、財源をどのように確保したか</p> <p>(5) 地方財政計画の誘導にのらない職員定数計画であるべきと思うがどうか</p> <p>(6) 介護保険料抑制のためにどのような対応を行ったか</p> <p>(7) 防災・減災事業についてどのように進めていくか</p> <p>(8) 再生可能エネルギー利用拡大に対する取り組みは</p> <p>(9) 一般住宅の耐震改修の現状と今後の取り組みは</p> <p>(10) 国民健康保険の広域化に向けて制度改正が行われようとしているが、どのように考えているか</p> <p>(11) 地域経済の要である中小業者への支援策についてどう反映したか</p>
18	後 藤 莊 一 (日本共産党)	<p>1 高齢者福祉について</p> <p>(1) 高齢者福祉計画・介護保険事業計画、地域健康ケア計画について</p> <p>① それぞれの計画の整合は図っているか。また事業の住み分けはどうか</p> <p>② 地域健康ケア計画の中で家庭訪問を全域に展開するようだが、具体的にはどう取り組むか</p> <p>③ 高齢者福祉計画に介護予防の推進がうたわれているが、介護保険事業計画の中で取り組むか</p> <p>(2) 高齢者に対する住民税について</p> <p>① この間の税制改革における住民税引き上げや定率減税廃止、老年者控除の廃止などで、高齢者に対する住民税が増税となったが、市の状況はどうか</p> <p>② この増税分が高齢者福祉に反映されてきているか</p> <p>(3) 成年後見センターについて</p> <p>① センター設立の要望が大きくなっているが、市としての考えはあるか</p>
19	新 井 信 一 郎 (会派のぞみ)	<p>1 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) 長野県知事からJR東海の環境影響評価方法書に対する意見が提出されたが、その内容をどう受け止めるか</p> <p>(2) 同じく知事より別途、独自の意見書も提出された。そちらはどう考えるか</p> <p>(3) 「リニア将来ビジョン」があるが、今後どう地域に活かしていくか</p> <p>① 「リニア将来ビジョン」策定後、どう扱っているか</p> <p>② 「リニア将来ビジョン」を活用した取り組みの考えは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新 井 信 一 郎	<p>(4) 南アルプス世界自然遺産登録推進事業と協力関係を築く考えはないか</p> <p>① 中央構造線エリア・ジオパークとして、日本ユネスコに登録されたが、その活用方法と他地域との連携の現状は</p> <p>② 飯田市らしい教育環境整備の一環として、ユネスコ・スクールに加盟しないか</p> <p>③ リニアの利用者が、自然環境保全に協力するための仕組みづくりを考えてみてはどうか</p>

②第2回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成24年6月12・13日

No.	氏名	項目・要旨
1	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	<p>1 牧野市長の市政経営について</p> <p>(1) 2期8年間をどう総括するか</p> <p>(2) 経済自立度と持続可能な地域経営について</p> <p>① 経済自立度を高めるために取り組んできた産業振興策の内容と成果は何か</p> <p>② 多様な地域資源を活かせる新たな地域産業づくりを進める必要があるのではないか</p> <p>③ 今こそ、産学官が一体となって新たな地域産業を創出できる「学術研究都市づくり」を進めるべきではないか</p> <p>(3) 3期目に向けての決意は</p> <p>2 スローライフサミットについて</p> <p>(1) 飯田市が「スローライフまちづくり全国都市会議」に加盟している目的は何か</p> <p>(2) スローライフサミット飯田開催について</p> <p>① 開催のコンセプトは何か</p> <p>② 市民参加はどこまで考慮されているか</p> <p>(3) リニアを見据えた地域づくりにスローライフをどう活かすか</p>
2	新井 信一郎 (会派のぞみ)	<p>1 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) 飯田市の現時点での取組み状況は</p> <p>(2) 長野県がJR東海との窓口と聞くが、その状況は</p> <p>(3) 飯田市と窓口である長野県との連携は</p> <p>(4) 飯田市の考えるリニア将来ビジョンは</p> <p>(5) 牧野市政として、市長のリーダーシップとは</p> <p>2 公教育について</p> <p>(1) 通学路及び校内環境について</p> <p>① 通学路の基準とは</p> <p>ア 通学路の状況は</p> <p>イ 学校敷地内の、児童生徒と自動車等の棲み分け状況は</p> <p>② 学校敷地内の緑化率は</p> <p>③ 学校敷地内での喫煙の扱いは</p> <p>④ 子ども達の安心安全をどう確保するか</p> <p>(2) 牧野市政における教育行政の取組み姿勢について</p>
3	井 坪 隆 (会派みらい)	<p>1 市長の今日までの市政運営、政治姿勢について</p> <p>(1) 市政運営における、まちづくりの基本姿勢をどのように考えてきたか</p> <p>(2) 2期目の基本方針の到達度をどのように評価するか</p> <p>(3) 市長として、県との関係の在り方、広域(連合)における町村長との連携、市役所職員の士気高揚に、十分配慮できたか</p>
4	原 和 世 (会派みらい)	<p>1 産業振興に関して</p> <p>(1) 長短期の経済自立度の見通しについて</p> <p>① 経済自立化への10年の大詰めだが、戦略と展開は</p> <p>② 第5次基本構想における重点施策の前期評価と後期展開は</p> <p>(2) 地域経済活性化プログラム、産業別の課題と展望について</p> <p>① 製造業、農業、林業、観光業の実状は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世	<p>② 雇用（新卒、求人）の実状は</p> <p>2 防災に関して</p> <p>(1) 危機管理のシステムについて</p> <p>① 危機管理要員の養成をどの様に考えるか</p> <p>② 指揮命令系統はどの様に補完されるか</p> <p>(2) 東南海地震について</p> <p>① 内閣府による新想定震度と体制づくりは</p> <p>② 南信州広域連携は</p>
5	福 沢 清 (会派みらい)	<p>1 空き家の適正管理について</p> <p>(1) 空き家の現状はどうか</p> <p>(2) 危険な空き家対策はどうか</p> <p>(3) 空き家の適正管理に関して条例制定はどうか</p> <p>2 健康づくり家庭訪問について</p> <p>(1) 健康状態と市民ニーズは把握できたか</p> <p>(2) 介護予防事業や保健事業への反映はどうか</p> <p>(3) 特定健診、がん検診について成果はどうか</p> <p>(4) 今年度、家庭訪問の対象を62歳に絞った理由は何か</p> <p>(5) 今後の家庭訪問事業はどうか</p>
6	清 水 可 晴 (市民パワー)	<p>1 第5次基本構想・後期基本計画の推進について</p> <p>(1) 目標人口の達成と後期基本計画の推進について</p> <p>① 人口減少社会が及ぼす影響と持続可能な人口規模及び人口構造について市長の思いは</p> <p>② 市民協働と自律のまちづくりを市民と共有すべきと思うがどうか</p> <p>③ 下方修正した目標人口の設定と人口減少の抑制策について</p> <p>ア 文化経済自立都市を達成するための目標人口の設定根拠と人口減少の抑制策の具体策は何か</p> <p>イ 将来の経済成長分野への布石と、定住人口増加策の展開方向は</p> <p>④ 人口減少を想定した長期財政見通しの公表と大型事業の優先順位の考え方は</p> <p>⑤ 人口減少に伴う広域行政の将来展望はどうか</p> <p>(2) 公共事業用地の取得について</p> <p>① 公平性の観点での公共事業用地の取得に関し、庁舎整備用地の取得はどうなっているか</p> <p>(3) 緊急性の高い事業について</p> <p>① 特養飯田荘の耐震対策はどうなっているか</p> <p>2 県事業の誘致について</p> <p>(1) 南信運転免許センターの誘致について</p> <p>① 広域連合の対応状況は</p> <p>② 飯田市への誘致を考えているか</p>
7	下 平 勝 熙 (市民パワー)	<p>1 市民生活の安全・安心の確保政策について</p> <p>(1) 安全・安心の確保のレベルを上げることが飯田市のステータスアップにつながると考えるがどうか</p> <p>(2) セーフコミュニティ制度の検討はどのような状況か</p> <p>(3) 歩行者の交通安全対策について、市はどのように考えているか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	下 平 勝 熙	<p>① 通学路・横断歩道などで重大事故が発生していることへの対応策</p> <p>② 視力弱者への信号機のあり方など</p> <p>(4) 安全・安心の充実は、産業などにも好影響を与えると思うがどうか</p> <p>2 環境政策について</p> <p>(1) 低炭素社会実現のための小水力発電について</p> <p>① 実現の可能性と今後の展開は</p> <p>② 可能な候補地は</p> <p>③ 課題は何か</p> <p>(2) 電動バイクの今後の考えはどうか</p> <p>(3) パークアンドライドの検討状況はどうか</p> <p>3 奉仕活動（ボランティア）について</p> <p>(1) 奉仕活動（ボランティア）について、市はどのような評価をしているか</p>
8	林 幸 次 (公 明 党)	<p>1 防災・減災対策の強化について</p> <p>(1) 内閣府の有識者会議が3月に公表した「南海トラフ巨大地震」の被害想定について</p> <p>① 市長の感想・見解はどうか</p> <p>② 飯田市の「地域防災計画」への反映と取組みはどうか</p> <p>(2) 公共施設の老朽化対策・耐震化策について</p> <p>① 公共施設の50年以上が経過したものの割合はどうか</p> <p>② 公共施設の老朽化対策を含めた耐震化と、防災機能の強化策についてどう取組むか</p> <p>③ インフラの老朽化対策を含めた「災害に強いまちづくり」の工程表の策定をどう進めるか</p> <p>(3) 学校施設における防災対策について</p> <p>① 非構造部材の安全点検の実施状況はどうか</p> <p>② 非構造部材の耐震強化への取組み方針は何か</p> <p>③ 防災を体系的に学ぶ「安全教育」で、防災教育の確立が必要ではないか</p>
9	村 松 まり子 (公 明 党)	<p>1 通学路の安全対策について</p> <p>(1) 一連の登下校時の交通事故を受けての市の対策は</p> <p>(2) 学校として校区の安全対策をどうしているか</p> <p>(3) 文科省・国交省・警察庁の3省庁からの通知である「通学路における緊急合同点検の実施」にどう取り組むか</p> <p>2 今夏の節電対策について</p> <p>(1) 昨夏の「節電の夏」や今冬の「節電の冬」の経験を踏まえた、今夏の当市の節電への取り組みは</p> <p>(2) 各家庭、各市民への「節電の夏」への取り組みは</p> <p>(3) 7月から「固定価格買取制度」がスタートするが、再生可能エネルギーの「普及元年」の当市の取り組みは</p> <p>3 不育症対策について</p> <p>(1) 流産死産を繰り返す不育症の周知を図ったり、相談体制を整えるべきと思うがどうか</p> <p>(2) 不育症の治療費助成をしてはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
10	牛山 満智子 (無党派)	<p>1 成年後見制度について</p> <p>(1) 成年後見制度とはどのような制度か</p> <p>(2) 飯田市での利用実態はどのようなか</p> <p>① 利用人数は</p> <p>② 利用している方の年齢・心身・家族状況等の実態はどのようなか</p> <p>(3) 飯伊地区に成年後見センターを設置する考えは</p> <p>① 県内の他地区には後見センターが設置されているが、飯伊では設置が遅れている。センターを設置した方が良いと思うがどうか</p> <p>② 市町村が成年後見を申し立てる事案はどのようなもので、当市での実態はどうか</p> <p>(4) 成年後見制度利用の費用について</p> <p>① 費用負担はどのようなか</p> <p>② 支払い困窮者への助成制度はあるか</p> <p>2 水資源について</p> <p>(1) 現在、飯田市の水源や河川で水量・流量に変化が出ているということはないか</p> <p>(2) 飯田市でも今の内に、井戸水・名水等の湧水、地下水の調査をしたらどうか</p>
11	木下 容子 (市民パワー)	<p>1 食育の推進について</p> <p>(1) 飯田ならではの食育の取り組みの成果は</p> <p>① わが家の結いタイムの取り組みは</p> <p>② 季節や行事食、郷土食を通じての取り組みは</p> <p>③ 地育力を生かした食育の取り組みは</p> <p>④ 食育ボランティアの取り組みは</p> <p>⑤ 食育店の取り組みは</p> <p>(2) 豊かな学校給食の推進について</p> <p>① 命をいただくことへの感謝の気持ちを育む取り組みは</p> <p>② 飯田市食育推進計画で設定した数値目標の達成はどうか</p> <p>③ 米飯給食の実施に取り組む考えはないか</p> <p>④ 「お弁当の日」の実施はどうか</p> <p>⑤ 学校給食の自校調理方式への移行の考えは</p>
12	伊壺 敏子 (日本共産党)	<p>1 循環型社会形成の視点から考えるごみ問題について</p> <p>(1) ごみ排出量の実績と推移の状況はどうか。また、この結果をどのように考えるか</p> <p>(2) 生ごみの減量と資源化について</p> <p>① 生ごみ処理機の普及状況はどうか</p> <p>② バイオガス化の研究にどのように取り組んでいくか</p> <p>(3) 常設型のリサイクルステーション設置を考えたらどうか</p> <p>2 次期ごみ処理施設の建設に向けて、飯田市として取り組むことについて</p> <p>(1) プラスチックを可燃ごみとすることについての対応をどのように考えているか</p> <p>(2) 廃プラスチック収集をモデル地区で行っていたが、その状況はどうだったか</p> <p>(3) 高効率ごみ発電施設についてどう考えるか</p> <p>3 障害者福祉サービスの利用者負担について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	伊 壺 敏 子	(1) 利用者負担の実態はどうか (2) 利用者負担額の補助を行うべきと思うがどうか
13	永 井 一 英 (公 明 党)	1 医療と介護の役割について (1) 「医療費抑制の波紋。もう病院で死ねない」ということが、飯田市立病院においてもあるか (2) 平成24年度の診療報酬改定に当たっては、「医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化及び在宅医療等の充実」が重点課題の一つだったと聞くがどうか (3) 平成24年度の介護報酬の改定に当たっては、「医療と介護の連携の強化」が重点課題の一つだったと聞くがどうか (4) 従来の小規模多機能型居宅介護事業に訪問看護を複合させた事業所の創設について、市はどのように考えるか (5) 例えば「訪問看護」を利用する場合に、医療保険による場合と介護保険によってサービスを受ける場合では何が異なるか (6) 特別養護老人ホーム入所申込者の再調査を実施したと聞く。実態はどうか
14	内 田 雄 一 (日 本 共 産 党)	1 住宅リフォーム制度について (1) 本年度から予算化されているが、制度の概要はどうか。また、どのように周知したか (2) 利用実績や申込み状況はどうか。また、効果についてどう捉えているか (3) 今後の課題はどのように捉えているか 2 放射線測定について (1) 空間線量を測定するガイガーカウンターを貸し出しているが、利用状況はどれくらいあるか (2) 市内の空間線量や土壌からの検出は確認しているか (3) 学校給食の放射線測定はどのように実施しているか (4) 飯田市独自で学校給食の放射線測定を行う必要があると思うがどうか 3 生活保護制度について (1) 生活保護世帯の推移はどうなっているか (2) 全国で不正受給などが問題視されているが、制度の適正な運営を行える体制になっているか ① ケースワーカーの配置状況はどうなっているか ② 自立支援はどのように行っているか
15	清 水 勇 (会 派 の ぞ み)	1 飯田市の遊休資産について (1) 市遊休資産の現状をどう把握しているか (2) 現地確認の状況と処分の進め方は (3) 今後の取り組みと目標をどう考えていくか 2 飯田市のやらまいか提言箱について (1) やらまいか提言箱の目的と基本的な考え方、年間の提言数と提言者への回答状況はどうか (2) 市政運営にどのように活かしているか (3) 今後の運営と回答方法は現状でよいか 3 新庁舎建設について (1) 進捗状況と工期、日程はどうなっているか (2) 今後どのような計画で進めていくか

No.	氏名	項目・要旨
16	後藤 莊一 (日本共産党)	<p>1 後期高齢者医療制度における保健事業について</p> <p>(1) 後期高齢者健康診査事業について、飯田市の現状はどうか。また課題はあるか</p> <p>(2) 県内他市と比べ受診率はどうか</p> <p>(3) 飯田市独自の検診項目を設けているか</p> <p>(4) 人間ドックや肺炎球菌ワクチン接種等についても長野県後期高齢者医療広域連合からの交付金があると聞いているが、飯田市は取り組んでいるか</p> <p>(5) 地域健康ケア計画では、どう位置づけているか</p> <p>2 市税等の収納対策について</p> <p>(1) 差し押さえ件数と金額はどう推移しているか</p> <p>(2) 国民健康保険税滞納による差し押さえ状況はどうなっているか</p> <p>(3) 昨年度、滞納整理機構に送った事案の状況はどうか</p> <p>(4) 市として滞納整理を強化しているようだが、市民の生活に支障のない取り組みになっているか</p>
17	森本 美保子 (会派みらい)	<p>1 災害対策について</p> <p>(1) 河川の管理について</p> <p>① 豪雨時に正常な河川機能が維持されているとは思えない箇所について、市はどのように考えているか</p> <p>2 改正育児・介護休業法について</p> <p>(1) 7月1日から、改正育児・介護休業法が全面施行される。飯田市の取り組み状況は</p> <p>(2) 常時100人以下の労働者を雇用する中小企業についても施行される。市の考えは</p> <p>3 外国人在留管理制度の変更について</p> <p>(1) 飯田市の対応と現状はどうか。また、課題は何か</p> <p>(2) 窓口業務の役割と、施行後の方針は</p> <p>4 人形劇関連について</p> <p>(1) 今回、渡邊副市長が「世界ウニマ」の総会への参加と「世界人形劇フェスティバル」の視察をされたようだが、どのように飯田市をPRされ、得たものは</p> <p>(2) 佐藤副市長が「人形の友・友好都市国際協会」総会に参加される目的は</p>
18	木下 克志 (会派のぞみ)	<p>1 リニアのトンネル掘削などで出る残土の処理について</p> <p>(1) 上伊那を含む南信州の複数の自治体で検討に着手する考えを示しているが、市としてどの様に考えているか</p> <p>(2) 残土処理は懸念材料の一つ。これを有効活用できればマイナスが逆にプラスに転じる。平地の少ない飯田市が、この残土を活かす方策は</p> <p>2 組織力低下について</p> <p>(1) 全国的に自治体を取り巻く各種団体、任意団体等の組織力の低下、弱体化が言われているが飯田市の実態はどうか</p> <p>① 組合未加入の現況と課題は</p> <p>② 消防団の現況と課題は</p> <p>③ 日赤奉仕団の現況と課題は</p> <p>④ 高齢者クラブの現況と課題は</p> <p>⑤ 婦人会・女団連等の現況と課題は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
19	吉 川 秋 利 (会派のぞみ)	<p>1 公共施設の耐震診断と対策について</p> <p>(1) 文化芸術施設の耐震診断についてはどのようなスケジュールになっているか</p> <p>(2) どのような耐震診断を行うか</p> <p>(3) 文化施設等の再配置に関する行財政改革大綱における改革プランの中でどのように方向性を出していくか</p> <p>2 学輪 I I D A と大学誘致について</p> <p>(1) 学輪 I I D A の現状と目指すものは何か</p> <p>(2) 具体的にどのような成果が見込まれているか</p> <p>(3) 学輪 I I D A と大学の誘致とは根本的に異なると考えられるが、大学誘致をどのようにとらえているか</p> <p>(4) 若者が定住するためには学輪 I I D A と大学誘致をどのような観点でとらえ、対処していくか</p>

③第3回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成24年9月5・6日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	原 和 世 (会派みらい)	1 桐林クリーンセンターに関連して (1) 廃炉に伴う手続きは (2) 廃炉後の施設及び跡地の活用は (3) 火災により発生した残火物の処理は (4) サンヒルズいいだの運営は 2 リニア中央新幹線について (1) リニアを見据えた地域づくりに関連し、土地利用・交通体系・産業立地の課題をどの様に統合し整理し議論していくか 3 大地震における初期体制について (1) 飯伊包括医療協議会が想定する被災負傷者の救済について ① 各診療所と避難所との関連は ② 医薬品の備蓄と運用は
2	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ)	1 市民と共に創る市政運営について (1) 情報公開について ① 市民との協働において情報公開、情報共有が極めて重要と思うが現状はどうか ② 共に考え、創造するために情報公開に新たな視点が必要と思うがどうか (2) 職員の能力を活かすために ① 「結果評価オンリー」の成果主義は見直すべきでないか ② 「なでしこ」に見るチームプレイを積極的に取り入れるべきでないか (3) 民間力を活かすために ① 不断の信頼関係の構築が必須と思うが現状はどうか ② 民間出身である市長の更なるリーダーシップが必要と思うが今後の抱負は何か 2 南信州の主体性(地域イニシアティブ)と県内協調を両立させる市政運営について (1) リニア中央新幹線への今後の取り組みについて ① リニア将来ビジョンを市民と共にどう具現化するか ② 国・県・近隣市との関係について ア 現状をどう認識しているか イ 全市を挙げた人的ネットワークづくりが不可欠と思うがどうか ③ 三遠南信自動車道とのアクセス道路に残土を有効活用するよう国・県へ提言できないか (2) 南信州ならではの4年制大学の創出について ① 知のネットワークの中核に4年制大学は必要でないか ② 南信州に相応しい大学、学部のあり方について研究すべきでないか ③ 公立4年制大学を選択肢として検討すべきでないか (3) 飯田工業高校後利用について ① 地元への情報提供、協議は出来ているか ② 広域としての検討の現状はどうか ③ 県との協議の現状はどうか ④ 飯田市として今後どのように取り組むか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
3	福 沢 清 (会派みらい)	<p>1 飯田長姫高校と飯田市に係るパートナーシップ協定について</p> <p>(1) 協定締結の経過とその目的は何か</p> <p>(2) 飯田市としての役割は何か</p> <p>(3) 松本大学の関わり、役割は何か</p> <p>(4) 協定の今後をどう考えるか</p> <p>2 改正育児・介護休業法について</p> <p>(1) 育児・介護休業法に関して飯田市での普及状況はどうか</p> <p>(2) 育児・介護休業法の啓発はどうか</p> <p>(3) 法律改正を飯田市政にどう反映させていくか</p> <p>3 外国人の住民登録について</p> <p>(1) 外国人集住都市会議の提言と飯田市の現状は</p> <p>(2) 外国人登録制度で居住把握の状況はどうか</p> <p>(3) 制度改正に伴い外国人への対策は</p>
4	内 田 雄 一 (日本共産党)	<p>1 牧野市政2期目の振り返りについて</p> <p>(1) 市長は2期目をどのように自己評価しているか</p> <p>(2) 市長は「産業振興と福祉の充実は車の両輪」であると主張していたが、その達成状況はどうか</p> <p>① 経済自立度を尺度とする地域経済活性化プログラムを軸としてきたが十分な効果が認められたか。また、経済自立度を向上させることによって地域が良くなる見通しをもっているか</p> <p>② 現在の活性化プログラムは中小企業や農業まで含めた幅広い市内の産業に対応できるものとなっていると考えるか。もっとバランスのとれた産業振興策を考えるべきだと思うがどうか</p> <p>③ 産業振興と福祉は分けて考えるべきではないか</p> <p>(3) 市政運営のなかで福祉はどのように位置付けられているか</p> <p>① 「社会的弱者に手を差し伸べることが行政の使命」との発言は、実態とかい離はないか。現時点で市長の考える福祉とはどのようなものか</p> <p>(4) 市長は市政の長期的ビジョンを大いに語っていると思うが市民との間に意識のずれはないか</p> <p>① リニア中央新幹線開業に向けた取り組みやリニア時代を見据えた人材育成の考え方はどうか</p> <p>ア 「リニア将来ビジョン」を中心とする地域の将来像をどう描き、説明してきたか</p> <p>イ 「知のネットワーク」を中心とする地域の人材育成の考え方は市民に理解されていると思うか</p> <p>ウ 「多機能高付加価値都市圏」「小さな世界都市」など新しい都市像を打ち出しているが、実現のために必要な取り組みは何か</p> <p>② 環境モデル都市として全国からの注目度が高いが、特に重視した取り組みは何か。今後どのような展開を考えているか</p>
5	下 平 勝 熙 (市民パワー)	<p>1 飯田市の平和政策について</p> <p>(1) 市の平和事業の取り組みについて</p> <p>① 平和事業の取り組みの基本は何か</p> <p>② 現状はどのようになっているか</p> <p>(2) 平和事業の今後の取り組みについて</p> <p>① 脱原発について市長はどのように捉えるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	下 平 勝 熙	<p>② 平和市長会議に参加したが、非核平和都市宣言の精神を平和事業にどう生かしていくか</p> <p>③ 平和教育について今後の対応は ア 満蒙開拓平和記念館の活用を考えているか イ 収蔵中の戦争関係資料をどう生かすか ウ 被爆地広島・長崎に市民が訪れる機会を設けたらどうか</p> <p>2 災害時対応について (1) 災害拠点施設、避難施設等の被災調査について ① 手法はどのようなものであるか ② 実施に当たり課題は何か</p>
6	清 水 可 晴 (市民パワー)	<p>1 森林・林業・林産業の活性化と事業推進について (1) 飯田市が行う公共建築物等における木材利用について ① 公共建築物等における木材利用の促進に関する法律は、可能な限り木造化・木質化を図るとの考えだが、市長の受け止めと取り組む姿勢について ア 飯田市公共建築物・公共土木工事等における木材利用促進計画の策定を検討しているようだが検討状況と課題は イ 公共施設の木造化、木質化を促進する施設整備の対象はどのようなものが考えられるか。また、直面している新庁舎整備に関して積極的に木材利用を推進すべきと考えるがどうか ② 未利用木質資源の燃料等の総合利用の推進をどのように考え、取り組んでいくか ア 木材利用の促進では、暖房器具等の燃料として木質バイオマス燃料の導入に努めるとしているが、市の施設への導入状況と今後の普及をどのように考えているか イ 再生可能エネルギーの固定価格買取制度が法制化されたが、バイオマス発電の可能性調査を実施したらどうか ③ 民間への木材利用を普及する飯田市産材利用啓発活動事業は効果を上げているか ア 飯田市産材利用啓発活動補助金の利用実態はどうか。また、市民理解の醸成をどのように図っていくか</p> <p>(2) 森林資源を保全し、活用する取り組みについて ① 森林セラピー基地の発掘と活用について ア リニア時代を見据え、野底山森林公園、遠山郷、大平高原、飯田高原など森林セラピー基地として資源発掘し、市民や都会の住民の健康志向に目を向けた森林活用策に取り組んだらどうか イ マツタケ山整備と増産技術の普及に積極的に取り組む考え</p> <p>(3) 森林づくり県民税活用事業について ① 飯田市における県民税活用事業の実施状況と効果は ② 水源涵養林の情報把握と保全対策を行っていくか</p>
7	牛 山 満 智 子 (無党派)	<p>1 飯田市地域公共交通について (1) 現在の市民バス・乗合タクシーの運行状況について ① 市民バスは ② 乗合タクシーは (2) 市民バスと乗合タクシーの内、三穂線について ① 三穂線の市民バスの運行はいつ始まったか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	牛山 満智子	<ul style="list-style-type: none"> ② 利用状況はどうか (3) 乗合タクシー丸山・羽場・切石線になるまでの状況は (4) ニツ山住宅団地と三尋石住宅団地の住民の高齢化率はどうなっているか <ul style="list-style-type: none"> ① 市営は ② 県営は (5) 両住宅団地から市立病院・市街地を結ぶ路線の市民バスを始めるべきではないか
8	林 幸次 (公明党)	<ul style="list-style-type: none"> 1 市長2期8年間の総括について <ul style="list-style-type: none"> (1) 地方自治法の理念に基づいた住民本位の市政経営が図られたか (2) 経済自立度を高める多様な産業施策の推進について、産業づくりはどこまで進んだか (3) 「人材サイクルの構築」を大きな政策テーマとしてきたが、その成果はどうか (4) 市長と市民との距離感および相互理解について <ul style="list-style-type: none"> ① 2期8年間の牧野市政について、市民理解は得られたか ② リニア中央新幹線・三遠南信自動車道を見据えた地域づくりに市民意識は高まったか 2 行政サービスの向上について <ul style="list-style-type: none"> (1) コンビニエンスストアにおける「証明書等の交付サービス」について <ul style="list-style-type: none"> ① 市当局の考え方はどうか ② 住民基本台帳カードの普及や活用促進を図るべきではないか
9	村松 まり子 (公明党)	<ul style="list-style-type: none"> 1 市民の安全・安心について <ul style="list-style-type: none"> (1) 防災体制の強化について <ul style="list-style-type: none"> ① 防災意識の向上についての取り組みは ② 災害時の住民への情報伝達のあり方は ③ 災害時要援護者支援の取り組み状況は ④ 福祉避難所の体制は ⑤ 女性の視点を生かした防災対策の取り組み状況は (2) 通学路の安全対策について <ul style="list-style-type: none"> ① 文科省・国交省・警察庁の3省庁からの通知である「通学路における緊急合同点検の実施」について <ul style="list-style-type: none"> ア 先月までに実施された緊急合同総点検の取り組みと結果は イ 要対策箇所として抽出された箇所についての対策は ウ 通学路の安全点検を今後どういう形で継続していくか
10	吉川 秋利 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 保健行政について <ul style="list-style-type: none"> (1) 介護保険料の徴収基準は (2) 国民健康保険税の算定基準は 2 飯田商工会議所について <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市にとって飯田商工会議所はどのような団体と捉えているか (2) パワーアップ協定を結んでいるが、この効果と今後に期待されることは何か (3) 商業・市街地活性課の新商工会館への入居についてはどのように考えているか 3 イジメ問題について <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市のイジメについて現状をどのように捉えているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	吉 川 秋 利	(2) 大津市の問題を踏まえて、第三者委員会と言うものを設置させようという動きがあるが、第三者委員会をどのように判断しているか (3) イジメ問題を解決するために、具体的な方策をどのように考えるか
11	永 井 一 英 (公 明 党)	1 いじめ問題について (1) 今回の大津市の中学校の事件をどのように認識し、いじめについてどのように考えているか (2) 飯田市におけるいじめの実態は (3) いじめで苦しむ子どもたちをなくすために、どのように考えているか (4) いじめをなくすための取り組みは (5) 飯田西中学校の「いじめ解消委員会」の取り組みを全市展開してはどうか 2 空き家対策について (1) 飯田市における空き家の現状を把握しているか (2) 市民からの苦情や相談内容、件数などの把握は行っているか (3) 商店街の空き家対策、Iターン者などへの空き家の斡旋など空き家対策は様々だが、市はどのように捉え、どのように対応しているか (4) 所有者に適正管理を促す条例や解体費用を助成する制度を設ける自治体が出始めていると聞くがその動向は (5) 廃屋になる前の空き家対策は
12	木 下 容 子 (市 民 パ ワ ー)	1 まちに賑わいを取り戻すための事業展開について (1) 飯田市中心市街地活性化基本計画について ① 賑わいの現状はどうか ② 目標達成の見通しはどうか (2) 賑わい創出のために点の整備から面の整備にどうやってつなげるか (3) 社会実験を活用して、賑わい創出につなげられないか 2 孤立死対策について (1) 孤立死と孤独死とは異なるが、飯田市において孤立死と呼ばれる事例があるか (2) 孤立しがちな生活困窮者に対し、民間業者と情報共有しサポートできないか (3) 行政と地域との連携した見守り、支援体制を作り上げることが、地域づくりにもつながると考えるがどうか
13	後 藤 莊 一 (日 本 共 産 党)	1 農業振興策について (1) 飯田市における耕作放棄地の状況はどうか (2) 今年の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用状況はどうか (3) 今年の豆・そばによる遊休農地活用事業の状況はどうか (4) 農協等多くの機関を通じ、制度の周知を図り、多様な主体により再生利用交付金の積極的な活用を行うことはできないか (5) 新たに、大豆、そばの奨励金制度を設け、耕作放棄地の解消を図るようにはできないか 2 介護保険制度改正後の状況について (1) 4月の介護保険法改正による影響を把握しているか ① 介護報酬実質引き下げの影響は ② 生活援助の見直しによる影響は (2) 改正後の利用料増加分、介護報酬引き下げ分をそれぞれ利用者と施設に補助できないか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後 藤 荘 一	3 小中学校における「いじめ」や「暴力」について (1) 市内小中学校における「いじめ」や「暴力」の実態を把握しているか (2) すべて解決しているか (3) 相談体制は整っているか
14	木 下 克 志 (会派のぞみ)	1 平均寿命と健康寿命について (1) この6月、国内で初めて健康寿命「都道府県ランキング」が発表され、長寿県長野として他県から模範とされてきた本県は、男性6位、女性は17位にランキングされたことについて ① 健康寿命の定義とはどのようなものか ② 飯田市としてはこの結果をどう分析したか ③ 平均寿命と健康寿命の差を詰める事、即ち平均寿命の伸びを健康寿命の伸びが上回る事が国保及び介護保険等社会保障負担の軽減に繋がると考えてよいか ④ 寝たきりにならず生活の質が高いまま長く健康でいられるためにどう考えるか ア 運動については イ 栄養、食については ウ 生活習慣病については エ 社会活動については (2) 国保財政の広域化について ① 国には国保の財政運営を市町村から都道府県の単位に移すことを推進する考えがあるようだが、飯田市としてはどう考えるか
15	森 本 美 保 子 (会派みらい)	1 福祉対策について (1) 誰でも通所できる、リハビリステーション的なシステムが必要と思うが、市の考え方は (2) 地域福祉計画の策定に対する市長の基本的な考え方は (3) 健康長寿でありつづけるためにはソーシャル・キャピタルを活用した取り組みが今後の地域の保健対策に必要とされるが、市の考え方は 2 保育園、児童クラブについて (1) 旧松尾保育園後利用について、市は、どのように考えているか (2) 市は児童クラブの指定管理を考えているようだが、今後の取り組みは 3 災害対策について (1) 避難場所について県の施設利用をどのように位置付けているか (2) 避難場所には、赤ちゃんから高齢者まで、最低限の備えが求められる。避難場所の運営に女性の参画が必要と思うがどうか
16	清 水 勇 (会派のぞみ)	1 美術博物館の展示物、収蔵品利用について (1) 大恐竜展について ① 恐竜展開催に至った経緯と、展示内容は ② 期間中の入場者の状況と反応は ③ 恐竜展は終了したが恐竜の骨格、生体模型等の利用方法を考えているか (2) 長谷川善和先生の寄贈品(長谷川コレクション)は現在どうなっているか ① 今後の活用方法を考えているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清 水 勇	<p>② 観光資源として利活用する考えはどうか</p> <p>2 天竜川の濁りと川鵜について</p> <p>(1) 漁業組合は深刻な問題と捉えているが、市では水質検査の状況をどのように把握しているか</p> <p>① 濁りの原因について把握をしているか</p> <p>② 観光への影響はどうか</p> <p>③ 川鵜や鷺による被害の現状について把握をしているか</p> <p>④ 今後の対策をどのように考えているか</p> <p>3 庁舎整備について</p> <p>(1) 住民サービスと効率的な業務についてどう考えているか</p> <p>① フロアレイアウトの基本的な考えと取組みは</p> <p>② 今後の具体的な取り組みと、日程は</p>
17	新井 信一郎 (会派のぞみ)	<p>1 花き市場について</p> <p>(1) 現在の状況は</p> <p>(2) 市として今後の市場をどう考えるか</p> <p>2 高等教育機関について</p> <p>(1) 当地域の高等教育機関の現況は</p> <p>(2) 飯田技術専門校の現況は</p> <p>① 飯田技術専門校からの進路先は</p> <p>② 出身地域別内訳は</p> <p>(3) 長野技能五輪・アビリンピックについて</p> <p>① 市はどうか認識しているか</p> <p>② 出場者への支援状況はどうか</p> <p>(4) 広域連合にて工科短期大学について議論されるが、飯田市としての考えは</p> <p>(5) 文部科学省所管の大学設置について考えはないか</p> <p>3 公教育の現場環境について</p> <p>(1) 文部科学省から発表された受動喫煙防止対策実施状況調査結果について、どう判断するか</p> <p>(2) 校内環境整備に尽力される学校用務員の現状は</p> <p>① 現在の雇用状況は</p> <p>② 今後の雇用見込みは</p> <p>4 南アルプスに付随する道路環境について</p> <p>(1) 長期にわたる通行止めを余儀なくされているが、その現状と今後の見通しは</p> <p>① 観光業への影響については</p> <p>② 登山者等の救援体制については</p> <p>(2) リニア中央新幹線開業を見据えると、現在の道路環境では危険かつ効率が悪いがどう考えるか</p>
18	原 勉 (会派みらい)	<p>1 市長の三期目に向けた重点政策と政治姿勢について</p> <p>(1) 経済自立度55%を目標とした具体的理由は</p> <p>(2) 地域政策金融機能の拡充と地域におけるポスト金融円滑化法の取り組みとは</p> <p>(3) 保育料の更なる引き下げ、子ども医療費無料化を高校生まで拡大することだが、財政面での裏付けは</p> <p>(4) 地域の悲願である高等教育機関の設置を目指す具体的内容は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 勉	<ul style="list-style-type: none"> (5) 2030年度までにエネルギーの自立度20%をめざし、「地域エネルギー事業体」の構築とは何か (6) 新庁舎整備について市民への説明、理解が十分になされてきたか (7) 地域振興住宅の事業期間を平成30年度まで5年間延長する意図は (8) 現飯田駅周辺への南信運転免許センター設置への具体的な取り組みは (9) 『南信州定住自立圏』の構築と「三遠南信広域連合」の設立を目指す、具体的内容は

④第4回定例会一般質問通告表

平成24年12月6日・7日

No.	氏名	項目・要旨
1	新井 信一郎 (会派のぞみ)	<p>1 牧野市長3期目の政治姿勢について</p> <p>(1) 3期目の担うべき課題と心構えは</p> <p>(2) 正念場とするリニア飯田駅・三遠南信自動車道への取り組みと、国県はもとより近隣市町村との信頼関係構築への考え方は</p> <p>(3) 第5次基本構想・基本計画の推進の中で、市長挨拶の3つの「つくり」について、関連と貫かれている理念は</p> <p>2 平成25年度予算編成について</p> <p>(1) 国政が混乱している中での予算編成であるが編成に当たっての留意点と骨格は</p> <p>(2) 市財政の長期見通しは</p> <p>(3) 25年度の税収見通しは</p> <p>3 産業振興について</p> <p>(1) 農産物のブランド化と農・工・商連携による6次産業化への取り組みは</p> <p>(2) 木材の地産地消(ウッドマイレージ)と地元職人による住宅建築、合わせて地元産木材の利用拡大は</p> <p>(3) 有害鳥獣対策への取り組みは</p> <p>4 商工観光事業について</p> <p>(1) 南信州・飯田産業センターの取り組みの充実と「産・官・学」が連携した新技術開発や製品化の取り組みは</p> <p>(2) 工業用地の現状と確保の取り組みは</p> <p>(3) 地域資源や伝統文化資源を活かした観光振興は</p> <p>(4) 南アルプスのジオパーク登録とエコパーク登録を見据えた利活用とインフラ整備は</p> <p>5 地域基盤整備について</p> <p>(1) リニア中央新幹線・三遠南信自動車道を見据えた地域づくりの考え方や飯田市土地利用計画の新たな視点は</p> <p>(2) リニア飯田駅設置を見据えたアクセス道路、スマートインターの研究、三遠南信自動車道の開通を見据えたアクセス道路と鈴岡バイパスの建設促進は</p> <p>6 教育について</p> <p>(1) 平成25年度全市に導入される小中連携・一貫教育は</p> <p>(2) いじめ問題の実態と対策は</p> <p>(3) 不登校対策、発達障害児対策は</p> <p>(4) 飯田市における食育、キャリア教育、社会教育実践の実態と課題は</p> <p>7 子育てについて</p> <p>(1) 中山間地域における保育園の存続維持と公立保育園の民営化は</p> <p>(2) 多様化する保育ニーズや課題は</p> <p>(3) 少子化対策は</p> <p>8 危機管理について</p> <p>(1) 東日本大震災の教訓としての防災対策、減災対策や防災倉庫の備品備蓄状況と対策は</p> <p>(2) 各種情報伝達システムは</p> <p>(3) 消防団員の確保は</p> <p>9 保健福祉について</p> <p>(1) 地域コミュニティとごみ出し支援、買い物困難者支援、認知症への理解などを包含した対策は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎	<p>(2) 老朽化した飯田荘を含めた特養の待機者対策は</p> <p>(3) 成年後見センターの設置は喫緊の課題であるが見通しは</p> <p>(4) 特定健康診査受診率低下の原因と対策は</p> <p>10 医療について</p> <p>(1) 市立病院整備計画の内容と進捗状況は</p> <p>(2) 地域医療の充実のため中山間地域の診療環境整備、ドクターカー配備による救命救急医療体制は</p> <p>(3) 医療従事者確保について現状と課題は</p> <p>11 地域課題全般について</p> <p>(1) 地域自治組織導入後の住民自治の課題、組合未加入問題は</p> <p>(2) 地区公民館など身近な集会施設は災害時の避難所機能を有しているが、耐震補強などの現状と対策は</p> <p>(3) 飯田工業高校の後利用と上村中学校の後利用は</p> <p>(4) 交通弱者対策としての地域公共交通の取り組みと考え方は</p> <p>12 環境、エネルギーについて</p> <p>(1) 不法投棄対策とポイ捨て条例制定への取り組みは</p> <p>(2) エネルギーの地産地消推進への取り組みは</p> <p>(3) 水源域の確保と保全、さらには飲料水の安定供給は</p>
2	原 和 世 (会派みらい)	<p>1 市長の市政運営について</p> <p>(1) 文化経済自立都市の実現に向けて残す4年の課題と市民の受け止め方についてどの様に考えるか</p> <p>(2) 副市長2人体制から1人体制にした決断の背景と市役所におけるガバナンスをどの様に考えるか</p> <p>(3) ゴミ焼却場建設や新庁舎建設等の大型投資に関し市長の説明責任は当を得ていたと考えるか</p> <p>(4) 産業振興政策に対する市長のリーダーシップをどう考えるか</p> <p>2 市の財政運営について</p> <p>(1) 財政運営におけるリスクマネジメントについての考えは</p> <p>(2) 一般、特別会計における短期、中長期財政運営の見通しは</p> <p>3 予算編成について</p> <p>(1) 財政規模拡大に繋がる交付税措置及び国誘導事業に対する原則は</p> <p>(2) 事業継続に関し一定のサイクルを設けることは</p> <p>(3) 行政コスト削減と民間活力の涵養という観点からソフト事業についても指定管理や事業発注方式を取り入れることは</p> <p>4 産業振興施策について</p> <p>(1) 天龍峡百年再生計画の中で天龍峡温泉交流館について天龍峡大橋架橋を見越し施設のあり方を検討する考えは</p> <p>(2) 国際イベントとしても位置づけられるツアー・オブ・ジャパンとやまびこマーチの展望は</p> <p>(3) 「農」をベースにした関連産業の育成は</p> <p>(4) 中小企業金融円滑化法の期限を視野に地域経済への影響調査と対策は</p> <p>5 子育て・教育施策について</p> <p>(1) 家庭や修学について問題や悩みを持つ児童生徒をサポートするため児童生徒の生活指導を支援する要員配置を行う考えは</p> <p>(2) 子どもたちの育成に当たる文化・スポーツ指導者に対する規範プログラム作成と研修助成、情報共有化と連携のための支援の考えは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世	<p>6 自治振興施策について</p> <p>(1) パワーアップ交付金の主旨と目的に沿った使途にするための制度の見直しの考えは</p> <p>(2) 地域自治組織における地域協議会の権能の見直しの考えは</p> <p>(3) 空き家対策のための条例制定の考えは</p> <p>7 行財政改革について</p> <p>(1) 定員適正化の推進に伴う臨時職員の増加をどう考えるか</p> <p>(2) 25年皆水洗化を目処に下水道事業における公営企業会計の導入をすべきと思うがどうか</p>
3	永 井 一 英 (公 明 党)	<p>1 今後の飯田市の財政見直しについて</p> <p>(1) 今後の飯田市の財政見直しを考えたときに、公共施設の老朽化に伴う維持管理費の増大と扶助費等の社会保障関係経費の増大が大きな問題になると考えるがどうか</p> <p>2 保健、医療、福祉、介護の充実について</p> <p>(1) 2025年問題も踏まえて、市は、これからの保健、医療、福祉、介護のあり方をどのように考えているか</p> <p>3 環境未来都市構想について</p> <p>(1) 環境未来都市構想とは何か。超高齢化と環境を結びつける視点は何か。また、飯田市における取り組みの経過と現状は</p> <p>4 環境政策について</p> <p>(1) これからは飯田市独自の新しいエネルギー社会を創造すべきだと考えるが、市はどのように考えているか</p> <p>5 地域の活性化について</p> <p>(1) 人口減少、少子高齢社会の急速な進展の中で、どのように地域の活性化を図るか。政策の概要と考え方は</p> <p>6 ともに支え合い、安心、安全に暮らせるまちづくりについて</p> <p>(1) 市長が3期目をスタートするに当たって、新たな視点や重点的に取り組む事業は何か</p> <p>7 産業振興政策について</p> <p>(1) 期待が高まっているグリーン経済に対する市の考え方と取り組みは</p> <p>(2) 県内10市町村の後継者のいない概ね70歳以上の果樹農家を対象にした県の調査で、「いずれは栽培中止」と回答した割合が松川町では62%に上ったと聞く。飯田市において農業後継者の問題はどうか</p> <p>(3) 鳥獣被害の実態はどうか。新年度に向けての新たな対策は。特に猿に対する対策はどうか</p> <p>(4) 入札制度の考え方は</p> <p>8 子育て支援について</p> <p>(1) 市長は、今まで子育て支援を重要政策の一つに掲げてこられた。今後はどのような点に力を入れていく考えか</p> <p>(2) 先の通常国会で「子ども・子育て関連3法」が成立した。法の意図するところは何か</p> <p>9 教育施策について</p> <p>(1) 今年度モデル校で実施した小中連携・一貫教育をどのように総括しているか</p>
4	木 下 容 子 (市 民 パ ワ ー)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 無投票での3期目を迎えての心構えはどうか</p> <p>① 市長選でのマニフェストは何か。また、今後市民意見をどのように捉え、どう市政に反映させるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 容 子	<p>② 混迷を続けている国の政治状況をどのように捉え、今後の市政運営をいかに進めていくか</p> <p>③ 国の新年度予算の状況が見えにくい中において、危惧する点は何か</p> <p>④ 副市長を従来の一人体制に戻すとしているが、その意図は何か</p> <p>(2) グローバル化、少子化、高齢化、人口減少の時代にあって、地方の自立が求められている現在、今後のあるべき姿をどのように求めていくか</p> <p>(3) 平成25年度予算編成における重点となる事業は何か</p> <p>(4) 庁舎建設における理念の再確認と現場事務所に対する市長の考えはどうか</p> <p>2 リニア中央新幹線開通を見据えた地域づくりについて</p> <p>(1) 「リニア将来ビジョン」に示された地域将来像の考え方は</p> <p>(2) 郊外型となる駅周辺の都市計画や、現JR飯田駅などとのアクセスについての考えは</p> <p>(3) リニア開通が人口の社会減に繋がらないためにはどのような施策が必要か</p> <p>3 保健・医療・福祉・介護の充実について</p> <p>(1) 「地域健康ケア計画」のさらなる推進について</p> <p>① 「市民総健康」・「生涯現役」を目指しての取り組みの成果は見えてきているか</p> <p>② 飯田市における「自殺」や「うつ病」・「引きこもり」などの心の健康に対しての実態把握と対策をどのように進めていくか</p> <p>(2) 飯田市立病院の経営について</p> <p>① 飯田市民が健康で安心して生活を送るための医療の充実に向け、市立病院がどのように役割を果たし、病院経営をどのように推進していくか</p> <p>② 新たな市民要望として療養型病床の増設が求められているが、今後の見通しはどうか</p> <p>③ 全国的な調査によると、勤務医の約半数が健康面に不安を覚えているとのことだが、飯田市立病院における勤務医の負担軽減のための取り組みは</p> <p>④ 医師の招へいと看護師確保の現状と課題は何か</p> <p>(3) 飯田市が設置している特養の課題は何か</p> <p>(4) 買い物困難者・交通弱者のためにどのような配慮が必要と考えているか</p> <p>4 人づくり教育の充実について</p> <p>(1) 小中連携・一貫教育の全市的展開に向けての進捗状況と課題は何か</p> <p>(2) 明日を担う子どもたちに、平和・人権など、命の大切さを認識させるという課題にどう取り組むか</p> <p>(3) 不登校児童・生徒に対する取り組みと、関係機関との連携はどうか</p> <p>(4) 子どもたちに地域の一員であることの自覚を持たせるためにどう取り組むか</p> <p>(5) 生涯現役を目指し、生きがい対策の場としての公民館の活用をどのように考えているか</p> <p>5 働く者が安心して生活できるまちづくりについて</p> <p>(1) 遠州・三河圏域、中京圏域との連携を深めるための今後の進め方はどうか</p> <p>(2) 既存企業の育成と物づくりのスペシャリスト養成に対する支援をどう考えるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 容 子	<p>(3) 鳥獣被害対策の現状と個体調整を含む具体的な対策と、その効果は</p> <p>6 快適で安全・安心のまちづくりについて</p> <p>(1) 「環境モデル都市」を標榜している市として、脱原発についての市長の考えはどうか</p> <p>(2) 「飯田市地震防災計画」は、3連動地震を想定してのものとなっているか。また、原発事故の想定はどこまで検討しているか</p> <p>(3) 「セーフコミュニティ」の国際認証取得は、安全面だけでなく、企業誘致に有利に働くと考えるがどうか</p> <p>(4) 身近な生活環境整備のために、社会的インフラの点検整備、また、公共施設の長寿命化計画の推進と投資額の見込みはどうか</p> <p>(5) JR飯田線駅の無人化問題に対する取り組みをどう展開していくか</p>
5	伊 壺 敏 子 (日本共産党)	<p>1 真の「地方分権改革」について</p> <p>(1) 三位一体改革は、市政運営にどのような影響を及ぼしたか</p> <p>(2) 「地域主権改革」で何がどのように変わったか。「国と地方の協議の場」の成果はあったか。今後の課題は何か</p> <p>(3) 将来どのような行政制度を理想と考えるか。また、どのような地方分権を求めるか。適正な基礎自治体の規模は何人と考えるか。その理由は何か</p> <p>2 市民のための「行財政改革」について</p> <p>(1) 人件費の削減は基礎体力の低下に繋がらないか</p> <p>(2) 臨時財政対策債の大幅な増加に課題はないか。安定的財源と言えるか</p> <p>(3) 指定管理者制度による施設管理についてどのように検証したか</p> <p>3 社会保障制度をどのように認識しているか</p> <p>(1) 社会保障の給付を「受益」とする考え方はどうか</p> <p>(2) 「助け合い」を社会保障とする考え方はどうか</p> <p>(3) 年金・医療・介護を「保険主義」とすることについての考え方はどうか。また、財源を消費税に求めることについての考え方はどうか</p> <p>(4) 子ども・子育て関連法が成立したが、将来の保育事業についてどのように考えているか</p> <p>4 再生エネルギーへの転換で地球温暖化対策を</p> <p>(1) 「ロードマップ」の概要は。今の取り組みのペースでよいか</p> <p>5 地域経済振興を進めるために</p> <p>(1) 産業連関表の作成で、産業構造の分析をしてはどうか</p> <p>6 5年目を迎えた地域自治組織について</p> <p>(1) 地域協議会の役割は十分果たされているか</p> <p>(2) 地区毎の会費負担の格差について、改善策を考えてはどうか</p> <p>(3) 地域自治組織に編入した公民館活動の検証はどうか</p>

⑤第4回定例会関連質問通告表

平成24年12月6日・7日

No.	質問者	通告内容
1	吉川 秋利 (会派のぞみ)	1 牧野市長の8年間を振り返り、今後の4年間の政治姿勢を問う (1) 人づくり(人材の育成)について ① 人材育成の事業を展開してきたが、どのような効果があったと判断しているか。また、今後についてはどのように考えているか ② 飯田市役所としての人材育成についてはどのような方策を取ってきたか。また、どのような効果が上がったと感じているか ③ 今後の4年間でどのような方向性を持って取り組んでいくか
2	原 勉 (会派みらい)	1 市の公共施設の建設投資と維持費用について (1) 現在の公共施設、道路や橋などのメンテナンス費用について、どのような問題意識を持ち、長期的な予測などの試算をしているか
3	林 幸次 (公明党)	1 永井一英議員代表質問の「4 環境政策について」の関連質問 (1) レアメタル等の回収・リサイクルの取り組みについて ① 平成20年12月議会の代表質問における、レアメタル等の回収促進の提言について、その後の取り組みはどうか ② 「小型家電リサイクル法」の成立を受けて、飯田市はどう対応するか (2) エコアクションポイント制度について ① エコアクションポイント制度創設の提言を4年間に渡って行ってきたが、その後の検討状況はどうか
3	清水 可晴 (市民パワー)	1 特養飯田荘の老朽化対策と特養3荘の運営について (1) 特養飯田荘の施設改修計画の検討はどうか (2) 特養3荘の設置及び指定管理の今後の考えは (3) 特養3荘と協力病院との連携は出来ているか (4) 遠山荘の介護員確保が課題と聞くが入所者に影響はないか
4	内田 雄一 (日本共産党)	1 福祉医療給付制度について (1) 飯田市における福祉医療給付制度の実施状況はどうか (2) 福祉医療現物給付を飯田市の独自基準を設けて実施してはどうか

⑥第4回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成24年12月7・10日

No.	氏名	項目・要旨
1	福 沢 清 (会派みらい)	<p>1 菱田春草生誕地整備について</p> <p>(1) 飯田市と橋北まちづくり委員会が結んだパートナーシップ協定の意図はどこにあるか</p> <p>(2) 今後の生誕地整備は飯田市としてどのように計画しているか</p> <p>(3) 「菱田春草」の芸術的、国民的価値について、市民への普及活動にどう取り組んでいくか</p> <p>(4) 子どもへの教育はどう取り組むか</p> <p>2 地震に対する防災について</p> <p>(1) 住宅の耐震補強の状況はどうか</p> <p>(2) 家具転倒防止の行政サポートはどのように取り組むか</p>
2	牛 山 満 智 子 (無会派)	<p>1 3期目に当る牧野市長の政治家としての基本的スタンスは</p> <p>(1) 安倍自民党総裁の出してきた自民党公約案について</p> <p>① 憲法第9条に関わる集団的自衛権行使の明確化と国防軍の保持についてどう考えるか</p> <p>② 憲法改正の発議要件の緩和についてどう考えるか</p> <p>(2) 憲法の問題は、市民全てに関わることであり、地方自治体の長としてもいろいろな場面で意見を言ってはどうか</p> <p>2 介護保険外で、移動困難者や生活支援サービスを実施している団体へ、市として補助を考えてはどうか</p> <p>(1) 移送サービスについて</p> <p>① 移送サービス提供者養成講座開催の補助を考えたらどうか</p> <p>② 移送サービスに必要な車椅子用車輦等の固定費用(駐車場代・車輦保険料・定期点検費用)等の補助を考えたらどうか</p> <p>(2) 生活支援について(介護研修も含めて)</p> <p>① 生活支援の要望も多くコーディネーターが必要であり、また協力員確保についての補助を考えられないか</p> <p>② 外国人の介護研修(通訳必要)についての補助も考えられないか</p>
2	村 松 ま り 子 (公明党)	<p>1 認知症対策について</p> <p>(1) 本市の認知症高齢者の実態と今後の推移はどうか</p> <p>(2) 認知症予防の取り組み、認知症サポート施策の取り組み状況は</p> <p>(3) 認知症高齢者支援の為にグループホーム、デイサービスの拡充の考えは</p> <p>(4) 地域包括支援センターと連携した専門チームによる訪問活動の取り組みは</p> <p>(5) 「若年性認知症」患者・家族へのサポート体制を強化すべきと考えるがどうか</p> <p>2 介護保険住宅改修及び福祉用具購入の受領委任払い制度の導入について</p> <p>(1) 現状と課題は何か</p> <p>(2) 導入についての考え方は</p>
4	下 平 勝 熙 (市民パワー)	<p>1 市民と共に進める行政経営について</p> <p>(1) 第5次基本構想・後期基本計画における地域自治組織について</p> <p>① どのような位置づけになっているか</p> <p>② 課題は何か</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	下 平 勝 熙	<p>(2) 地域協議会について</p> <p>① 設置の根拠と権限はどのようなものか</p> <p>② 形骸化していないか</p> <p>③ 年間の活動回数、課題は何か</p> <p>(3) 地域自治推進のための支援制度はどのようなものがあるか</p> <p>(4) 地域自治のためには自主財源確保への支援が必要ではないか</p>
5	湊 猛 (会派のぞみ)	<p>1 商工業及び農林水産業の振興について</p> <p>(1) 県・上郷・遠山郷商工会と飯田商工会議所の統合から、約3年が経過した。統合後の市の現状認識は。また、今後の商工会議所への支援はどのように考えているか</p> <p>(2) 農業後継者育成・新規就農者支援の取り組みは</p> <p>(3) 間伐材・竹などの利用拡大、森林整備・林道開発整備の取り組みは</p> <p>(4) 有害鳥獣対策は喫緊の課題であり有効な手立てを具体化すると共に、地場産業の振興策としてジビエ料理・遠山地鶏・信州サーモン・温泉とらふぐ・遠山茶等に対する有効な支援策は</p>
6	後 藤 庄 一 (日本共産党)	<p>1 飯田市の経済と雇用について</p> <p>(1) 経済の悪化は飯田市も深刻だと認識しているが、市長の言う「失われた20年」を取り戻す策はあるか</p> <p>(2) 飯田市（あるいは飯田下伊那）の雇用の状況はどうか</p> <p>(3) 雇用奨励補助金を廃止したが、影響はなかったか</p> <p>(4) 新たな雇用奨励として、介護など福祉分野への雇用奨励補助制度を設けたらどうか</p>
7	井 坪 隆 (会派みらい)	<p>1 農業の振興について</p> <p>(1) 市長の三期目の公約において、地域の農業振興についてのプライオリティー（優先度）を、どのように位置づけているか</p> <p>(2) 国の「人・農地プラン」への取り組みについて、飯田市としてどのようにとらえているか</p>
8	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ)	<p>1 高付加価値都市圏（学術研究都市）の実現へ向けて</p> <p>(1) 年頭所感で示された「高付加価値都市圏」の議論は深められたか</p> <p>(2) 牧野市政3期目の中でどう位置づけるか</p> <p>(3) 実現のためのロードマップをどう作っていくか</p> <p>2 学術研究都市を具現化するために</p> <p>(1) 県立大学サテライト・ラボを最初の一步と考えているか</p> <p>(2) 飯田らしさを生かした研究機能の創出、研究機関の設置は考えられ</p>

本会議等傍聴状況(平成24年)

会 期	年 月 日	傍 聴 人 数
第1回定例会	平成24年 2月 28日	146
	平成24年 3月 7日	18
	平成24年 3月8日	1
	平成24年 3月22日	0
第2回定例会	平成24年 6月4日	1
	平成24年 6月12日	5
	平成24年 6月13日	45
	平成24年 6月26日	0
第3回定例会	平成24年 8月28日	0
	平成24年 9月 5日	4
	平成24年 9月 6日	11
	平成24年 9月 26日	0
第4回定例会	平成24年11月28日	0
	平成24年12月 6日	13
	平成24年12月 7日	8
	平成24年12月10日	0
	平成24年12月21日	3
計		255

上郷小145人

2 報酬その他

(1) 報酬

役 職	報酬月額	役 職	報酬月額
議 長	499,000円	市 長	876,000円
副議長	436,000円	副市長	720,000円
議 員	407,000円	副市長(特命)	674,000円
		教育長	624,000円
改定日	平成11年4月1日	改定日	平成21年4月1日

報酬額の改定推移

(単位：千円)

種 別	改定年月日									
	61 4.1	62 4.1	63 4.1	1 4.1	3 4.1	4 4.1	5 4.1	7 10.1	9 7.1	11 4.1
議 長	331	339	352	369	413	437	469	485	494	499
副 議 長	278	285	296	310	352	372	410	424	432	436
議 員	259	266	277	290	325	343	383	396	403	407

(2) 期末手当

6月期支給額 報酬×1.45×140/100

12月期支給額 報酬×1.45×155/100

※平成23年4月から平成25年3月までの間の6月及び12月の期末手当は、議長90,000円、副議長78,000円、議員72,000円をそれぞれ支給すべき額から減ずる。

(3) 費用弁償

往復の交通費のみ支給する。

(4) 研修旅費

議 員 1 人 当 り 年 額	
常 任 委 員 会	実 費
議 会 運 営 委 員 会	実 費
海 外 研 修 視 察	所要額の3/4(交付金)

(5) 政務活動費

議員1人当り年額140,000円

(6) 飯田市議員等の旅費額

(平成3年4月1日改正)

旅費の区分 職務の区分	車 賃		日 当	宿 泊 料		食 卓 一 夜 に つ き 料
	交通機関 の ある 場 合	交通機関 のない場 合(1キロ メートル につき)		県 内	県 外	
議員、教育委員、選挙管理委員、 公平委員、監査委員、農業委員、 固定資産評価審査委員、選挙長	実 費	円 37	円 2,600	円 11,800	円 13,100	円 2,600

3 定期刊行物

(1) 飯田市議会だより

創刊 昭和46年4月1日

発行回数 年4回(4月、7月、10月及び1月(定例会終了の翌月)
このほか臨時号)

発行部数 各34,000部

印刷 オフセット印刷(A4版 1回平均10ページ)

160号より表紙、裏表紙のみカラー刷り

(2) 飯田市議会要覧

発行回数 年1回(例年6月発行)

発行部数 150部

4 市議会会議録

(1) 各定例会及び臨時会の会議録

発行回数 年4回(次回定例会の招集日までに発行)

発行部数 35部

印刷 オフセット印刷(A4版)

(2) 全員協議会、常任委員会及び特別委員会の会議録

発行部数 1部

(3) 会議録検索システム

平成4年第2回定例会以降の本会議、全員協議会、各委員会のデータが検索可能
平成15年11月から、インターネットによる会議録検索に対応

5 議会事務局の事務分掌

(1) 庶務係

- ア 公印の管理に関する事。
- イ 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- ウ 予算及びその経理に関する事。
- エ 議員の身分、人事、福利厚生、共済等に関する事。
- オ 議員の報酬、費用弁償等に関する事。
- カ 議長会等に関する事。
- キ 儀式及び交際に関する事。
- ク 議会関係各室の管理に関する事。
- ケ 職員の人事、服務、給与等に関する事。
- コ 議決証明等に関する事。
- サ 物品の出納保管に関する事。
- シ 議会乗用車の管理に関する事。
- ス 他の係の所管に属さない事項に関する事。

(2) 議事係

- ア 本会議に関する事。
- イ 常任委員会、特別委員会、協議会等に関する事。
- ウ 議会において行う選挙等に関する事。
- エ 公聴会、参考人等に関する事。
- オ 議案その他付議事件に関する事。
- カ 議員の出欠席に関する事。
- キ 議事日程及び諸報告に関する事。
- ク 請願及び陳情に関する事。
- ケ 会議録その他の会議記録の調製及び保管に関する事。
- コ 議会の傍聴に関する事。
- サ その他議事に関する事。

(3) 調査係

- ア 議会、委員会等から命じられた事項の調査に関する事。
- イ 市政の調査及び研究に関する事。
- ウ 各種資料の収集、整理及び発行に関する事。
- エ 議員の研修に関する事。
- オ 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。
- カ 法令等の調査研究に関する事。
- キ 議会広報に関する事。
- ク 照会事項の回答に関する事。
- ケ 議会図書室に関する事。
- コ 視察に関する事。

飯田市議会要覧

参 考 資 料

平成25年度 飯田市各会計予算

会 計 名		予 算 額		比 較	
		25年度 (A)	24年度 (B)	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
一 般 会 計		43,272,000	42,419,000	853,000	2.0
国民健康保険特別会計	事業勘定	10,008,190	9,943,000	65,190	0.7
	直診勘定	4,600	4,900	△ 300	△ 6.1
後期高齢者医療特別会計		1,171,200	1,143,400	27,800	2.4
介護保険特別会計		10,068,000	9,846,000	222,000	2.3
地方卸売市場事業特別会計		16,400	20,300	△ 3,900	△ 19.2
駐車場事業特別会計		70,000	66,000	4,000	6.1
墓地事業特別会計		13,800	16,400	△ 2,600	△ 15.9
簡易水道事業特別会計		151,900	167,300	△ 15,400	△ 9.2
下水道事業特別会計		4,141,900	4,365,000	△ 223,100	△ 5.1
介護老人保健施設事業特別会計		702,300	648,600	53,700	8.3
上村デイサービスセンター特別会計		27,700	23,700	4,000	16.9
ケーブルテレビ放送事業特別会計		129,000	129,000	0	0.0
病院事業会計		14,655,062	15,533,394	△ 878,332	△ 5.7
水道事業会計		3,141,000	3,290,500	△ 149,500	△ 4.5
特別会計の計		44,301,052	45,197,494	△ 896,442	△ 2.0
計		87,573,052	87,616,494	△ 43,442	△ 0.0

(単位:千円、%)

主 な 内 容		
		一般
保険給付費 6,677,808 後期高齢者支援金等 1,345,969 介護納付金 563,965 共同事業拠出金 1,005,158 保健事業費 98,691		国保
三穂診療所、上村歯科診療所		
後期高齢者医療広域連合納付金 1,134,686		後高
保険給付費 9,699,130 地域支援事業費 164,325		介護
卸売市場費 11,586		市場
中央、本町、飯田駅、駅西、扇町各駐車場の管理運営 67,120		駐車
霊園の管理運営 7,600		墓地
遠山簡易水道の管理運営 67,022 施設整備 22,500		簡水
公共飯田処理区整備 256,300 松尾浄化管理センター整備 55,000 内水排除対策 47,500 管渠長寿命化計画策定 40,000 雨水排水施設設置補助 5,000		下水
施設管理費 606,684 施設事業費 95,616		老施
総務費 16,758 サービス事業費 10,892		デイ
竜東維持管理費 62,608 遠山郷維持管理費 20,122 公債費 45,044		ケテ
収益的収入 12,144,000 収益的支出 12,116,000 資本的収入 1,500,249 資本的支出 2,539,062 (うち第3次整備事業 230,000)		病院
収益的収入 1,916,700 収益的支出 1,869,800 資本的収入 268,100 資本的支出 1,271,200 (うち老朽管更新事業 87,000 緊急連絡管整備事業 50,000 上郷第2配水池更新事業 318,000)		水道
		特会
		計

【平成25年度飯田市一般会計 歳入 主要内容と増減内訳】

区 分	予 算 額		(A)の 構成比	増 減	
	25年度(A)	24年度(B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	12,964,400	12,869,400	30.0	95,000	0.7
2 地 方 譲 与 税	461,000	477,000	1.1	16,000	3.4
3 利 子 割 交 付 金	33,000	41,000	0.1	8,000	19.5
4 配 当 割 交 付 金	25,000	20,000	0.1	5,000	25.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	4,000	4,000	0.0	0	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,227,000	1,178,000	2.8	49,000	4.2
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	84,000	104,000	0.2	20,000	19.2
8 地 方 特 例 交 付 金	40,000	41,000	0.1	1,000	2.4
9 地 方 交 付 税	11,150,000	11,250,000	25.8	100,000	0.9
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	18,000	20,000	0.0	2,000	10.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	840,897	874,774	1.9	33,877	3.9
12 使 用 料 及 び 手 数 料	575,976	576,987	1.3	1,011	0.2
13 国 庫 支 出 金	4,414,681	4,231,813	10.2	182,868	4.3
14 県 支 出 金	2,342,373	2,475,902	5.4	133,529	5.4
15 財 産 収 入	35,293	35,382	0.1	89	0.3
16 寄 附 金	11,000	11,000	0.0	0	0.0
17 繰 入 金	880,187	1,040,257	2.0	160,070	15.4
18 繰 越 金	500,000	400,000	1.2	100,000	25.0
19 諸 収 入	2,357,193	2,293,785	5.4	63,408	2.8
20 市 債	5,308,000	4,474,700	12.3	833,300	18.6
合 計	43,272,000	42,419,000	100.0	853,000	2.0

表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合がある。

主 内 容	増減(A)-(B)の主な内容	
市民税 5,474,000(個人 4,533,000 法人 941,000) 固定資産税 5,770,400 軽自動車税 254,200 市たばこ税 750,000 入湯税 4,000 都市計画税 711,800	個人現年 8,000(0.2%) 法人現年 103,000(9.9%) 固定現年 64,000(1.1%)たばこ 122,000(19.4%)	市税
地方揮発油譲与税 135,000 自動車重量譲与税 326,000	揮発油譲与税 3,000 重量譲与税 13,000	地譲 利子 配当 株式 消費 自取 地特 地交 交通
普通交付税 10,300,000 特別交付税 850,000	普通交付税 100,000	
農林費分担金 80,060(非補助土地改良 80,000) 民生費負担金 754,210(保育料 664,223 老人措置 59,000)	成年後見支援センター町村負担金6,000 保育料 31,643	分負
住宅使用料 150,508 ごみ処理手数料 143,437 戸籍等手数料 50,056 休日夜間診療所 42,500 道路河川占用料 38,230 斎苑使用料 38,006 体育施設 20,223 文化会館 19,000 公民館 13,425 川本人形美術館 10,012 幼稚園使用料 5,395	航空宇宙産業クラスター拠点用地使用料5,280 斎苑使用料 2,185 ごみ処理手数料 2,566 企業人材確保住宅使用料560 住宅使用料 6,413 体育施設 2,622 文化会館使用料 1,185	使手
負担金 民生費 3,359,5278(児童手当 1,303,699 障害 799,553 生活保護 489,537 民間保育所 420,994 ひとり親家庭 142,840) 衛生費 28,000(保険基盤安定)	地域の元気臨時交付金277,000 橋りょう維持55,000 民間保育所負担金 30,946 文化芸術振興 30,370 消防防災設備整備 10,472 社会資本整備(道路) 39,450 生活保護 50,089 社会資本(公園) 39,159 子育て支援 33,377 天龍峡整備 36,121	国庫
補助金 総務費 283,301(地域の元気臨時交付金277,000 通学路3,001) 民生費 65,928(障害 49,356 老人 6,500 生活保護 2,916) 衛生費 27,363(成人保健 15,233 環境保全 9,483) 商工費 53,620(天龍峡 42,725) 土木費 482,312(道路 344,150 住宅 68,162 橋りょう 55,000) 教育費 80,971(文化会館 30,370 文化財 31,672)	参議院議員選挙 38,200 子育て支援対策 36,452 民間保育所負担金 15,473 経営所得安定対策 14,000 子育て支援対策臨時特例交付金 75,718 林道改良 58,368 子宮頸がん等ワクチン 45,093 妊婦健診 31,924 重点分野雇用創造 22,491 上大瀬木地区整備 10,300 障害者医療費給付 7,998	県費
負担金 民生費 1,124,473(障害 385,454 児童手当 285,568 民間保育所 210,497) 衛生費 170,750(保険基盤安定)		
補助金 民生費 519,722(民間保育所 178,356 医療給付 210,946 児童健全育成 40,928 障害 33,883) 労働費 24,185(雇用対策) 農林費 154,896(林業振興 45,385 農政対策 71,017 国土調査 9,045 農業振興 23,172)		
委託金 総務費 206,066(県民税 158,700)		
財産貸付料 24,253 基金運用収入 5,834 不動産売却収入 5,061	基金利子 782 土地建物貸付 869	財産
ふるさと寄附金 5,000 奨学資金 6,000		寄附
財調 300,000 減債 150,000 公共施設 150,000 ふるさと 69,000 庁舎 102,717 社会福祉施設 33,650 地域雇用創出推進 27,326 過疎自立促進 33,570 財産区 13,874	財調 100,000 減債 50,000 公共施設 50,000 ふるさと 9,000 社会福祉施設 33,650 過疎 27,870 地域活性化 22,625	繰入 繰越
貸付金元利収入 1,723,398(商工制度資金 1,520,000 生活資金 170,000) 雑入 517,590 受託事業収入 112,005	土地改良維持管理適性化 25,200 埋文受託 22,293 商工制度資金 20,000	諸入
合併特例債・・・2,313,200 庁舎 1,144,900 社会教育施設 345,800 地域振興基金 285,000 文化会館 245,100 道路 107,800 住宅 91,200 観光施設 65,600 過疎対策事業債・・・73,400 道路 26,100 公共交通体系 23,100 林道 18,200 老人福祉 4,200 消防施設 1,800 その他・・・2,921,400 土木 462,500 消防施設 274,600 臨時財政対策債 2,150,000	庁舎整備事業債 647,200 文化会館整備事業債 245,100 社会教育施設整備事業債 211,100 臨時財政対策債 190,000 病院事業出資債 235,000 道路新設改良事業債 98,400 街路事業債 78,100 小学校建設事業債 75,000	市債

【平成25年度飯田市一般会計 目的別歳出 主要内容と増減内訳】

()・・・国の緊急経済対策に対応した平成24年度3月補正予算を含む13か月予算

区 分	予 算 額		(A)の構成比	増 減	
	25年度 (A)	24年度 (B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 議 会 費	286,113	293,065	0.7	6,952	2.4
2 総 務 費	5,088,843	4,323,141	11.8	765,702	17.7
3 民 生 費	13,278,362	13,296,819	30.7	18,457	0.1
4 衛 生 費	4,948,892	5,274,565	11.4	325,673	6.2
5 労 働 費	280,558	284,298	0.6	3,740	1.3
6 農 林 水 産 業 費	1,157,203 (1,479,836)	1,324,530	2.7	167,327 (155,306)	12.6 (11.7)
7 商 工 費	2,517,003	2,504,482	5.8	12,521	0.5
8 土 木 費	4,634,413 (4,941,686)	4,750,370	10.7	115,957 (191,316)	2.4 (4.0)
9 消 防 費	1,527,359	1,295,406	3.5	231,953	17.9
10 教 育 費	4,232,868 (4,348,513)	3,801,151	9.8	431,717 (547,362)	11.4 (14.4)
11 災 害 復 旧 費	4,300	4,300	0.0	0	0.0
12 公 債 費	4,975,986	4,926,624	11.5	49,362	1.0
13 諸 支 出 金	300,100	300,249	0.7	149	0.0
14 予 備 費	40,000	40,000	0.1	0	0.0
合 計	43,272,000 (44,017,551)	42,419,000	100.0	853,000 (1,598,551)	2.0 (3.8)

単位:千円

主 内 容	増 減 の 主 な 内 容	
議会費 286,113	議員共済負担金 6,450	議会
庁舎整備 1,228,413 退職手当 309,231 リニア推進対策 351,364 総務一般管理 133,613 住民情報システム管理 105,365 地域自治支援 104,200 課税事務委託 97,250 市民バス等運行 86,279 広域負担金 75,658 自治振興センター管理 99,215 集会施設整備 70,815 ケーブルテレビ特会繰出 45,100 市議会議員選挙 44,774 文書管理 44,226 賦課費 39,296 参議院議員選挙38,200	庁舎整備 678,513 集会施設整備 64,552 市議会議員選挙 42,267 課税事務委託 42,002 参議院議員選挙 38,200 自治振興センター管理 8,466 財産区議員選挙 7,304 職員研修 5,278 滞納管理システム管理 3,906 自動車購入 2,840 退職手当 74,060 市長選挙 34,090 外国人登録事務 3,465 多文化共生 2,788 情報管理 2,715 広報番組制作放送委託 2,659	総務
児童手当 1,874,835 障害者福祉 1,778,250 介護保険特会繰出 1,446,239 公立保育所 1,374,160 民間保育所運営 1,409,375 後期高齢者医療関係 1,311,342 生活保護措置 652,716 児童扶養手当 409,849 養護老人ホーム措置 337,000 障害者医療費給付 285,983 民間保育所施設整備 236,412 子ども医療費給付 208,516 障害児通所支援 196,584 児童館・クラブ等 142,602 介護老人保健施設特会繰出 151,800	民間保育所運営 74,174 障害者福祉 59,074 特別養護老人ホーム等建設補助 54,225 後期高齢者医療関係 52,576 介護保険特会繰出 39,762 公立保育所 38,216 養護老人ホーム措置 17,000 民間保育所施設整備 250,701 生活保護措置 66,786 児童手当 28,690	民生
病院事業負担金 1,416,000 国保特会繰出 604,250 広域負担金(焼却場) 569,785 簡易水道費 377,605 ごみ収集処理 280,831 予防接種 237,860 がん検診 118,545 妊婦健診 112,830 簡水特会繰出 104,200 最終処分場管理 69,806 合併処理浄化槽普及促進 57,284 上村診療所運営費 51,902 容器包装リサイクル 48,992	再生可能エネルギー推進基金 40,000 広域負担金(焼却場) 24,579 がん検診 16,185 広域負担金(竜水園) 10,721 国保特会繰出 6,110 病院事業出資金 470,000 簡易水道費 12,639 合併処理浄化槽普及促進 7,437 おひさまのエネルギー推進 4,974	衛生
勤労者協調融資 170,000 勤労者福祉センター管理費 43,580 雇用対策 13,208 勤労者共済会補助 11,372 人材誘導 3,829	雇用対策 2,550 勤労者福祉センター管理費 560	労働
農業基盤整備資金償還補助 184,000 市単土地改良 84,972 非補助土地改良 80,000 新規就農者支援 45,800 中山間地域等直接支払 44,779 林道開設・改良・舗装 43,408 農作物被害対策 36,383 土地改良施設維持管理適性化 29,680 国営造成施設耐震対策 25,272 農業委員会活動推進 22,489 あくりチャレンジ農業資金融資 20,000	土地改良施設維持管理適性化 27,440 新規就農者支援 16,523 経営所得安定対策 14,000 林道開設・改良・舗装 109,606 ふるさと農道 35,960 上大瀬木地区整備 20,200 非補助土地改良 10,000 中山間地域振興プロジェクト 9,869 国土調査 7,958	農林
中小企業金融対策 1,640,400 天龍峡整備(補助) 127,629 企業立地促進補助 80,008 新産業クラスター 60,739 商工会議所活動運営補助 49,599 地場産業等振興 43,200 上村観光施設管理 36,420 南信濃観光施設管理 30,816 飯田観光協会運営 21,965 遠山郷観光戦略プロジェクト 19,000	新産業クラスター 54,239 上村観光施設管理 21,475 中小企業金融対策 20,000 商工会議所活動運営補助 18,442 天龍峡整備(補助) 77,026 企業誘致推進 9,750 ポケットパーク整備 9,000	商工
下水道特会繰出 1,854,400 道路改良(補助) 660,600 道路改良(単独) 249,877 公営住宅整備 148,607 道路維持 474,828 橋りょう長寿命化修繕 112,150 地域振興住宅整備 96,000 橋りょう耐震整備 51,300 都市公園維持 49,400 動物園管理 45,255 公園整備 44,059 漬地登記・道路台帳補正 40,895 河川自然災害防止 40,000 県街路事業地元負担金 33,300	下水道特会繰出金 169,700 橋りょう長寿命化修繕 112,150 道路維持 34,171 橋りょう耐震整備 27,670 道路改良(補助) 143,900 県街路事業地元負担金 86,700 飯橋道路関連 83,587 公営住宅整備 79,949 公園整備 69,311	土木
広域負担金(消防) 907,886 消防体制強化整備 287,673 消防団運営 176,790 災害対策備蓄 56,878	消防体制強化整備 224,063 災害対策備蓄 29,608 消防団詰所整備 24,000	消防
公民館耐震整備 365,004 文化会館整備 265,167 学校給食 356,505 体育施設管理 163,964 学校教育補助員等雇用 128,307 公民館管理 103,930 学校施設大規模改修 100,000 学校管理一般経費 136,936 学校施設改修 88,134 美術博物館管理 84,755 旧飯田測候所整備 54,025 私立幼稚園奨励補助 44,769 いっぴだ人形劇フェスタ開催 44,650	文化会館整備 242,706 公民館耐震整備 190,292 体育施設改修 22,614 いっぴだ人形劇フェスタ開催 21,650 非構造部材耐震化 22,000 小中連携一貫教育 19,503 社会教育一般経費 26,795 教師用教科書・指導書等購入 24,650	教育
		災害
長期債元金 4,484,606 長期債利子 489,380 一時借入金利子 2,000	長期債元金 128,009 長期債利子 78,647	公債
地域振興基金 300,000	学術研究振興基金 100	諸支
		予備

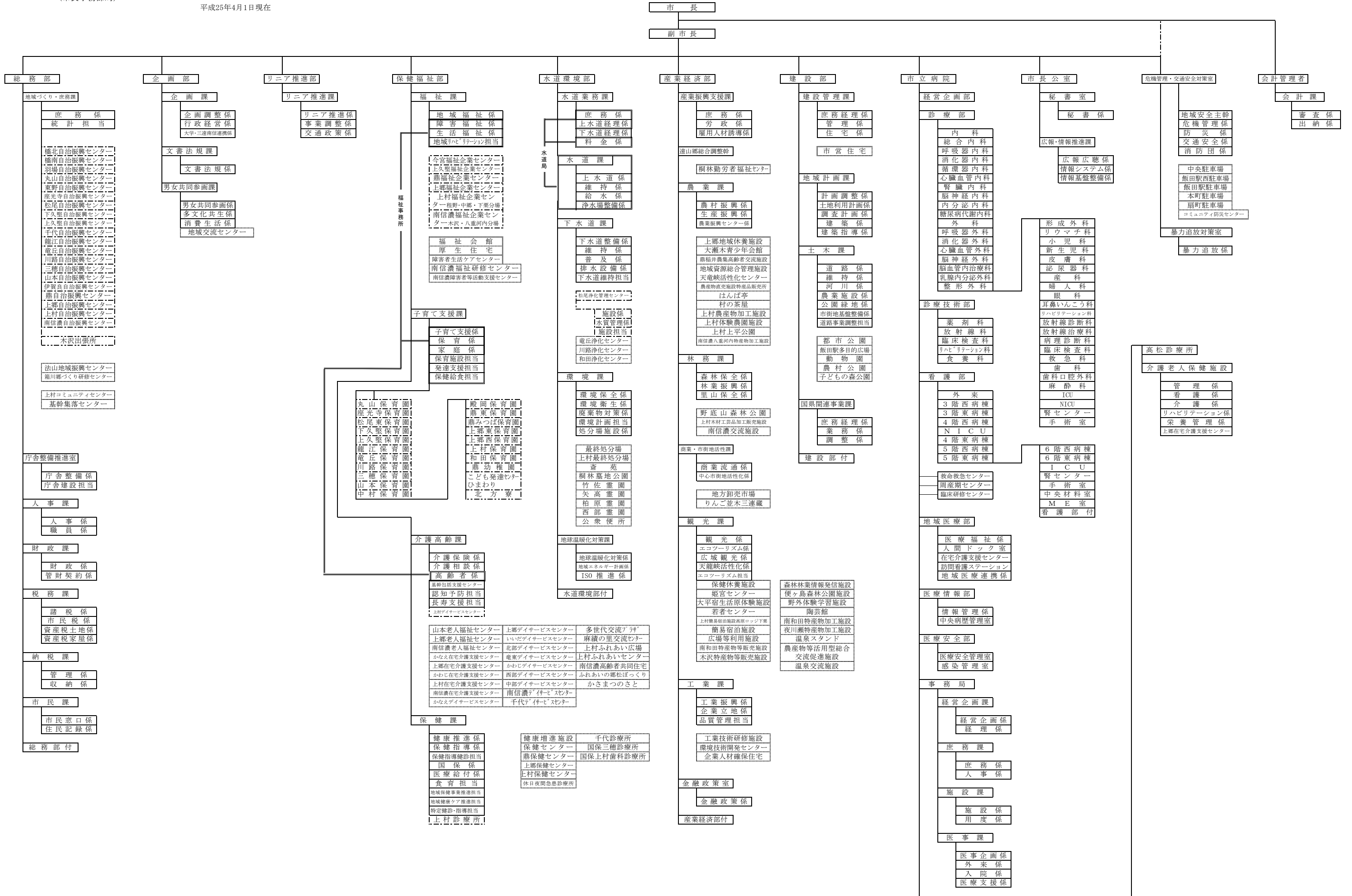
【歳出性質別】

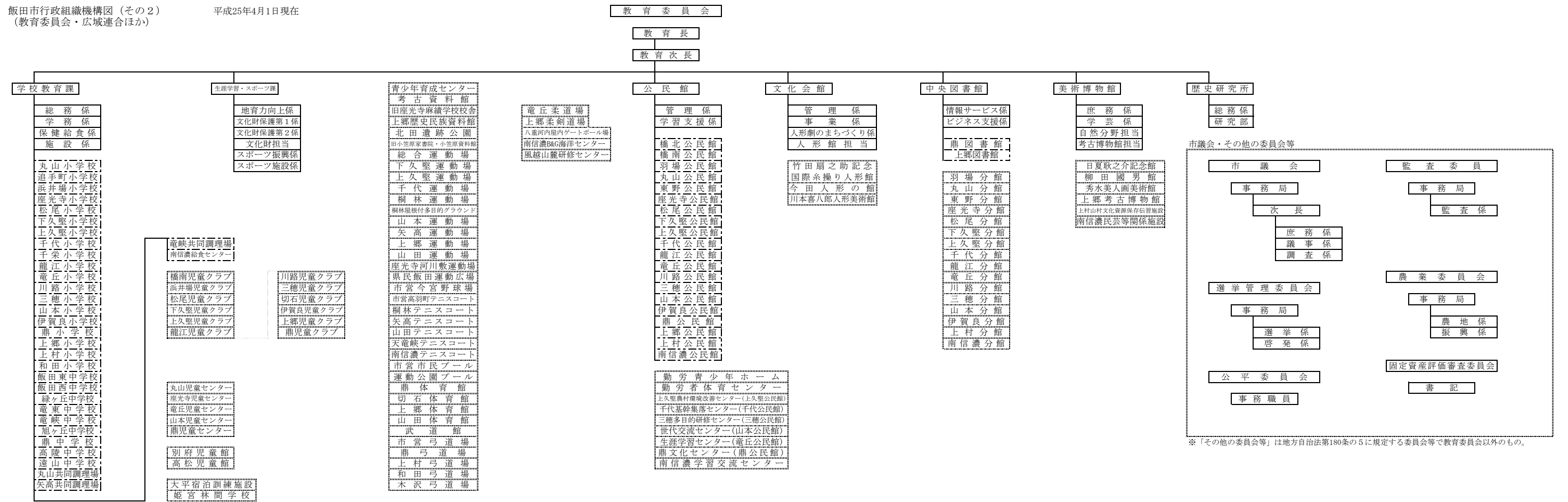
()…国の緊急経済対策に対応した平成24年度3月補正予算を含む13か月予算

	25年度予算額		24年度予算額		増減	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 人件費	5,906,859	13.7	6,018,489	14.2	111,630	1.9
2 扶助費	7,296,745	16.9	7,230,825	17.0	65,920	0.9
3 公債費	4,975,986	11.5	4,926,624	11.6	49,362	1.0
小計	18,179,590	42.1	18,175,938	42.8	3,652	0.0
4 物件費	5,609,936	13.0	5,424,102	12.8	185,834	3.4
5 維持補修費	540,673	1.2	518,631	1.2	22,042	4.3
6 補助費等	5,471,033	12.6	5,483,526	12.9	12,493	0.2
7 積立金	640,100	1.5	600,249	1.4	39,851	6.6
8 投資・出資金	0	0.0	470,000	1.1	470,000	100.0
9 貸付金	1,742,078	4.0	1,720,736	4.1	21,342	1.2
10 繰出金	5,542,011	12.8	5,286,517	12.5	255,494	4.8
11 投資的経費	5,506,579 (6,252,130)	12.7	4,699,301	11.1	807,278 (1,552,829)	17.2 (33.0)
補助	1,427,694 (2,173,245)	3.3	1,974,031	4.7	546,337 (199,214)	27.7 (10.1)
単独	4,078,885	9.4	2,725,270	6.4	1,353,615	49.7
普通建設費	5,502,279	12.7	4,695,001	11.1	807,278	17.2
補助	1,427,694 (2,173,245)	3.3	1,974,031	4.7	546,337 (199,214)	27.7 (10.1)
単独	4,074,585	9.4	2,720,970	6.4	1,353,615	49.7
災害復旧費	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
補助	0	0.0	0	0.0	0	0.0
単独	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
12 予備費	40,000	0.1	40,000	0.1	0	0.0
合計	43,272,000 (44,017,551)	100.0	42,419,000	100.0	853,000 (1,598,551)	2.0 (3.8)

単位：千円

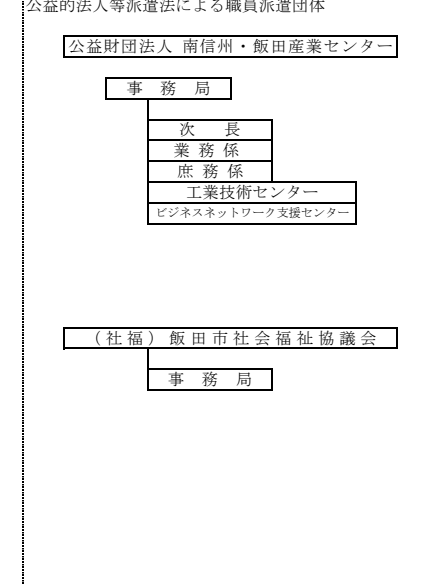
主たる増減の内訳		
退職手当 74,060 職員給与 25,117 特別職給与 13,508		人件
民間保育所運営 74,174 障害者支援 40,855 老人ホーム措置費 17,500 障害児通所 16,385 生活保護 61,244 児童手当 28,690		扶助
長期債元金 128,009 長期債利子 78,647		公債
		小計
定期予防接種 117,019 (うち99,898補助費等から移動) いいだ人形劇フェスタ 44,650 課税事務 42,002 災害対策備蓄 29,608 小中連携・一貫教育 19,734 参議院選挙 16,879 がん検診 16,185 市議選挙 13,230 遠山観光戦略プロジェクト 7,400 社会教育施設耐震診断 36,855 学校教師用教科書 24,650 高校生予防接種 14,951 市長選挙 14,740 企業誘致推進 9,751 中山間地域振興プロジェクト 9,547 災害危険住宅移転事業 7,860		物件
道路維持 35,448 除雪 3,025 桐林勤労者福祉センター修繕 1,752 老人福祉一般経費 1,000 都市公園 1,000		維持
病院負担金 74,000 広域負担金(ごみ) 24,579 新規就農者支援 16,523 経営所得安定対策 14,000 広域負担金(し尿) 10,721 遠山観光戦略プロジェクト 7,400 予防接種 99,898 (物件費等へ移動) いいだ人形劇フェスタ 23,000 民間保育所特別保育 20,393 広域負担金(満蒙開拓) 16,957		補助
再生可能エネルギー推進 40,000		積立
市立病院出資金 470,000		投資
中小企業振興資金借換預託 20,000		貸付
国保 6,110 後期高齢者 52,576 介護保険 39,762 簡水 1,930 下水 169,700 介護老人保健施設 14,200 上村デイ 2,200		繰出
		投資
		補助
		単独
		普建
社会資本整備(通学路) 170,000 橋りょう修繕 112,150 公園修繕 20,000 社会資本整備(中心市街地) 270,020 民間保育所施設整備 135,938 林道改良 120,400 社会資本整備(道路) 92,000 天龍峡整備 79,093 公営住宅整備 76,776 道整備交付金 38,000 上大瀬木地区整備 20,200		補助
庁舎整備 678,513 文化会館整備 257,675 消防救急無線デジタル化 210,000 公民館耐震整備 190,292 集会施設整備 64,552 民間老人福祉施設整備 54,225 航空宇宙産業クラスター拠点整備 50,000 土地改良施設維持管理適正化 28,000 橋りょう耐震整備 27,670 共同調理場整備 25,017 社会体育施設整備 22,488 学校施設非構造部材耐震整備 22,000 上村観光施設整備 21,600 児童クラブ耐震改修 20,321 道路自然災害防止 20,000 商工会議所活動運営補助 20,000 学校屋内運動場整備 14,000 民間保育所施設整備 114,763 県営街路事業負担金 86,700 飯喬道路関連 83,587 ふるさと農道整備 35,960 消防団詰所整備 22,500 辺地対策 20,000		単独
		災害
		補助
		単独
		予備



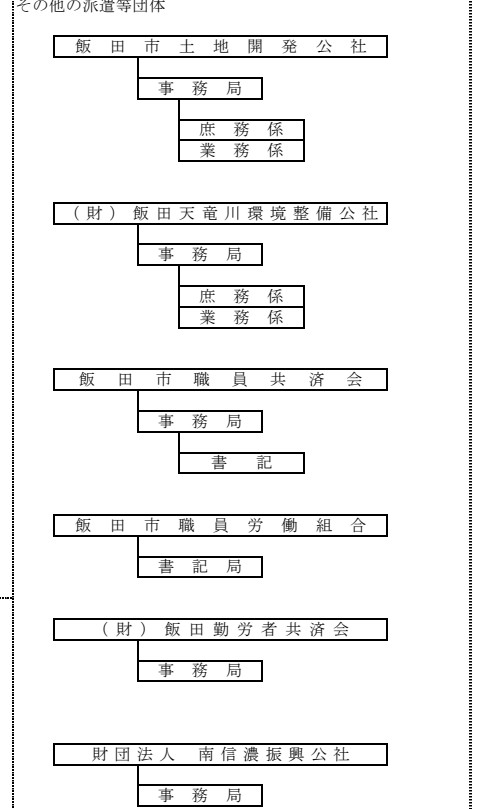


※「その他の委員会等」は地方自治法第180条の5に規定する委員会等で教育委員会以外のもの。

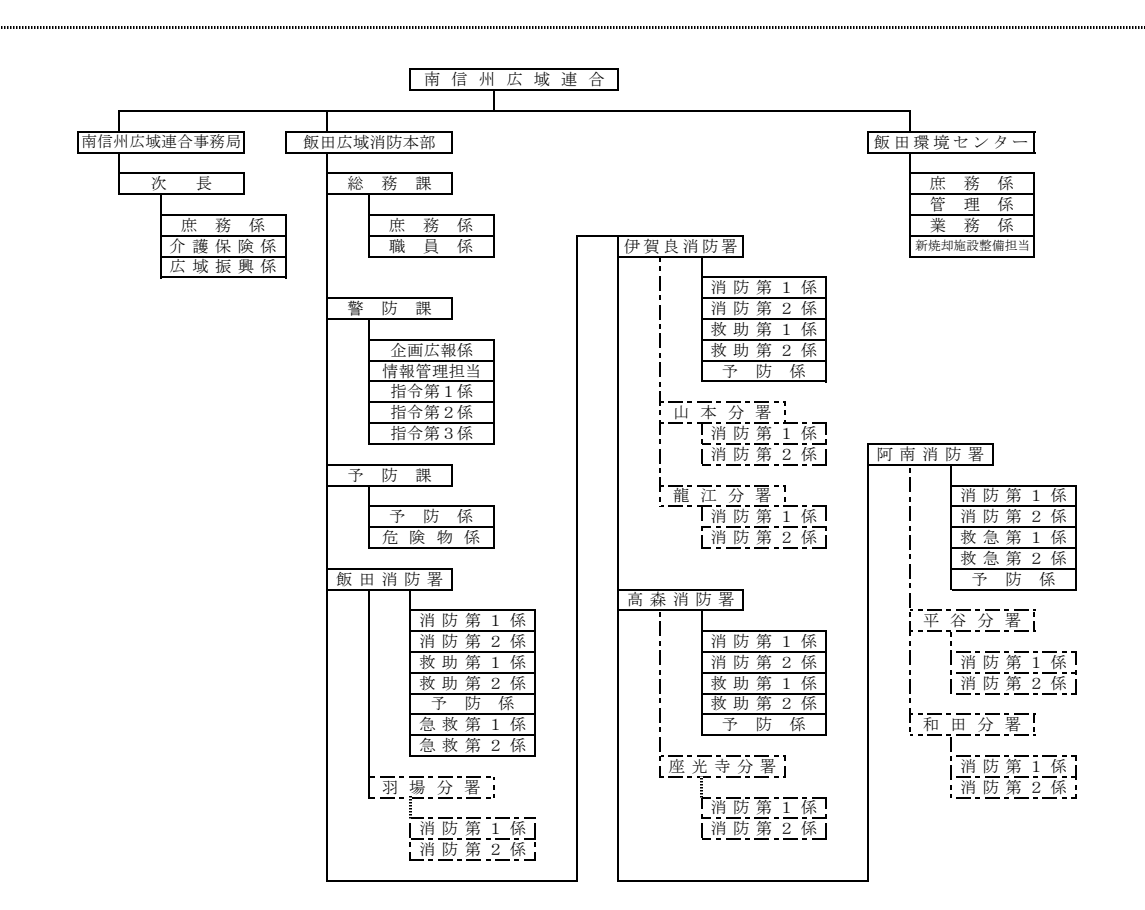
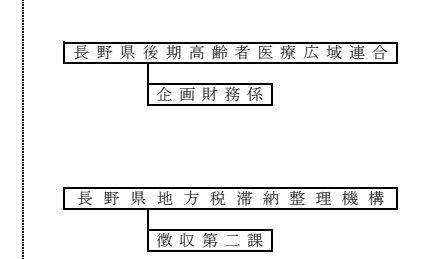
派遣等
公益的法人等派遣法による職員派遣団体



その他の派遣等団体



地方自治法による職員派遣団体



(飯田市関係職員数)	
○ 飯田市	正規 1,499 人
○ 公益的法人等派遣法による派遣	
公益財団法人南信州・飯田産業センター	3 人
社会福祉法人飯田市社会福祉協議会	2 人
○ 地方自治法による派遣	
長野県後期高齢者医療広域連合	1 人
長野県地方税滞納整理機構	1 人
○ その他	
飯田市職員労働組合	2 人
飯田市職員計	1,508 人
(広域連合への派遣職員数)	
南信州広域連合事務局	7 人
飯田環境センター	2 人
広域連合への派遣職員計	9 人

注1 飯田市の組織機構は、飯田市組織規則に基づく。
注2 職員数は、正規職員数のみ、臨時・非常勤職員を含まない。
注3 職員数は、兼務職員を含まない。
注4 職員数は、市長、副市長、教育長を含まない。
注5 職員数は、広域消防からの出向職員を含む。

職員の定数

(平成25年4月1日現在)

区 分	定 数 (人)	実 数 (人)
市長の事務部局の職員	810	698
議会の事務部局の職員	9	6
教育委員会の事務部局及び教育機関の職員	158	123
選挙管理委員会の事務部局の職員	5	3
公平委員会の事務部局の職員	2 (市長部局職員兼務2)	0
監査委員の事務部局の職員	4	3
農業委員会の事務部局の職員	25 (市長部局職員兼務14)	5
固定資産評価審査委員会の事務部局の職員	2 (市長部局職員兼務2)	0
病院事業の職員	650	641
水道事業の職員	55	20
小 計	1,720	1,499
市長部局付派遣職員		
	(財)南信州・飯田産業センター	3
	(社福)飯田市社会福祉協議会	2
	長野県後期高齢者医療広域連合	1
	長野県地方税滞納整理機構	1
	飯田市職員労働組合専従	2
	小 計	9
派遣職員(自治法派遣)		
	南信州広域連合事務局	7
	飯田広域消防本部	-
	飯田環境センター	2
	小 計	9
合 計		1,517

都市宣言

1 安全都市宣言

わが国における産業経済の成長と生活文化の向上は、近年著しいものがあり、わが飯田市も近代的生産都市として発展の一翼をにない、市勢も各方面にわたり伸展しつつある。反面、産業災害、交通事故、火災などの各種災害が多発し、日常生活をおびやかされていることは、憂慮にたえないところである。

もとより、災害を防止するための措置は、それぞれの分野において積極的に実施されているが、われわれはさらに進んで市民の生命尊重と、産業文化伸展の理念のもとに、各種の災害をより効果的に防止するため、飯田市各階層を一丸とする市民運動を強力に推進し市民の安全意識の高揚をはかることこそ緊要であると確信する。

われわれは、この際「国民安全の日」制定の意義に沿い、本市における産業・労働・交通・消防・教育・文化・婦人団体など各界の連携をはかり、市民生活のあらゆる面において安全を確保し、明るく住みよい都市建設を目指して、ここに飯田市を「安全都市」とすることを宣言する。

昭和36年6月26日

飯 田 市 議 会

2 明るい選挙都市宣言

民主政治の健全を期するためには、明るい選挙が行わなければならない。即ち、民主政治の基盤は選挙にある。

本市は、さきに公明選挙都市宣言をなし、これが運動を推進し、その実績をあげつつあるとはいえ、なお、遺憾な点なしとはいえない。

よって市民の代表である、本市議会はここに決意を新たにするとともに、市民の希望と熱意を結集し、これが現実を期するため、飯田市を「明るい選挙都市」とすることを宣言する。

昭和40年6月29日

昭和61年6月25日（一部変更）

飯 田 市 議 会

3 青色申告都市宣言

本市は自主申告納税の理想郷を実現するため、また市民が青色申告の本質を再認識して国民の基本的義務である納税についての思いを新たにし、かつ、その納税意欲の向上をはかって、社会経済の発展に貢献するとともに、市民相互の繁栄と幸福を築くため、ここに飯田市を「青色申告都市」とすることを宣言する。

昭和52年9月21日

飯 田 市 議 会

4 電波障害防止都市宣言

今日の情報化社会において、テレビ・ラジオは市民生活にとって不可欠のものとなっている。

しかるに、都市の近代化による高層建築物の増加、電気設備などの高度化は電波障害を誘発する要因となっている。

当市議会は、かつて昭和41年9月、他の市町村に先駆けて「電波無雑音都市宣言」を議決し、多大の成果を得て今日にいたっている。

今後、都市の近代化がさらに進む中で発生を免れない電波障害を一掃し、市民の快適な生活環境を築くため、その宣言の精神を一層敷延化して、ここに本市を電波障害防止都市とすることを宣言する。

昭和54年12月21日

飯 田 市 議 会

5 シートベルトヘルメット着用都市宣言

飯田市における交通事故は激増の一途をたどり、悲惨な事故のために多くの市民がその犠牲となっており、昭和56年度における人口1万人当りの事故率は55.3人で、県下17市中第1位という極めて憂慮される事態を迎え、事故絶滅は現下の緊急課題である。

交通事故の実態を見ると、シートベルト並びにヘルメットの着用は被害の防止、軽減を図る上で大きな効果が認められているが、その着用率は未だ十分といえない状況である。交通量の増加に伴い、ますます交通事故の危険が迫る現状にかんがみ、運転者のなお一層の交通安全意識を高めるため、ここに「シートベルト並びにヘルメットの着用」を宣言する。

昭和57年12月21日

飯 田 市 議 会

6 非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、米・ソ超核大国による核軍拡競争は拡大均衡をめざすという口実でますます激化し、世界の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらしている。

わが国は、世界唯一の核被爆国としてこの地球上に広島、長崎の惨禍を再びくりかえしてはならないと訴えるものである。

飯田市は、平和憲法の本質にのっとり、「非核三原則」を将来ともに尊重し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成をめざすものである。

ここに、飯田市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年6月28日

飯 田 市 議 会

7 振替納税推進都市宣言

期限内完納の思想の高揚をはかるため、市民が振替納税の本質を理解して国民の基本的義務である納税意識が向上し、社会経済の発展と市民相互の繁栄に貢献することを願い、ここに飯田市を「振替納税推進都市」とすることを宣言する。

昭和60年6月29日

飯 田 市 議 会

8 暴力団追放都市宣言

飯田市は、美しい自然と長い歴史と伝統文化にまつまれた人情豊かなまちとして、平和で明るく住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいるところである。

しかしながら、暴力団による不法行為は増加の一途を辿り、暴力団同志によるけん銃発砲事件も発生し、善良な市民生活が脅かされるなど、美しい郷土のイメージが損なわれことは、まことに遺憾であり、強い憤りを感じるものである。

善良な市民の平穏な日常生活と安全を守る立場から全市民の総意を結集し、暴力を是認しない地域づくりにつとめ、すべての暴力の根絶を図らなければならない。

よって、本市議会は、犯罪のない平和な住みよい郷土の建設をめざし、暴力行為を壊滅し、すべての暴力団を追放するため、ここに飯田市を「暴力団追放都市」とすることを宣言する。

昭和61年12月22日

飯 田 市 議 会

9 人権尊重都市宣言

私たちは、だれもが人間らしく幸福に生きる権利を有し、だれからも尊重され、親しまれ、愛されながら豊かに暮らすことを求めています。そして、美しい自然と同様に、だれ隔てなく接する思いやりのある美しい心を持つ市民が明るく生活するまちちを目指して努力しています。

しかし、大変残念なことに、現実には偏見による差別など様々な人権侵害が存在しています。このことは、早急に解決しなければならない重要な課題です。

よって、私たちは基本的人権を正しく理解し、尊重し、人権擁護の良き実践者となるとともに、善意を広め、互いに励まし合い、手を取り合ってあらゆる人権侵害を根絶することを誓うため、ここに飯田市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

平成8年6月24日

飯 田 市 議 会

10 環境文化都市宣言

私たち飯田市民は、地球環境問題が人類共通の課題であることに着目し、人と自然のかかわりを見つめ直して、日々の生活から産業活動まですべての営みが自然と調和するまちづくりに、先駆的に取り組んできました。

自然環境や生活環境などを取り巻く状況が厳しさの度を増している今日、「持続可能性」と「循環」を基本にして自分たちのライフスタイルから社会の有り様に至るまでをあらためて見直し、「環境に配慮」する日常の活動を「環境を優先」する段階へと発展させながら、新たな価値観や文化の創造へと高めていく必要があります。

私たちは、かけがえのない地球にある生態系の中で自然と共生する地球市民の一員としての原点に立ち返り、先人から受け継いだ美しい自然環境と多様で豊かな文化を活かしながら、市民、事業者、行政など多様な主体の積極的な参加と行動とによって人も自然も輝く個性ある飯田市を築くことを誓い、ここに「環境文化都市」を宣言します。

平成19年3月23日

飯 田 市 議 会

市政提携に関する覚書

長野県飯田市（以下「甲」という）と岡山県津山市（以下「乙」という）は、市政執行の面において相互に啓発し、いっそう市政の伸展と住民福祉の向上を期するため、緊密に提携することを協定し、当面、この目的達成のため、次の事項を実行することを確認する。

記

- 1 この目的達成のため、甲、乙において作成したあらゆる行政事務資料で、相手方の参考になると考えられるものは、相互に送付するものとする。この場合は窓口は、総務課 扱いとする。
- 2 甲、乙は、必要に応じて協議の上、相互に研修のため職員を派遣することができる。この派遣職員の滞在に要する経費は、それぞれ派遣する側の負担とする。ただし、執務に要する事務的経費は、委託を受けた側が負担する。
- 3 この協定書以外の特別な事項で必要があると認めるときは、その都度双方協議のうえ、決定する。

以上この協定を証するため、覚書2通を作成し、甲・乙各1通を保有する。

昭和44年3月25日

甲	飯田市長	清水重美
乙	津山市長	生末敏夫

友好都市締結

盟 約 書

日本国長野県飯田市とフランス共和国アルデンヌ県シャルルヴィル・メジエール市は、共に古きよき伝統を有し、人形劇芸術において重要な役割を果たしつつある。

両市の市民と市民が構成するさまざまな組織間の相互理解と友情を深めることにより、日本国とフランス共和国の親善を促進し、世界の平和に貢献することを希求し、ここに両市が友好都市として提携することを盟約する。

昭和63年8月5日

日本国 長野県
飯田市
市長 松澤太郎

フランス共和国アルデンヌ県
シャルルヴィル・メジエール市
市長 ロジェ・マス

飯田市の主要年表

年 月	事 項
昭和12. 4	飯田・上飯田町合併 飯田市誕生 人口31,289人
5	第1回市議会議員選挙
6	飯田市初議会で、市長に野原文四郎氏を推挙
14. 11	市瀬泰一氏第2代目市長に就任
17. 5	市議選翼賛選挙で無投票当選
18. 8	伊那電鉄など飯田線となる
19. 12	県立飯田保健所開所
21. 4	戦後初の衆議院選挙 飯田市の人口33,772人
7	飯田駅前大火
22. 4	公選による知事、市長選。高田茂氏当選 第4代目市長に
4	飯田市大火 市街地の3分の2を焼失
23. 3	飯田市消防本部、消防署発足
26. 12	飯田市立病院開院
28. 11	りんご並木の植付始まる
29. 4	飯田長姫高校全国高校野球選抜大会で優勝
10	飯田市公民館、復興記念館開館
30. 4	市長選に松井卓治氏当選、第5代目市長に就任
31. 9	飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村、下久堅村が合併、新飯田市発足
31. 10	合併初の市議会 飯田市公民館で開催、議員数145名 合併後の市長選 松井卓治氏無投票当選
32. 4	松井市長、鼎町と上郷村へ合併を申入れる
34. 7	飯田市下水処理場供用開始。県下初、全国で6番目
35. 7	飯田市民プール完成
36. 3	川路村を合併
6	梅雨前線豪雨伊那谷を襲う 死者11人 行方不明5人
37. 10	建設大臣伊那谷の災害地を視察
11	飯田市役所新庁舎落成
38. 10	低開発地域工業開発地区に指定される
12	りんご並木後援会発足
39. 3	龍江村、千代村、上久堅村を合併
40. 7	市立病院新館落成
9	組合立、飯田衛生センター落成
12	老人ホーム川路寮開設
41. 1	市議会、地財法準用を議決
10	中央自動車道杭打式（今宮球場附近）

年 月	事 項
昭和42. 5	飯田勤労者福祉センター開館
9	飯田市議会 財政再建のため議員報酬5割削減可決
11	りんご並木15周年記念式典を行う
11	市制施行30周年記念式典を行う
43. 4	飯田市・鼎町・上郷村消防組合発足
5	りんご並木、NHK総合テレビで放映される
8	飯田市・鼎町・上郷村下水道組合発足
10	市長選に清水重美氏当選 第6代目市長に
44. 3	岡山県津山市と市制業務提携
8	36年災害復旧状況視察のため皇太子御夫妻来飯
11	飯伊地域広域市町村圏協議会発足
45. 2	飯田市・鼎町・上郷村上下水道組合発足
11	大平部落解散式
11	飯田卸売団地開設
46. 3	飯田市・鼎町・上郷町消防組合本部開設
6	名誉市民日夏耿之介氏死去 行年81才
6	市議会、生活改善推進を議決
8	りんご並木の碑除幕式
47. 4	飯田文化会館竣工
10	市長選に松澤太郎氏当選 第7代目市長に
49. 3	飯田市農業協同組合発足
5	松川ダム完成、妙琴浄水場通水式
50. 1	飯田中央農業協同組合発足
6	飯伊特別養護老人ホーム「飯田荘」完成
8	中央自動車道西の宮線開通（中津川一駒ヶ根間）
51. 2	鼎町・上郷町へ合併の申し入れをする
3	市議会議員定数を30人に削減
10	松尾終末処理場供用開始
11	飯田市公民館竣工
52. 5	飯田市総合運動場、勤労者体育センター完成
6	市民憲章制定
53. 10	第33回国民体育大会「やまびこ国体」開催（ラグビー会場）
12	飯田市基本構想、基本計画策定
54. 7	飯伊モデル定住圏地域の指定を受ける
8	人形劇カーニバル始まる
12	飯田市墓地霊園、桐林に完成

年 月	事 項
昭和55. 3	市営弓道場移転完成
4	橋北コミュニティ防災センター完成
56. 4	飯田地区広域消防組合発足（松川町・喬木村・大鹿村・豊丘村・高森町・清内路村・阿智村が加入）
9	鼎町早期に合併したいとの回答
57. 3	飯田市武道館完成
7	上郷町に再度合併の要請
8	飯田まつりに新曲「りんごん」を踊る
11	中央自動車道西宮線全線開通
12	飯田市・鼎町両議会合併協議会設置を可決
58. 1	第1回飯田市・鼎町合併協議会開かれる
3	飯田市保健センター完成
9	台風10号大きな被害を受ける
59. 2	座光寺小学校完成
3	橋南にコミュニティ防災センター完成 龍江公民館、支所完成
8	飯田市と鼎町との合併調印式
12	鼎町を合併
60. 3	天竜川治水基本協定の調印
4	旭ヶ丘中学校の開校
4	鼎町と合併後初の市議選
5	「三遠南信道路」3県レベル同盟会の設立
10	「美術博物館」基本構想委員会発足
61. 3	座光寺公民館・支所完成
8	人形劇アジア会議開催
10	飯田消防署新庁舎完成
12	北方地区土地区画整理事業着工
62. 1	飯田市立病院新副院長人事発令
2	飯田工業技術センター完成
3	イタチガ沢埋立地完成 丸山地区土地区画整理事業着工
4	飯田コンピュータ専門学校開校
8	飯田市子ども議会開催
10	市制施行50周年記念式典
11	りんご並木ヘニュートンのりんごの木、国道153号線バイパスへりんご植付
12	飯田市基本構想、基本計画策定

年 月	事 項
昭和63.	3 市道知久町中村線・国道153号線バイパス第1工区竣工
	6 飯田市・上郷町両議会合併協議会設置可決
	7 第1回飯田市・上郷町合併協議会開かれる 人形とけい塔ハミングパル並木通りに設置
	8 シャルルビル・メジュール市と友好都市提携 飯田人形劇場開館 世界人形劇フェスティバル開催
	10 飯田市美術博物館10月1日落成式 市長選に田中秀典氏当選 第8代目市長に
平成元.	3 桐林クリーンセンター完成 飯田運動公園県営飯田野球場完成
	6 桐林運動広場完成
	8 アフィニスセミナー開催 山梨リニア実験線、建設正式決定 三遠南信自動車道、程野・飯田東IC間のルート公表
1.	9 伊那谷高速交通フェア開催 第2. 4土曜日の閉庁実施
	10 飯田市美術博物館開館
	11 飯田市立病院、総合病院となる
	12 飯田勤労者総合福祉センター完成
2.	3 松尾公民館・支所完成
	4 名勝天竜峡温泉利用開始
	8 新病院本体建設着工
	11 新し尿処理場着工
	12 県議定数（飯田地区）2人から3人に
3.	1 市営駐車場30分無料化
	2 テレトピアモデル都市に指定
	3 千代診療所完成
	7 飯田市斎苑完成、動物炉が新設される
	9 今田人形座が仏国で開催の人形劇世界フェスに出演
	10 飯田工業高校跡地一帯が建設省「平成記念子供のもり公園」に指定される
	12 飯田農協と飯田中央農協が合併「信州いいだ農協」が誕生
4.	2 天竜川治水対策事業起工式が行われる
	3 飯田市で初の「かなえデイサービスセンター」完成 国道153号線バイパス第2工区と飯田下山線開通 飯田運動公園弓道場竣工

年 月	事 項
平成4. 3	飯田市有線放送局閉局
4	オフトーク通信事業開始 かなえデイサービスセンター開所 飯田ふれあい農園開園
6	オフトーク通信による議会本会議生中継開始 緑ヶ丘中学校プール完成
7	新し尿処理場「飯田竜水園」運転開始 伊賀良「育良町」誕生
9	新市立病院竣工式
10	国道153号線バイパス新市立病院まで開通 新市立病院開院（外来診療開始）
12	飯田市・上郷町合併調印式 飯伊地域が地方拠点都市第一次指定される
5. 1	地方拠点都市整備計画策定室設置
2	丸山羽場第2地区区画整理事業起工式
3	男女共同参画型社会をめざして「信州飯田女性プラン」（女性行動計画） まとまる 上久堅福祉企業センター竣工
4	市役所の業務が毎週土曜日閉庁となる
6	飯田駅前にアイパーク竣工
7	上郷町を合併し、人口が106千人となる
8	人形劇カーニバル15周年を迎える アフィニスセミナー5周年を迎える
10	飯田のシンボル「りんご並木」が40周年を迎える 浜松市のフルーツパークに飯田のりんごの苗木が植樹される また両市の美術館で所蔵品の交換展を開催 特別養護老人ホーム第二飯田荘が開所
12	飯伊地方拠点都市地域基本計画が知事承認を受ける
6. 2	三遠南信地域の振興を考える「三遠南信サミット」が浜松で開かれる 天竜川治水対策事業、龍江側で盛土工事本格着工
3	三遠南信自動車道「矢筈トンネル」供用開始 山本公民館、支所竣工
4	今田人形の館竣工 飯伊広域行政組合発足 オフトーク通信事業の放送業務を民間委託
6	ゆとり宣言都市指定モニュメント「ゆとり創造の樹」完成

年 月	事 項
平成6. 9	飯田市議長が友好都市フランスのシャルルビル・メジエール市を訪問
10	飯田市議会だより100号記念発行 飯田市総合運動場全面改修工事竣工
12	国土利用計画（飯田市計画）策定議決
7. 2	中心市街地から「西友」撤退 阪神大震災被災地へ支援 飯田市下水道整備計画策定
4	北部・竜東デイサービスセンター開所 天竜峡活性化センター「あざれあ」開館
7	飯田運動公園プール「アクアパーク I I D A」竣工 飯田市立病院に併設の伝染病棟隔離病舎（飯伊広域行政組合）供用開始
8	戦後50年平和祈念事業を開催（8～11月）
10	「三遠南信サミット&シンポジウム i n 飯田」開催 第41回風越登山マラソン開催（7年ぶりに復活）
12	飯田市議会12月定例会で条例定数は現行31人で議決 飯田農業振興地域整備計画を変更、都市計画の用途地域も変更
8. 2	天竜川治水対策事業、川路、竜丘側築堤工事起工式 市民構成劇「かざこし姫となかまたち」上演
3	市議会本会議で「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」否決
4	飯田市農政プラン策定 第4次基本構想・基本計画「環境文化都市をめざして」策定 飯田市工業振興マスタープラン策定 飯田やまびこマーチ10周年
5	矢高共同調理場竣工
6	人権尊重都市宣言 「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」可決
7	市役所組織機構改革が実施される（7月1日より）
12	さんとびあ飯田竣工 信州飯田ふるさと大使館開館 21' いいだ環境プラン策定
9. 2	ハートヒル川路竣工
4	市制施行60周年
5	市議会改選
5	市誌編さん委員会誕生
7	太陽光発電に無利子融資

年 月	事 項
平成9. 7	エコタウン地域に指定される
8	全国夏期巡回ラジオ体操会
10	世界地方都市十字路口会議
12	J Aみなみ信州発足
平成10. 2	市民バス運行開始
2	長野オリンピック冬季競技大会開催
3	長野パラリンピック冬季競技大会開催、飯田市より2人参加
3	議員の各種審議会報酬辞退を全会一致で可決
4	天竜川治水対策・龍江側工事完成
6	飯田市役所ISO14001を取得する方針決定
	第1回飯田市藤本四八写真文化賞 (芳賀日出男さん、宮島功さん、南島孝さん受賞)
8	第20回人形劇カーニバル (20回を記念して世界人形劇フェステバル開催)
	第10回アフィニス夏の音楽祭ロストロ・ポーヰチ氏を迎え開催
平成11. 3	市議会「政策調査研究部会」報告(農業振興・交通施策・観光施策3部会の平成9年・10年度の2カ年の研究報告)
	病院問題特別委員会審査終了
	飯田工業技術研修施設・EMCセンターオープン
	りんご並木リニューアル
4	南信州広域連合発足
7	よこね田んぼ「日本の棚田100選」に選ばれる
12	ごみ処理費用負担制度開始
平成12. 1	I S O 14001認証取得
3	市議会「政策調査研究部会」報告(地方分権・I S O・工業振興3部会の平成12年度の1カ年の研究報告)
4	介護保険制度がスタート
7	丸山羽場地区区画整理事業第1地区完成
10	三遠南信パテントメッセ・EMCシンポジウムと工業技術交流相次ぐ
平成13. 1	観測開始以来の大雪に見舞われ市民生活に大きな影響が出る
3	政務調査費の交付に関する条例の制定
4	市議会改選
7	橋南第1地区再開発ビル「トップヒルズ本町」完成
8	地域交流センター「りんご庁舎」オープン
10	いいだFM開局
11	りんご並木「かおり風景100選」に選ばれる

年 月	事 項
平成14. 4	平成記念かざこし子どもの森公園開園
9	天竜川治水対策事業完成
10	菱田春草作「菊慈童」を購入
平成15. 1	ISO14001自己適合宣言
3	市議会「在り方研究会」「合併問題調査研究会」報告(半年間の研究報告) 「環境首都コンテスト」人口規模別第1位、総合第4位
5	南信州グリーンツーリズム特区取得
8	飯田市・喬木村・上村・南信濃村の4市村、任意合併協議会設立
10	りんご並木50周年記念事業
12	飯田市歴史研究所オープン
平成16. 1	橋南第2地区市街地再開発ビル着工
2	第1回ほんもの体験フォーラムin南信州の開催
3	オーライ!ニッポン大賞グランプリ内閣総理大臣賞受賞
3	飯田お練りまつり盛大に開催
5	「わがまちの“憲法”を考える市民会議」の発足
5	第12回環境自治体会議「いいだ会議」開催
6	自治体環境グランプリ環境大臣賞受賞
7	市立病院が地域医療支援病院として県から承認を受ける
10	飯田市長選で、牧野光朗新市長誕生
平成17. 4	地域経済活性化プログラム2005を策定、農業課と農業委員会の事務所移転
6	国際自転車レース「第9回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ」を開催
7	高校統廃合問題に関連し、鼎公民館で「高校改革シンポジウム」を開催
10	上村及び南信濃村と合併
10	日独地域国際化サミットを飯田市で開催
平成18. 4	飯田やまびこマーチ20回記念大会 結いターンキャリアデザイン室を設置
6	一般廃棄物最終処分場(千代地区)の建設工事開始
9	自治基本条例の制定
10	橋南第二地区市街地再開発ビル トップヒルズ第二オープン
平成19. 3	第5次基本構想基本計画と環境文化都市宣言を可決 川本喜八郎人形美術館オープン 市制70周年記念式典を開催
4	自治基本条例、地域自治区、第5次基本構想基本計画、総合的土地利用計画、行財政改革大綱など地域の自立に向けた新しい枠組みスタート 全国さくらシンポジウムin飯田開催
11	南信濃地域交流センター完成

年 月	事 項
平成20.	<p>4 三遠南信自動車道飯橋道路 1 工区（飯田山本IC～天竜峡IC）が供用開始</p> <p>6 天龍峡再生元年として天龍峡百年再生館オープン</p> <p>8 北京オリンピックに、飯田市出身初の選手として矢澤一輝選手がカヌースラローム競技に出場</p> <p>人形劇のまち30年を記念して「世界人形劇フェスティバル・いいだ人形劇フェスタ2008」を開催</p> <p>アフィニス夏の音楽祭が20回をもって終了</p> <p>10 飯田市・南信州広域連合・みなみ信州農協が共同で運営するマーケティングショップ「南信州ファームプロダクツマーケット」を名古屋市内にオープン、地元の旬の農産物の販売や地域への産地ツアーを企画</p>
平成21.	<p>1 飯田市が内閣府から環境モデル都市に選出</p> <p>3 グリーンバレー千代（最終処分場）竣工</p> <p>4 市内の商工会議所、商工会が統合され新しい飯田商工会議所が誕生</p> <p>5 オーケストラと友に音楽祭開催</p> <p>7 飯田下伊那市町村による定住自立圏形成協定書の合同調印式</p> <p>8 市企画部内に「リニア推進対策室」が設置される</p> <p>10 飯田北部地区の農免道路が開通（上郷丹保地区～高森町下市田地区）</p> <p>低炭素社会実現に向け「レンタサイクル事業」開始</p> <p>11 新型インフルエンザが流行</p>
平成22.	<p>2 メガソーラーいいだ太陽光発電所 飯田市と中部電力㈱で共同建設することについて協定を締結</p> <p>3 飯田お練りまつり 約32万人 42団体が参加</p> <p>4 リニア中央新幹線推進本部設置（市役所内）</p> <p>5 介護保健施設ゆうゆう 竣工</p> <p>6 日本の環境首都コンテスト2009（第9回）で飯田市が総合2位（昨年3位）</p> <p>7 集中豪雨による土砂災害（南信濃で昭和58年に次ぐ観測史上2番目となる223mmの降水量 土砂崩れや建物の全壊、床下浸水などの被害）</p> <p>9 天龍峡盆踊りが25年ぶりに復活</p> <p>10 定住自立圏全国市長村長サミット2010in南信州が開催</p>
平成23.	<p>1 メガソーラーいいだ太陽光発電所 運用開始</p> <p>2 飯田大学連携会議「学輪IIDA」の設立</p> <p>3 東日本大震災発生。避難者の受け入れ</p> <p>3 飯田市美術博物館デジタルプラネタリウムを導入</p> <p>5 国土交通大臣が全国新幹線鉄道整備法に基づき、リニア中央新幹線の整備計画を決定</p> <p>6 三六災害から50年。三六災害50年シンポジウム開催</p>

年 月	事 項
平成23. 6 9 9 12	日本の環境首都コンテストで「明日の環境首都賞」を受賞 フランス シャルルヴィル・メジエール市に「飯田通り」誕生 菱田春草没後百年 飯田市美術博物館で「没後百年記念特別展」開催 第5次飯田市基本構想後期基本計画策定
平成24. 4 5 7 8 11	飯田市立動物園リニューアルオープン（ちびっこランド） 8月にはペンギン舎、10月にはコンドル舎がリニューアル エコハウスがJIA環境建築賞住宅部門で優秀賞を受賞 第10回スローライフまちづくり全国都市会議（スローライフサミット）開催 ロンドンオリンピックに、飯田市出身の矢澤一輝選手がカヌースラローム男子カヤックシングルで、北京大会に続き出場 第7回マニフェスト大賞地方議会部門最優秀成果賞受賞
平成25. 3	東和町交差点を周辺の改良工事にあわせ、全国で初めて信号機付交差点からラウンドアバウト方式に変更して整備

飯田市自治基本条例

平成18年9月21日条例第40号

一部改正：平成23年11月30日条例第25号

一部改正：平成25年3月25日条例第2号

目次

前文

第1章 総則(第1条—第3条)

第2章 自治の基本原則(第4条—第7条)

第3章 市民等の役割(第8条—第10条)

第4章 地域自治(第11条—第15条)

第5章 市政運営(第16条—第21条)

第6章 市議会の役割(第22条—第27条)

第7章 市の執行機関の役割(第28条—第34条)

第8章 住民投票(第35条)

第9章 条例の見直し(第36条)

附則

わたくしたちの住む飯田市は、美しい自然に恵まれ、地域の風土に根付いた伝統や文化に支えられた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、これまで互いに助け合い協力し、特色のある地域活動やまちづくりを実践してきました。

わたくしたちは、分権型社会や少子高齢社会の到来により、社会構造が大きく変化する中で、まちづくりに進んで参加する「ムトス」の精神を、次の時代へ確実に引き継がなくてはなりません。

わたくしたちは、飯田市市民憲章にうたわれた市民としての心構えと理念を尊重し、協働して、市民が主体の住みよいまちづくりを推進するため、ここに、新たな自治の仕組みを定める飯田市自治基本条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、本市の自治の基本原則及びまちづくりに関する市民、市議会及び市の執行機関の役割を明らかにするとともに、市政運営についての基本的な指針を定めることにより、市民が主体のまちづくりを協働して推進することを目的とします。

(条例の位置付け)

第2条 この条例は、自治及び市政に関する基本的な原則を定めた最高規範であり、市民及び市は、この条例を誠実に遵守するものとします。

2 市は、条例、規則等を解釈し、又は制定、改廃する場合には、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

3 市は、基本構想等の計画の策定、政策の立案及び実施に当たっては、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

(用語の定義)

第3条 この条例において使用する用語の意義は、次のとおりとします。

- (1) 市民 市内に住所を有する人(以下「住民」といいます。)、市内で働き、若しくは学ぶ人又は市内において活動する人若しくは団体をいいます。
- (2) 市民組織 市民により自主的に形成され、まちづくりのために、互いに協力し多様な活動を行う組織をいいます。
- (3) 事業者 市内で、事業を営む個人及び法人その他の団体をいいます。
- (4) 市 市議会及び市の執行機関で構成する地方公共団体をいいます。
- (5) 市の執行機関 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいいます。
- (6) まちづくり 「ムトス」の言葉に象徴される、まちを活気のある明るく住みよくするための事業や活動を総称します。
- (7) 自治 市民が市政に参加し、その意思と責任に基づき市政が行われることのほか、地域の公共的活動を自ら担い、主体的にまちづくりを推進することをいいます。
- (8) 協働 まちづくりのために、市民と市とが情報を共有し、それぞれの役割を担いながら対等の立場で協力し、共に考え行動することをいいます。
- (9) 基本構想 本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本となる考え方をいいます。

第2章 自治の基本原則

(自治の基本原則)

第4条 市民と市とは、この章に掲げる自治の原則に基づき、協働して自治を推進するものとします。

(市民主体の原則)

第5条 まちづくりは、市民一人ひとりが主体となり、市民相互及び市と協調することにより推進します。

2 市民は、地域社会の一員として尊重され、その個性や能力を十分発揮することができます。

(情報共有の原則)

第6条 まちづくりは、市政についての情報が市民に公開され、市民が市政について意見を提出し、その情報や意見を市民と市とが共有することにより推進します。

(参加協働の原則)

第7条 まちづくりは、市民に市政への多様な参加の場と機会とが保障され、市民と市とが適切に役割分担し、協働することにより推進します。

第3章 市民等の役割

(市民の権利)

第8条 市民は、まちづくりの主体として、まちづくりに参加する権利を有します。

2 市民は、市政に関する計画や政策の立案段階から参加する権利を有し、意見を述べるすることができます。

- 3 市民は、市政についての情報を知る権利を有し、市に対し市が保有する情報の公開を求めることができます。

(市民の役割)

第9条 市民は、まちづくりの主体として、市と協働し、地域社会の発展に寄与するよう努めます。

- 2 市民は、互いの活動を尊重し、自らの発言と行動に責任を持つものとします。

(事業者の役割)

第10条 事業者は、地域社会の一員として、地域社会との調和を図るとともに、従業員の行う地域活動にも配慮し、まちづくりに寄与するものとします。

第4章 地域自治

(市民組織の尊重)

第11条 市は、市民組織の自主性及び自立性を尊重し、市民組織が活動するために必要な支援を行います。

- 2 市民は、市民組織がまちづくり推進の主要な担い手であることを認識し、市民組織を尊重し、守り育てるものとします。

(地域自治の推進)

第12条 市は、地域の特性と自主性が活かされた、個性豊かで魅力ある地域のまちづくりを推進するため、自治の基本原則に基づき、分権によるまちづくりの仕組みを目指します。

(地域自治区)

第13条 市は、市民に身近な事務事業を市民の意見を反映させて処理するとともに、地域の自治を促進するため、法律に基づく地域自治区を設けます。

- 2 地域自治区に置かれる地域協議会は、地域の住民により構成され、地域の意見を調整し、協働によるまちづくりを推進します。

(まちづくりのための委員会等)

第14条 市は、市民組織が地域のまちづくりに取り組むため組織する委員会等の自主的及び自立的な運営を尊重します。

(自治活動組織)

第15条 市民は、地域社会の一員として、自治活動組織(地域市民により形成され、まちづくりに取り組む市民組織をいいます。)の役割について理解を深め、協力するとともに、自治活動組織への加入に努めます。

- 2 市民は、可能な範囲内で、自治活動組織の活動に参加し、地域社会において個性や意欲を発揮することができるものとします。
- 3 自治活動組織は、地域市民の加入や参加が促進されるために必要な環境づくりに努めます。

第5章 市政運営

(協働して行う市政運営)

第16条 市は、市政に関する計画や政策の立案段階から市民の参加を促進し、市民と協働して市政運営を行います。

2 市は、市民の多様な参加の機会を整備し、協働のまちづくりを推進し、自治の拡充を図ります。

(市民意見の公募)

第17条 市は、別に定めるところにより、重要な計画及び政策の策定又は変更について事前に案を公表し、市民の意見を求めます。

2 市は、市民から提出された意見を尊重し、意見についての考え方を公表します。

(附属機関の委員の任命)

第18条 市の執行機関は、特定事項について審議又は調査等を行う附属機関に、市民の多様な意見が反映されるように委員を任命します。

(情報の公開)

第19条 市は、公正で開かれた市政の実現を図るため、市政についての情報の公開に関する総合的な施策に基づき、積極的に情報を公開します。

2 市は、市民の必要とする情報について、適切かつ速やかな提供に努めます。

(個人情報保護)

第20条 市は、市民の個人情報に関する権利を保障するとともに、個人情報を適正に管理します。

(基本構想等)

第21条 市は、まちづくりの理念に基づき、市議会の議決を経て基本構想を定め、総合的かつ計画的な市政運営に努めます。

2 市は、基本構想、基本計画その他市の施策の基本となる計画を策定するに当たっては、市民参加の機会を保障します。

第6章 市議会の役割

(市議会の責務)

第22条 市議会は、市民の代表機関として、市という団体の意思決定機関であり、法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより議決の権限を行使し、市民の意思が的確に反映されるよう活動します。

2 市議会は、市の執行機関の活動を監視、評価することにより、適正な行政運営の確保に努めます。

3 市議会は、政策の立案、提言の内容の充実を図るための調査研究活動に努めます。

4 市議会は、合議体として論点、課題等について議論を深めるため、議員相互間の自由な討議を重んじて活動します。

(開かれた議会運営)

第23条 市議会は、市議会が保有する情報を公開するとともに、会議及び委員会等を公開し、並びに議会活動について市民に説明することにより、市民との情報の共有に努めます。

- 2 市議会は、市民の意見を聞くため議会活動への市民参加を推進し、市民に開かれた議会運営に努めます。
- 3 市議会は、議会報告会の開催等を通じ、前2項に規定することの実現に努めます。

(市議会議長の責務)

- 第24条 市議会議長は、市議会を代表し、公正中立に職務を遂行するとともに、円滑かつ効率的な議会運営を図るよう努めます。
- 2 市議会議長は、市議会に関する事務を統一的に処理するため、議会事務局の職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(市議会議員の責務)

- 第25条 市議会議員は、市民の意向把握や情報収集に努め、市民全体の利益を優先して政策提言を行います。
- 2 市議会議員は、政治倫理の確立に努め、公正かつ誠実に責務を遂行し、市民の負託にこたえます。
 - 3 市議会議員は、市議会の役割及び責務を自覚し、その誠実な遂行のため自己研鑽に努めます。

(政策の調査、審議のための機関)

- 第26条 市議会は、政策の調査、立案のために必要な専門的事項に係る調査、審議を、学識経験を有する者等に求めることができます。
- 2 市議会は、前項の学識経験を有する者等の指定に当たっては、市民の多様な意見が反映されるようにします。

(市議会事務局職員の責務)

- 第27条 市議会事務局職員は、市議会の持つ権能が十分発揮されるよう、全力をあげて市議会の活動を補佐します。
- 2 市議会事務局職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第7章 市の執行機関の役割

(市長の責務)

- 第28条 市長は、市の代表者として公正かつ誠実に市政を運営します。
- 2 市長は、自治の基本原則に基づき、市の計画及び政策の策定、実施、評価等を行います。

(市の執行機関の責務)

- 第29条 市の執行機関は、条例、予算その他の議会の議決に基づく事務及び法令、規則その他の規程に基づく事務を適正に管理、執行します。

(市の執行機関の組織運営)

- 第30条 市の執行機関は、行政組織について効率的かつ機能的なものとするとともに、相互の連携を図り、最小の経費で最大の行政効果を上げるよう運営します。
- 2 市の執行機関は、職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(説明責任)

第31条 市の執行機関は、行政運営の透明性を高めるため、市政について、市民に分かりやすく説明する責任を果たします。

2 市長その他の執行機関は、市議会に対して、市政に関する意思決定の過程及び行政運営の状況を随時報告するものとします。

(行政評価)

第32条 市の執行機関は、市の施策や事務事業の執行状況を、基本構想等に基づき検証し、継続的な見直しを行い、効果的に執行します。

2 市の執行機関は、施策や事務事業の達成状況を公表し、市民から理解を得られる行政運営を進めます。

(財政状況の公表)

第33条 市長は、市の財源の確保とその効率的かつ効果的な運用により、財政の健全性に努めます。

2 市長は、財政状況を市民にわかりやすく公表するように努めます。

(市の執行機関の職員の責務)

第34条 市の執行機関の職員は、全体の奉仕者として、公平、公正かつ誠実に、全力をあげて職務を遂行します。

2 市の執行機関の職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第8章 住民投票

(住民投票)

第35条 市は、市政の特に重要な事項について、直接住民の意思を確認する必要があるときは、市議会の議決を経て住民投票を実施することができます。

2 市は、住民投票の結果を尊重します。

3 住民投票の実施に関し必要な事項は、その都度条例で定めます。

第9章 条例の見直し

(条例の見直し)

第36条 市は、社会の変化に対応して、本条例が第1条の目的を達成するために必要があるときは、条例の見直しを行います。

附 則

この条例は、平成19年4月1日から施行します。

附 則(平成23年11月30日条例第25号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年3月25日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

飯田市市歌

堀内 敬三 作曲
宮脇 至 作詞
西條 八十 補

一、山はアルプス赤石の

峰にかがやくしらゆきを

高き心のすがたとあおぎ

かける理想よ我らが飯田

二、谷は伊那谷天竜の

あぐるしぶきにたつ虹を

清き命の泉となして

希望もえたつ我らが飯田

三、南信濃に伝統の

文化花咲く美し町

協す力にいぶきも新た

のびよ久遠に我らが飯田

飯田市歌

犬塚 利国 作詞
飯田 景広 編曲

一、山紫に 水明らかに

生業栄え 人皆和して

希望の光 遍く充てり

げに飯田市の 輝く天地

二、南信濃の 陽は照り映えて

四季行楽に 名を負うところ

観光都市の 誉れも添ひて

げに飯田市の 輝く前途

三、落葉に残す 千古の偉業

烈婦偲ぶ 不断の煙り

大儒の松風 今なお高し

げに飯田市の 輝く誇り

四、ああ天恵に 幸負う我等

協同進取の 旗なびかせて

目指すは彼方 久遠の理想

げに飯田市の 輝く使命

飯田市議会要覧 平成25年度版

発行日 平成25年6月発行

編集・発行 飯田市議会事務局

〒395-8501

長野県飯田市大久保町2534番地

Tel 0265-22-4523（直通）0265-22-4511（内線2613）

FAX 0265-53-8821

e-mail igikai@city.iida.nagano.jp

URL <http://www.city.iida.lg.jp/>